

建築分野におけるBIMの活用・普及 状況の実態調査 確定値＜詳細＞ （令和3年1月 国土交通省調べ）

○ 建築分野における現時点のBIMの活用・普及状況を確認するため、アンケートによる下記の実態調査を実施。

➤ アンケート名

BIMの活用状況・普及拡大に関するアンケート

➤ 調査目的

今後の建築BIM推進会議でのBIMの更なる普及に向けて議論を行うための、建築分野のBIMの活用・普及状況や、今後の普及に向けた課題等の把握。

➤ 実施時期

令和2年12月11日～令和3年1月13日

➤ 実施方法

建築BIM推進会議に参加する下記の13団体に、広く会員の回答を依頼。
特に、団体ごとに各会員の関係部署単位での回答を依頼。

団体名		回答依頼部署	団体名		回答依頼部署
設計関係団体 (7団体)	(公社)日本建築士会連合会	意匠設計関連部署	施工関係団体 (4団体)	(一社)日本建設業連合会	①設計関連部署 ②施工関連部署
	(一社)日本建築士事務所協会連合会			(一社)全国建設業協会	施工関連部署
	(公社)日本建築家協会			(一社)日本空調衛生工事業協会	空調衛生工事関連部署
	(一社)日本建築構造技術者協会	構造設計関連部署		(一社)日本電設工業協会	電気設備工事関連部署
	(一社)日本設備設計事務所協会連合会	設備設計関連部署	維持管理・発注者 関係団体等 (2団体)	(一社)住宅生産団体連合会	戸建住宅関連部署
	(一社)建築設備技術者協会			(公社)日本ファシリティマネジメント協会	ファシリティマネジメント 関連部署
	(公社)日本建築積算協会	積算業務関連部署			

■ アンケート調査全体の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
アンケート調査全体	2,363	813※ ¹	34.4%

■ 13団体別の配布・回収状況※³

	配布数	回収数	回収率
(公社) 日本建築士会連合会	96	33	34.4%
(一社) 日本建築士事務所協会連合会	99	61	61.6%
(公社) 日本建築家協会	38	21	55.3%
(一社) 日本建築構造技術者協会	124	81	65.3%
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会	861	137	16.0%
(一社) 建築設備技術者協会	129	55	42.6%
(公社) 日本建築積算協会	73	52	71.2%
(一社) 日本建設業連合会	15	30※ ²	—
(一社) 全国建設業協会	390	179	45.9%
(一社) 日本空調衛生工事業協会	94	33	35.1%
(一社) 日本電設工業協会	294	62	21.1%
(一社) 住宅生産団体連合会	15	4	26.7%
(公社) 日本ファシリティマネジメント協会	188	26	13.8%
13団体合計	2,363	774※ ¹	—

※¹：所属団体未記載の回答票(39票)があり、合計数が相違している。

※²：同一企業の別部署（例えば設計部と施工部等）からの回答が含まれるため、回収数が上回っている。

※³：同一回答者で、複数の団体から同じ回答を提出している場合は、1件のみを有効回答としている。

アンケート 設問項目

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

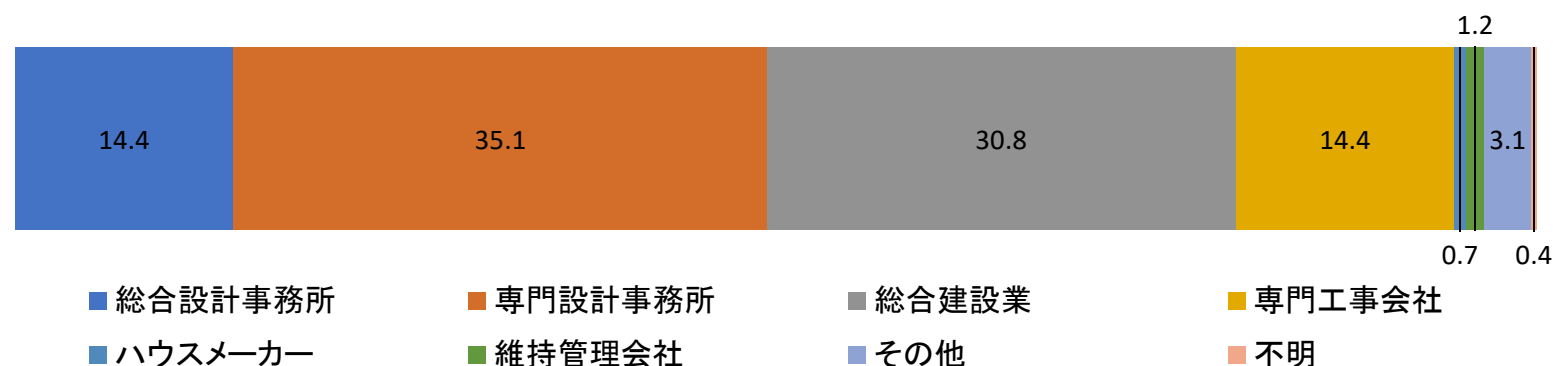
■設問項目(自由回答を除く)

Q0-1 所属団体	Q19 Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的な活用方法
Q1A 企業の属性(大分類)	Q20 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等
Q1B 企業の属性(専門設計事務所)	Q20_② 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【②基本設計(意匠)】
Q2 所属する企業の規模(従業員数)	Q20_③ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【③基本設計(構造)】
Q3 アンケート調査回答者の所属部署	Q20_④ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【④基本設計(設備)】
Q4 所属部署の規模(職員数)	Q20_⑤ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑤実施設計(意匠)】
NQ5 所属部署で過去1年に受託した案件数	Q20_⑥ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑥実施設計(構造)】
Q6 所属部署における受注案件に占める公共工事の割合	Q20_⑦ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑦実施設計(設備)】
Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況	Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。
Q8 所属部署でBIMを導入した時期	Q22 所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面
Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ	Q23 所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面
Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【①業務の効率化を期待した】	Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果
Q10② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【②業務の質の向上を期待した】	Q25 これまでに自社内の他部署又は社外とのデータ連携を行ったことはあるか
Q10③ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【③受注機会の創出を期待した】	Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か
Q10④ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【④データ連携・蓄積を期待した】	Q27 Q26で「②社外とのデータ連携」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か
Q10⑤ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】	Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか
Q10⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑥発注者からBIM活用を求められた】	Q29 Q28で「①ある」を選択した場合、具体的にどのようなCDE環境の構築を行ったか
Q10⑦ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】	Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内ルールを定めているか
Q10⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑧海外案件に対応するため】	Q32 所属企業でのBIMに関する教育として、どのような取り組みを行っているか
Q10⑨ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】	Q33 BIMの活用を推進するにあたり、企業として取り組んでいること
Q10⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑩海外の動向をみて導入した】	Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況
Q10⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】	Q37 所属部署において、BIMを活用する人材を育成するための教育に必要な期間
Q11 所属部署でBIMを活用している人数の割合	Q38 国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること
Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴	Q39 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、BIMの活用実態に変化はあるか
Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途	Q40 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今後のBIMへの期待に変化はあるか
Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別	QⅡ-1 今後のBIMの導入について
Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合	QⅡ-2 BIMの導入に至らない理由
Q16 所属部署でのBIMの活用状況	QⅡ-3 QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機
Q17 Q16で「②積極的には活用していない」を選択した理由	※オレンジハッチ部分はQ7で「導入していない」を選択した場合の回答項目
Q18 〔設計三会に所属する方のみ〕建築確認申請手続きにBIMを活用した経験はあるか	

集計結果(単純集計) 基礎情報①

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

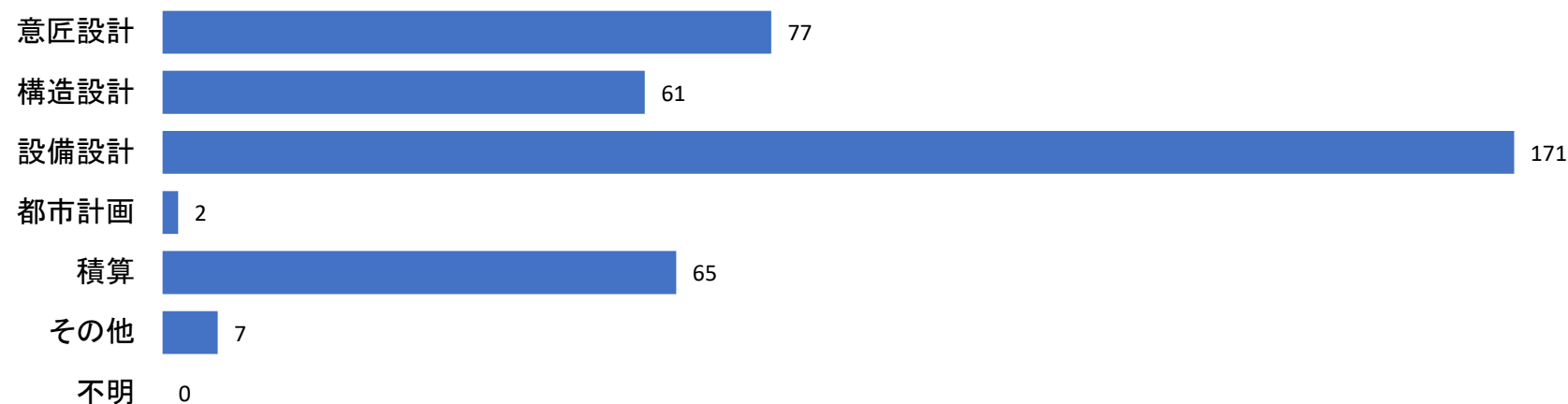
Q1 企業の属性(大分類) (n=813/単一回答/%)



・企業の属性(大分類)として、設計事務所が約5割、総合建設業が約3割、専門工事会社が約15%

※「その他」の回答例として、コンサルティング会社等が挙げられている。

Q1 企業の属性(専門設計事務所) (n=285/複数回答/件数)



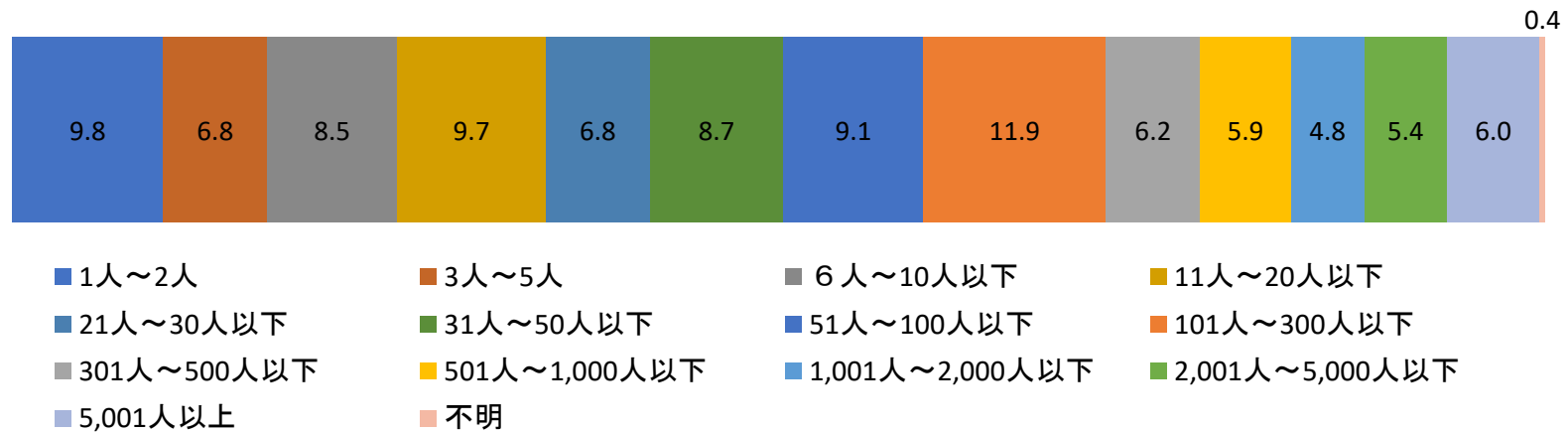
・企業の属性(専門設計事務所)として、「設備設計」の回答が最も多い

※「その他」の回答例として、工事監理、インテリア等が挙げられている。

集計結果(単純集計) 基礎情報②

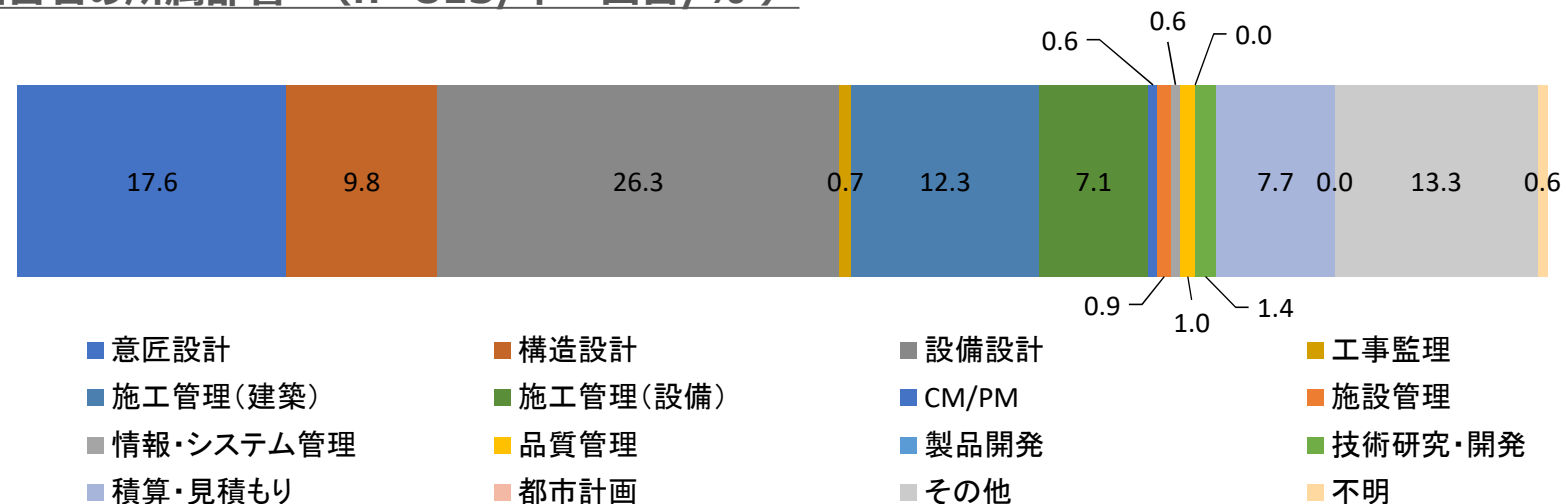
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q2 所属する企業の規模（従業員数）（n=813/単一回答/%）



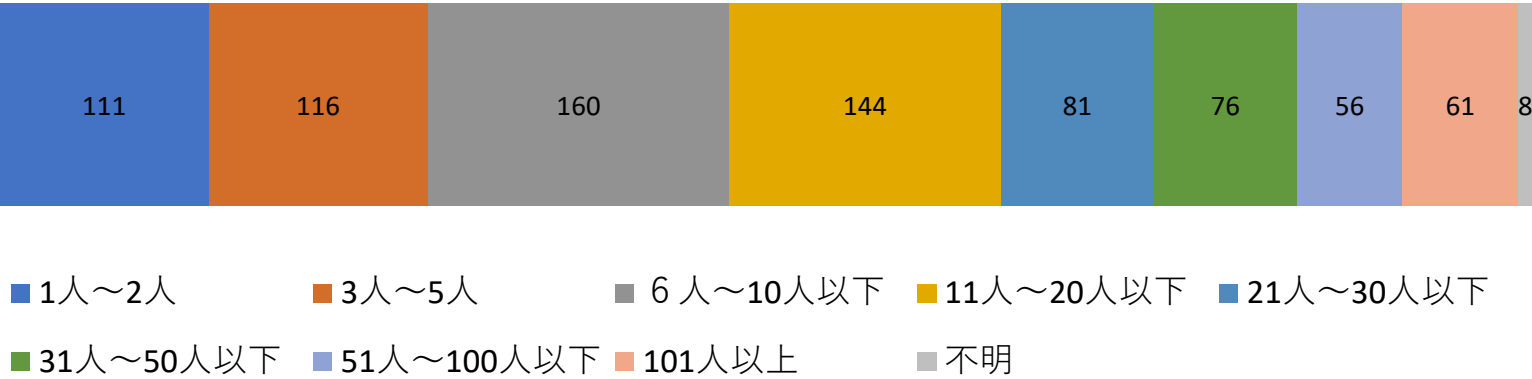
・企業の規模（従業員数）として、「50人以下」の回答が約 5 割

Q3 アンケート調査回答者の所属部署（n=813/単一回答/%）



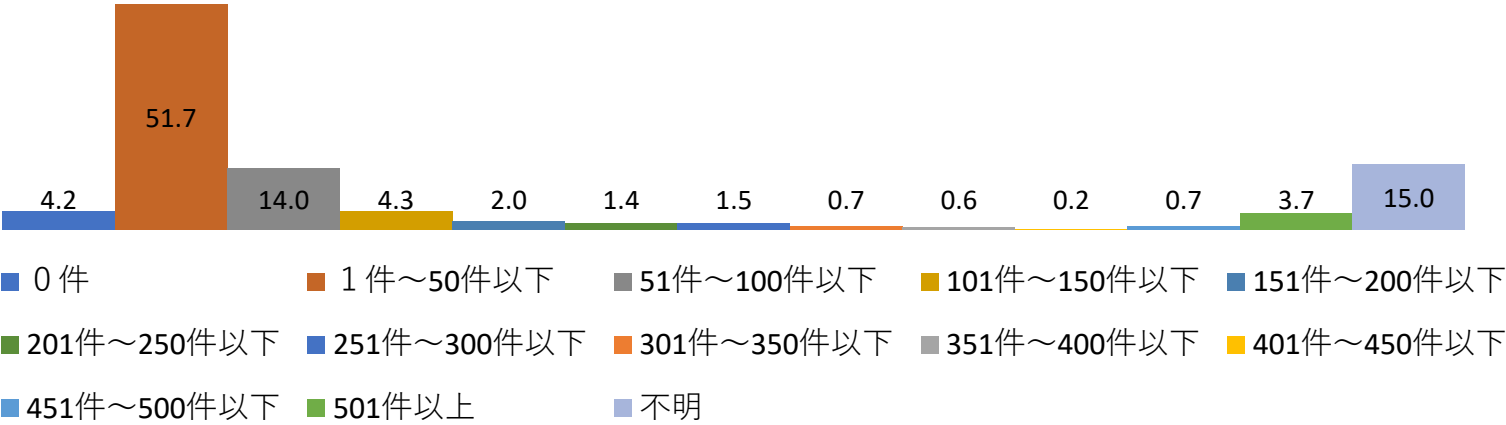
・所属部署として、設計部署の回答が約 5 割、施工管理（建築・設備）の回答が約 2 割

Q4 所属部署の規模（職員数）（n=813/単一回答/件数）



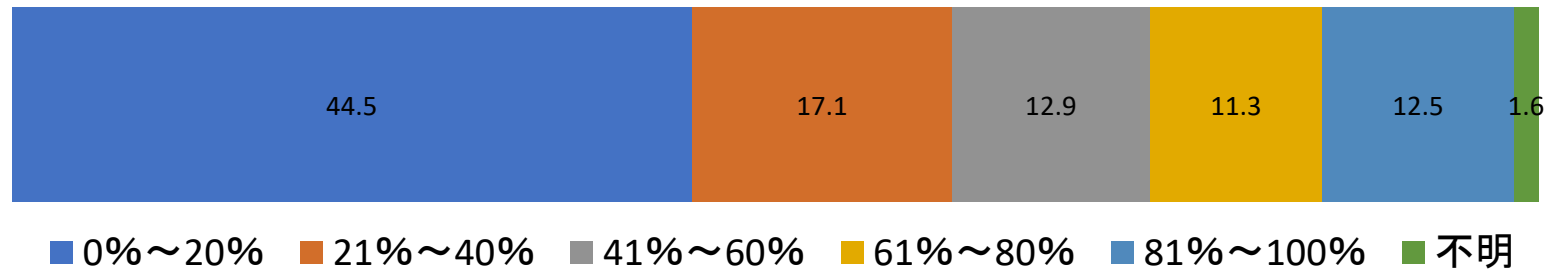
・所属部署の規模として、「10人以下」が約 5 割、「11人～50人」が約 4 割

Q5 所属部署で過去1年に受託した案件数（n=813/自由回答/%）



・過去1年間の受託案件として、「1件～50件以下」が最も多い

Q6 所属部署における受注案件に占める公共工事の割合 (n=813/単一回答/%)



・受注案件に占める公共工事の割合として、「40%以下」が約 6 割

Q7 所属する企業（部署）におけるBIMの導入状況（n=813/単一回答/%）

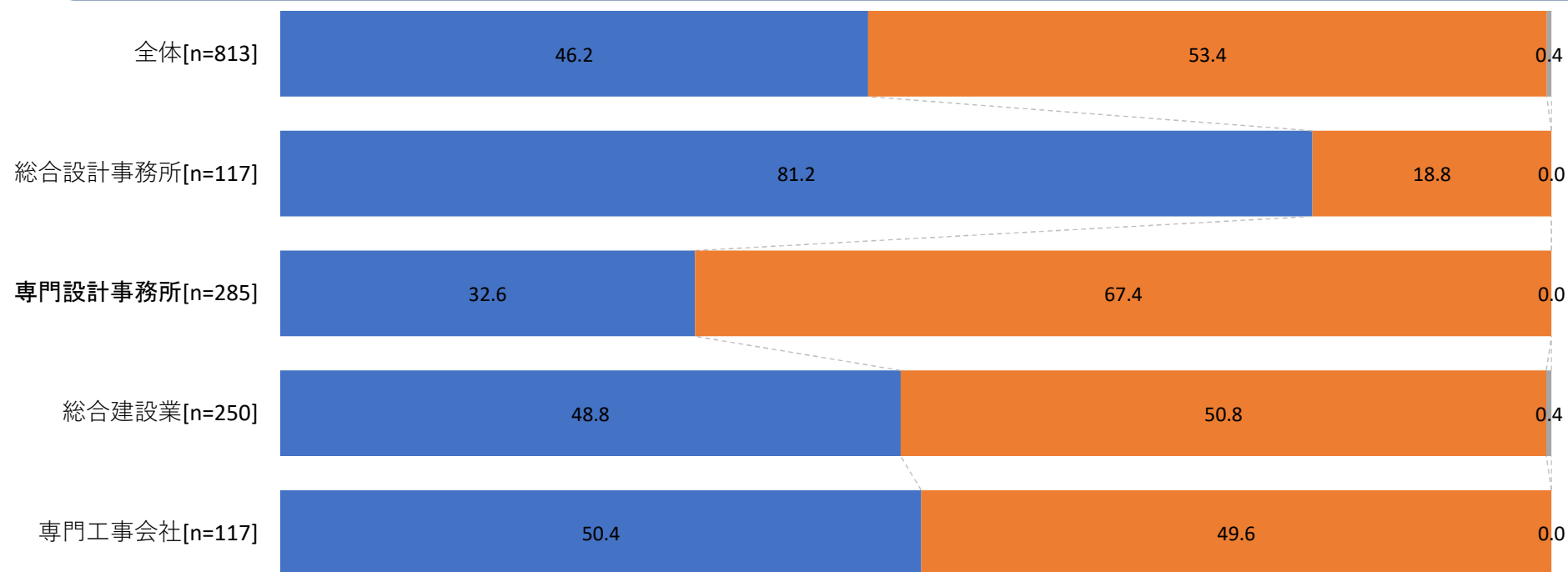


・今回回答があった企業（部署）のBIMの導入状況は、「導入している」が46%（376）、「導入していない」が53%（434）

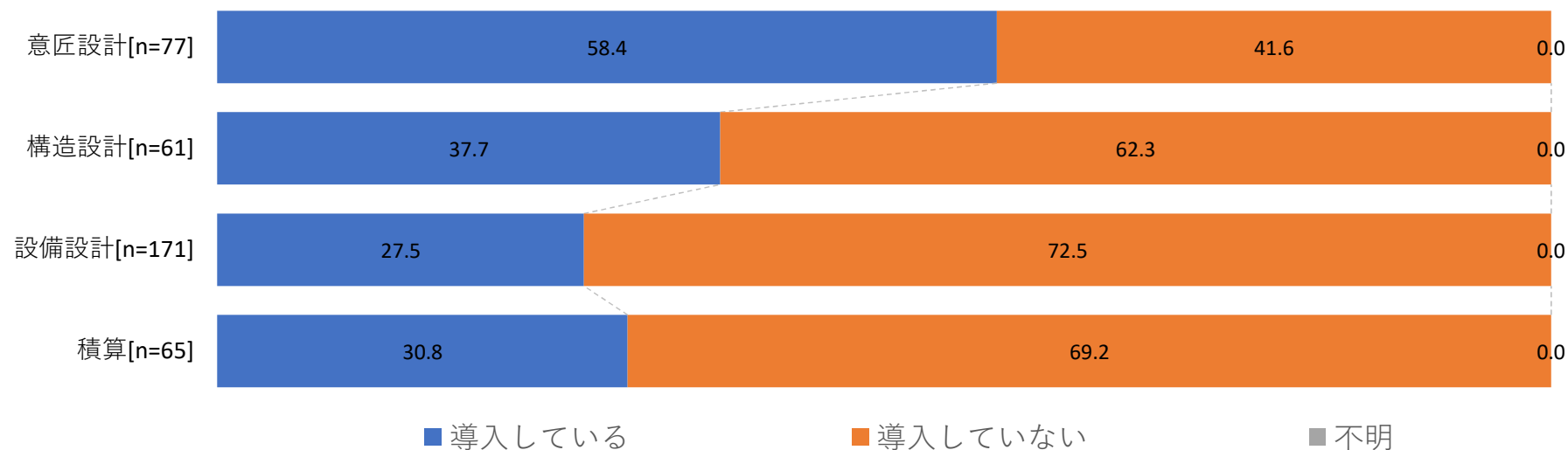
集計結果(クロス集計・分野別) BIMの導入状況

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q7 所属する企業（所属部署）におけるBIMの導入状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>

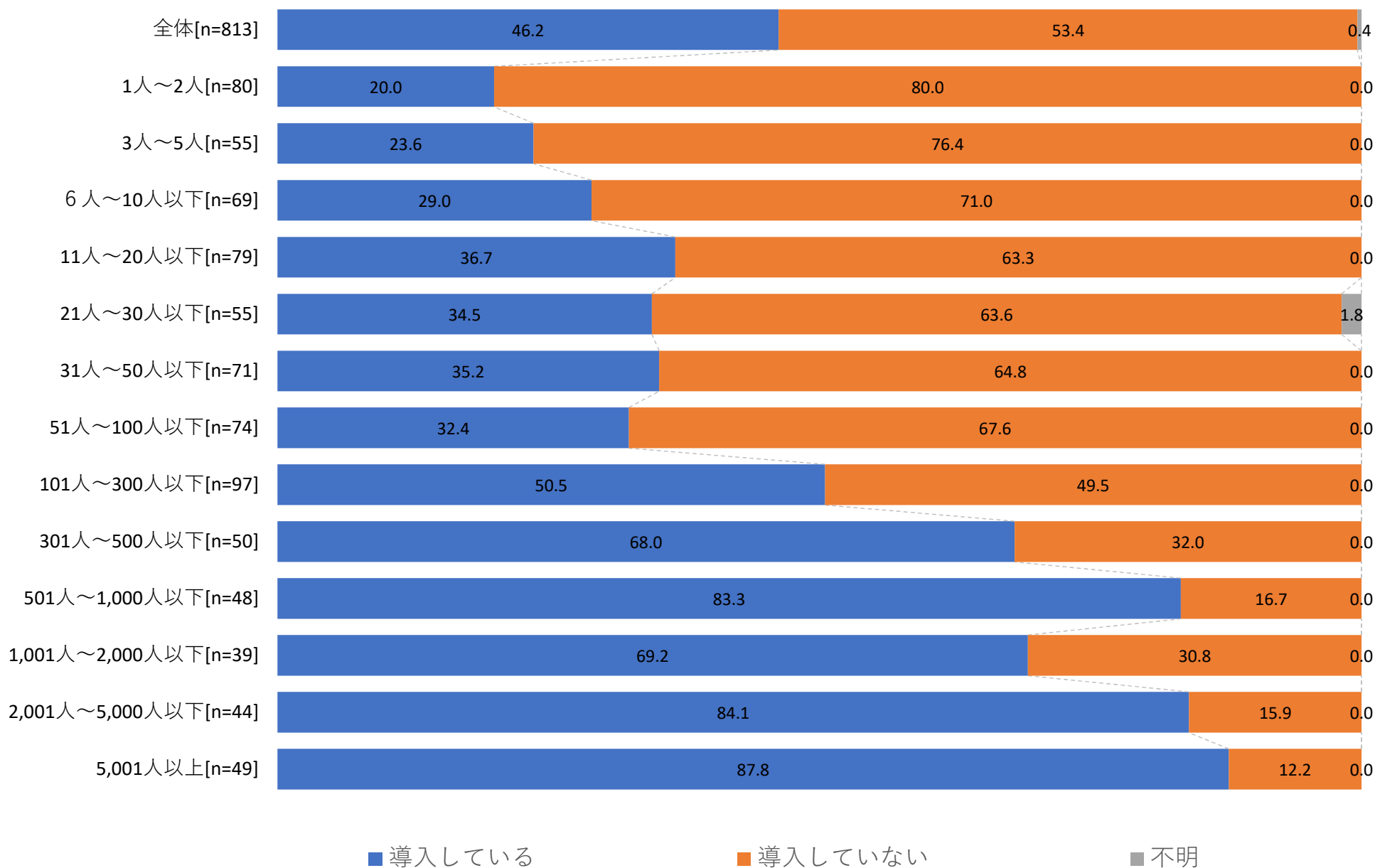


■ 導入している ■ 導入していない ■ 不明

集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMの導入状況

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模（従業員数）×Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況



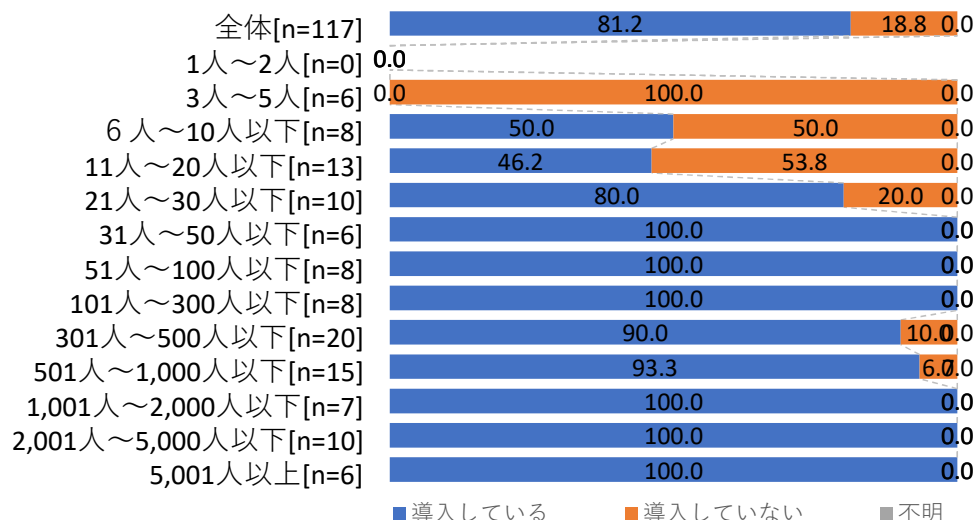
集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMの導入状況

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

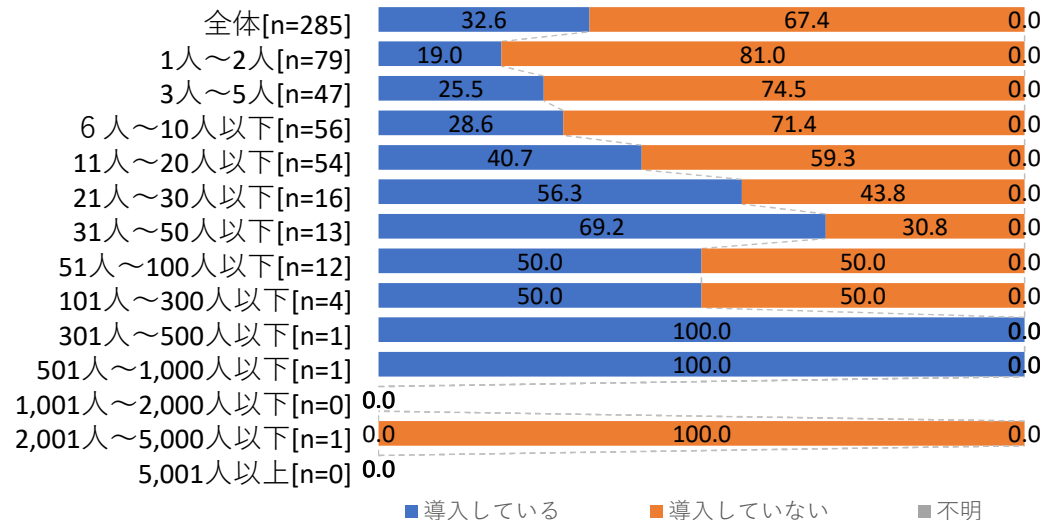
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類) ×
Q2 所属する企業の規模(従業員数) × Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況

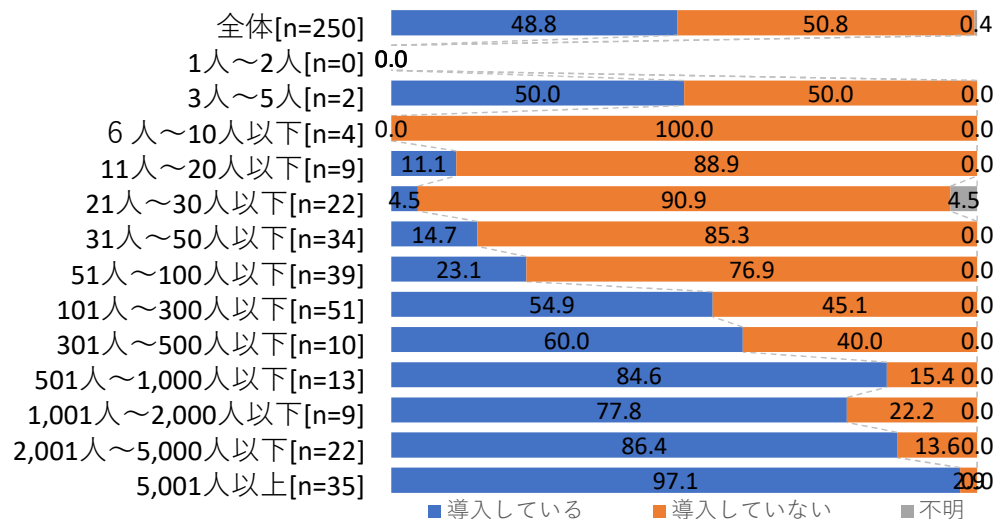
＜総合設計事務所＞



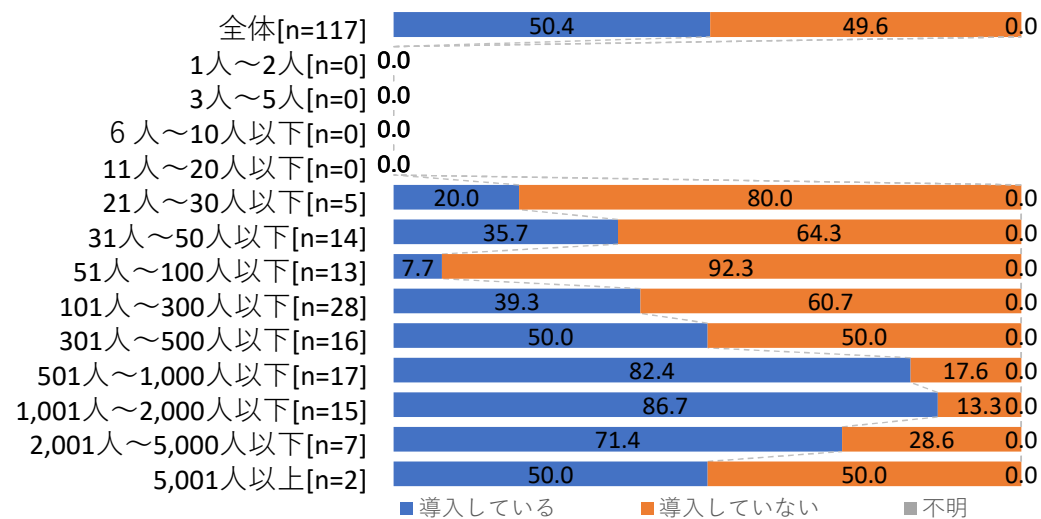
＜専門設計事務所＞



＜総合建設業＞



＜専門工事会社＞



集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

【Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況】のうち、導入していない企業について

QII-1 今後のBIMの導入について (n=434/単一回答/%)



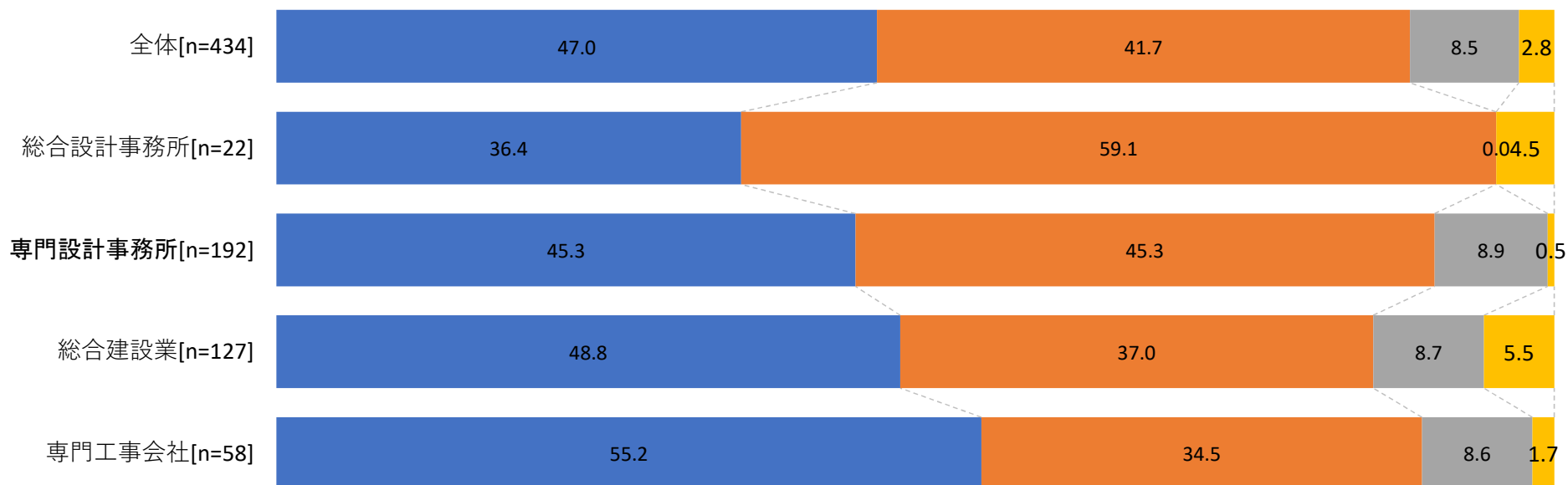
■ 導入予定はない・未定 ■ 導入の予定はないが導入に興味がある ■ 3年以内に導入する予定がある ■ 不明

- ・BIMを導入していない企業は、今後のBIM導入について、
約半数が「導入予定はない・未定」であるが、約半数は「導入に興味がある」又は「3年以内に導入予定」

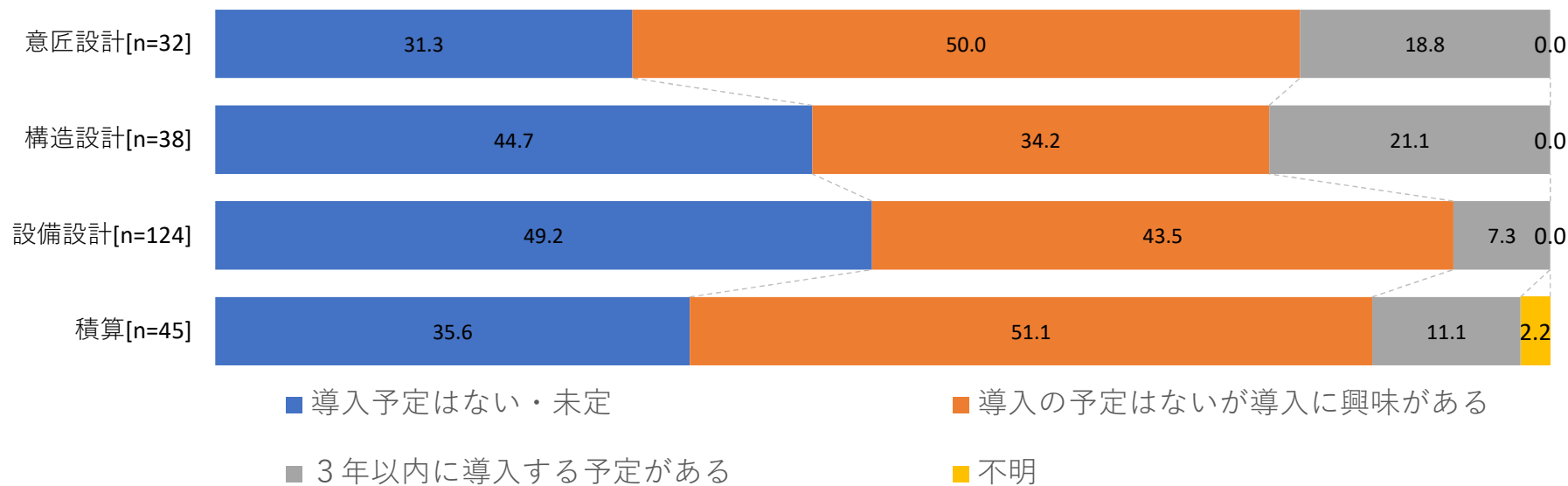
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-1 今後のBIMの導入について（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 導入予定はない・未定

■ 導入の予定はないが導入に興味がある

■ 3年以内に導入する予定がある

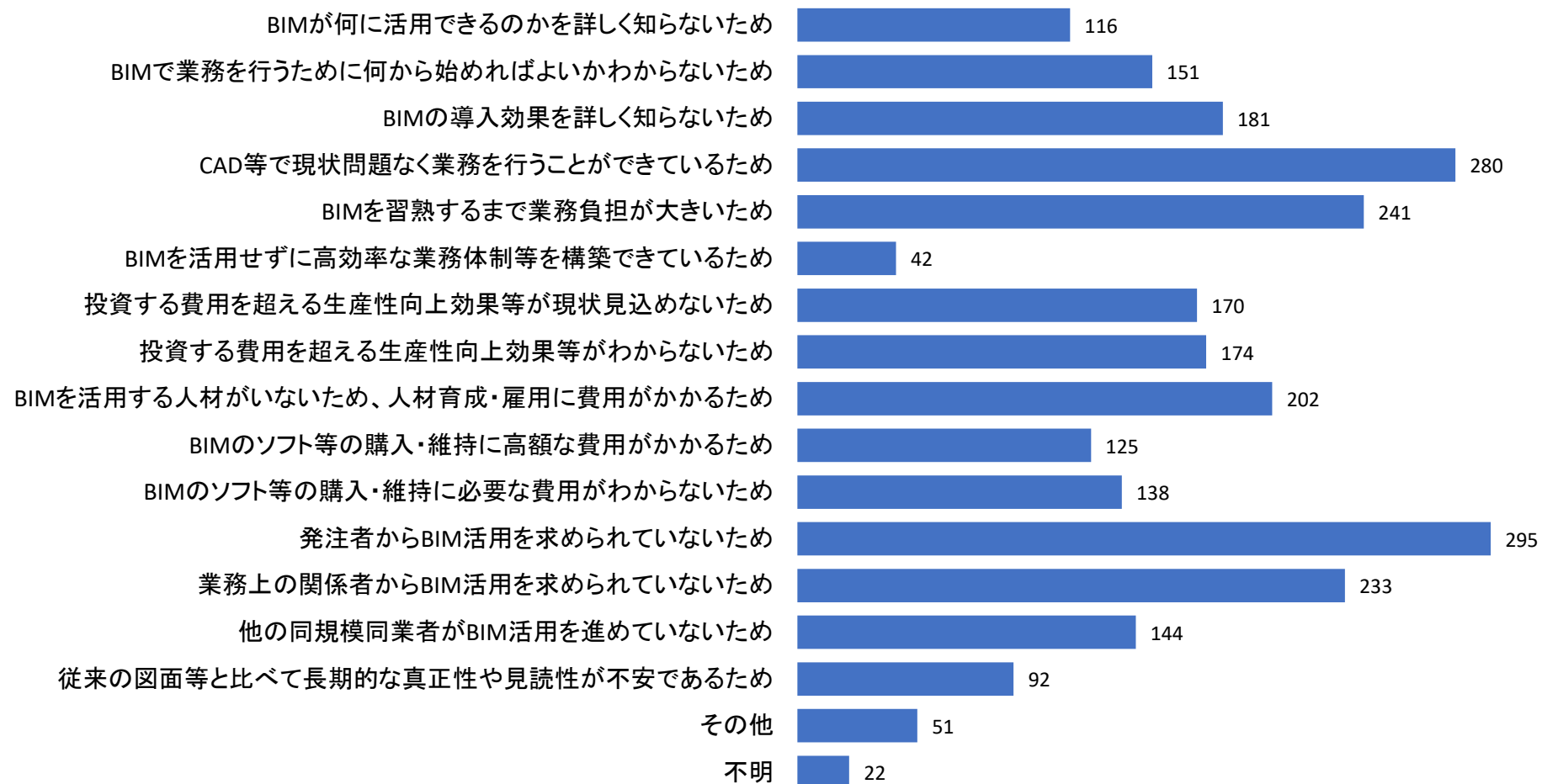
■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

QII-2 BIMの導入に至らない理由 (n=434/複数回答/件数)



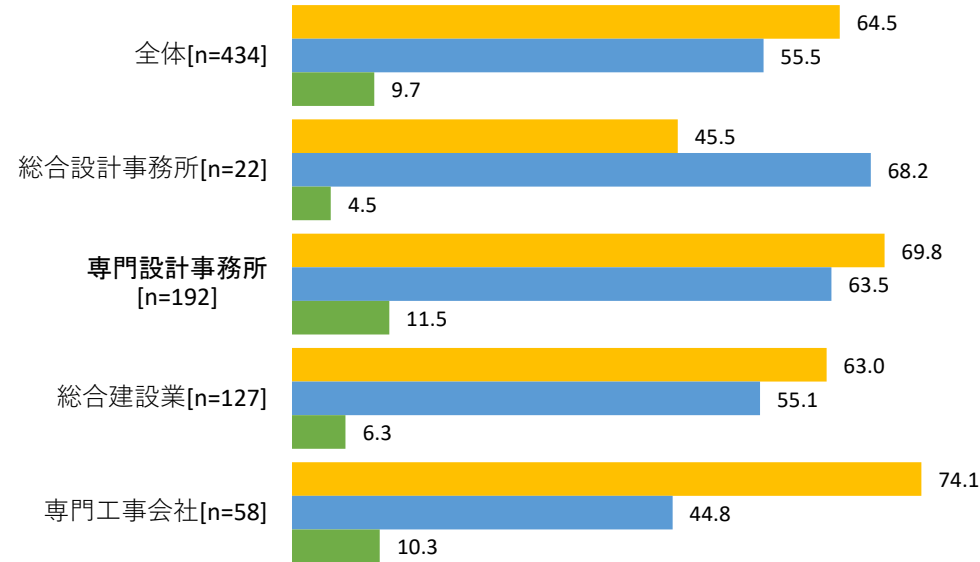
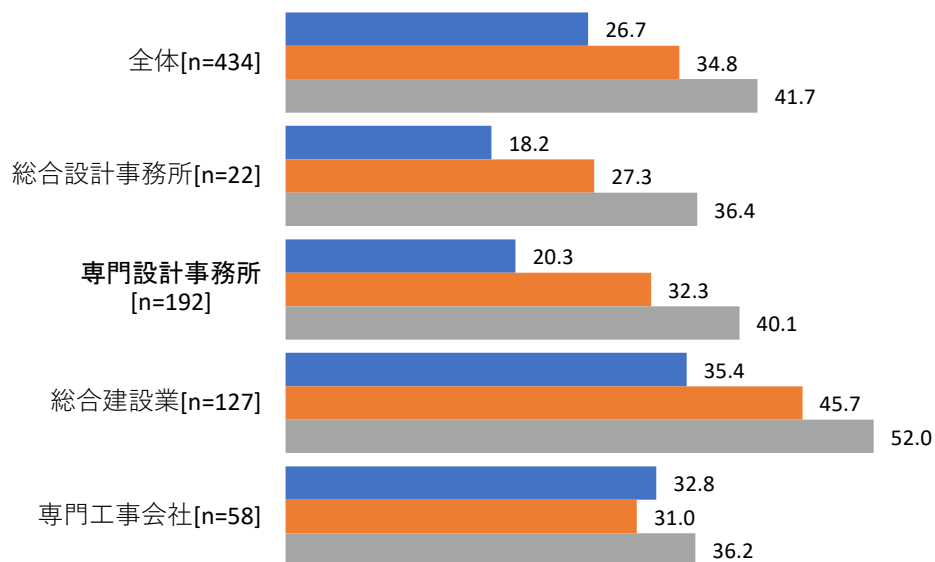
- ・ BIMを導入していない企業は、導入に至らない理由として、「発注者・業務上の関係者からBIM活用を求められていないため」や、「CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため」、「BIMを習熟するまで業務負担が大きい」等の回答が多い。
- ・ なお、費用に関する回答(「高額な費用がかかる」等)は比較的少ない。

※「その他」の回答例として、「複数のどのソフトが有用か判断がつかない」、「小規模事業、改修や保守を主な生業にしているため、必要性を感じない」、「知らなかった、広報が足りない」、「関係事業者と一斉に転換しないと効果が見込めない」、「BIMデータが流れてこない」、「周りの事務所もjwcadで業務を続けているのでそれが効率的」等が挙げられた

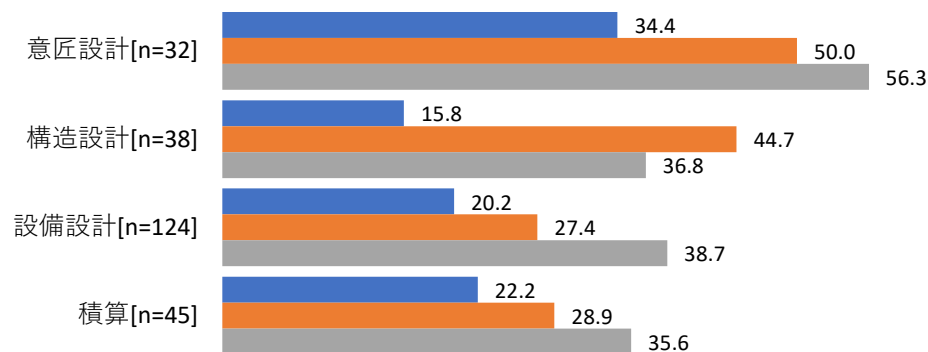
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QⅡ-2 BIMの導入に至らない理由（%）

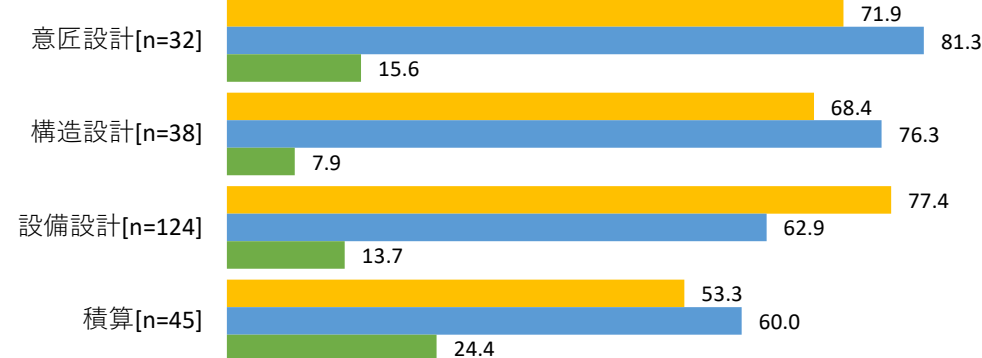


<専門設計事務所の主な内訳>



- BIMが何に活用できるのかを詳しく知らないため
- BIMで業務を行うために何から始めればよいかわからないため
- BIMの導入効果を詳しく知らないため

<専門設計事務所の主な内訳>

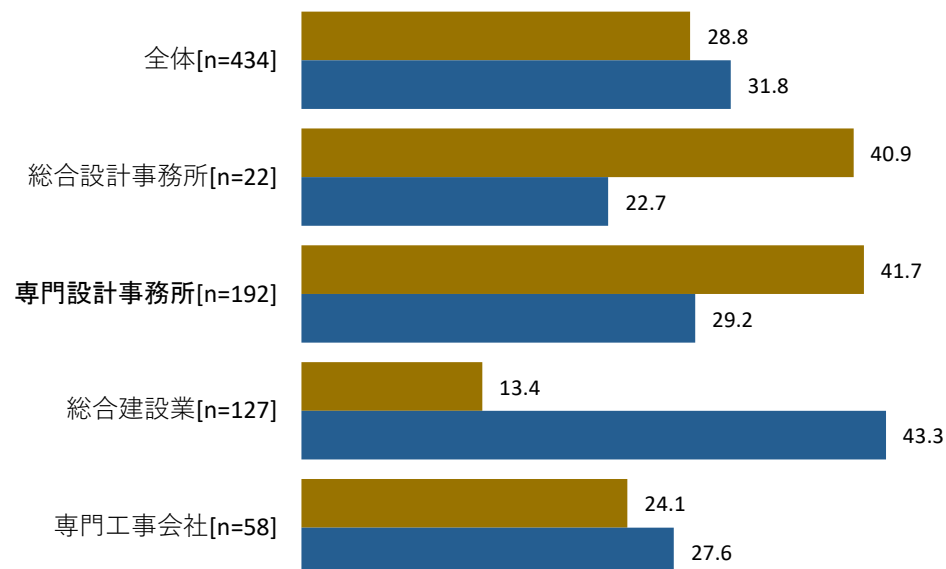
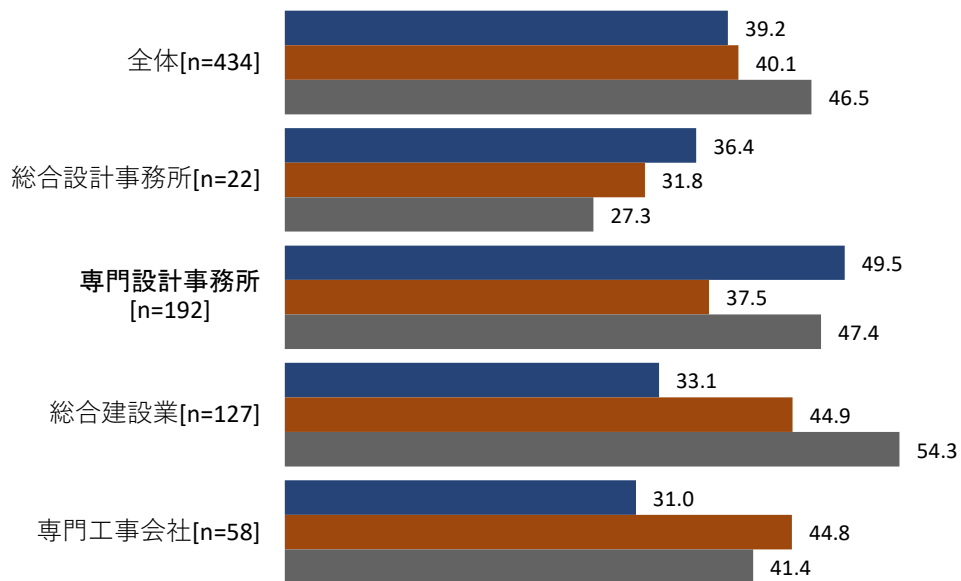


- CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため
- BIMを習熟するまで業務負担が大きいいため
- BIMを活用せずに高効率な業務体制等を構築できているため

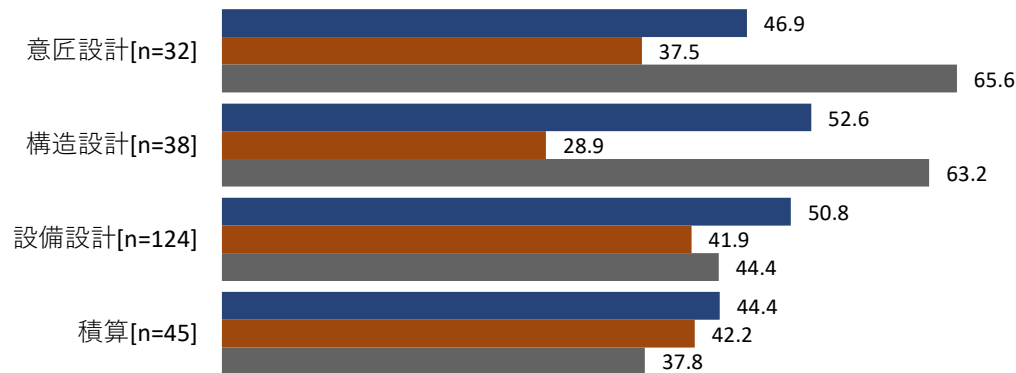
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QII-2 BIMの導入に至らない理由（%）

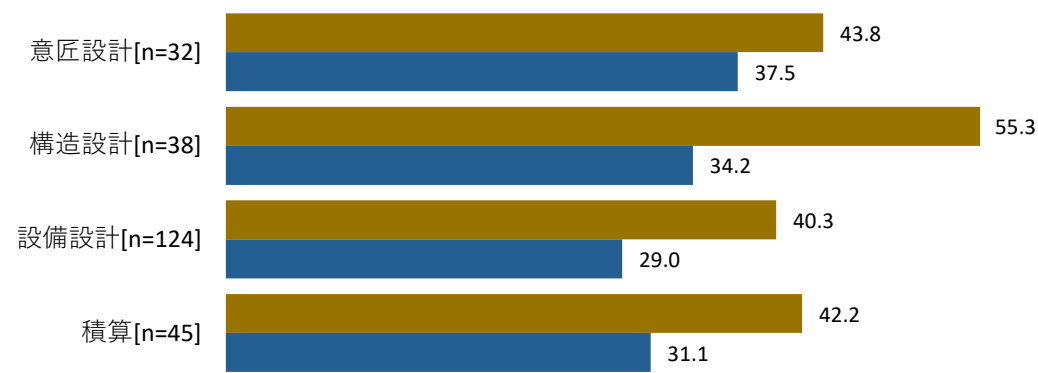


<専門設計事務所の主な内訳>



- 投資する費用を超える生産性向上効果等が現状見込めないため
- 投資する費用を超える生産性向上効果等がわからないため
- BIMを活用する人材がいないため、人材育成・雇用に費用がかかるため

<専門設計事務所の主な内訳>

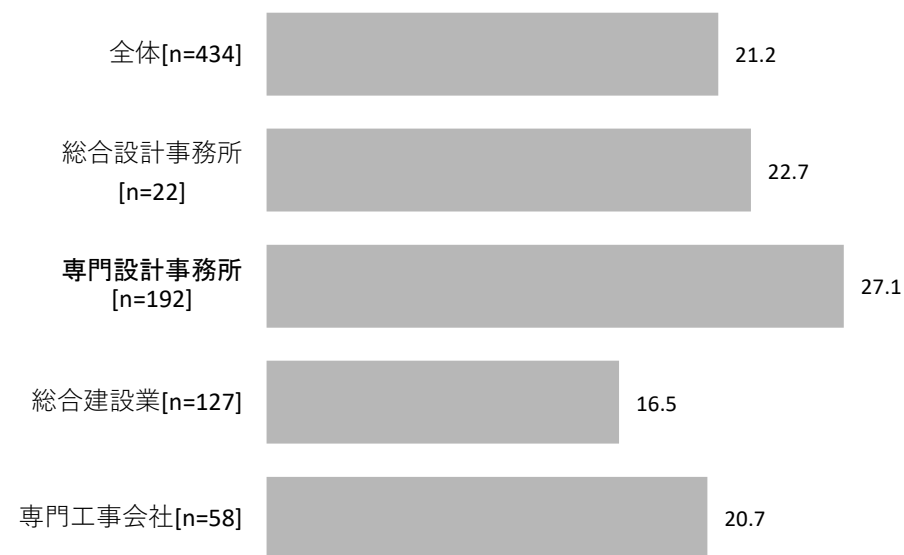
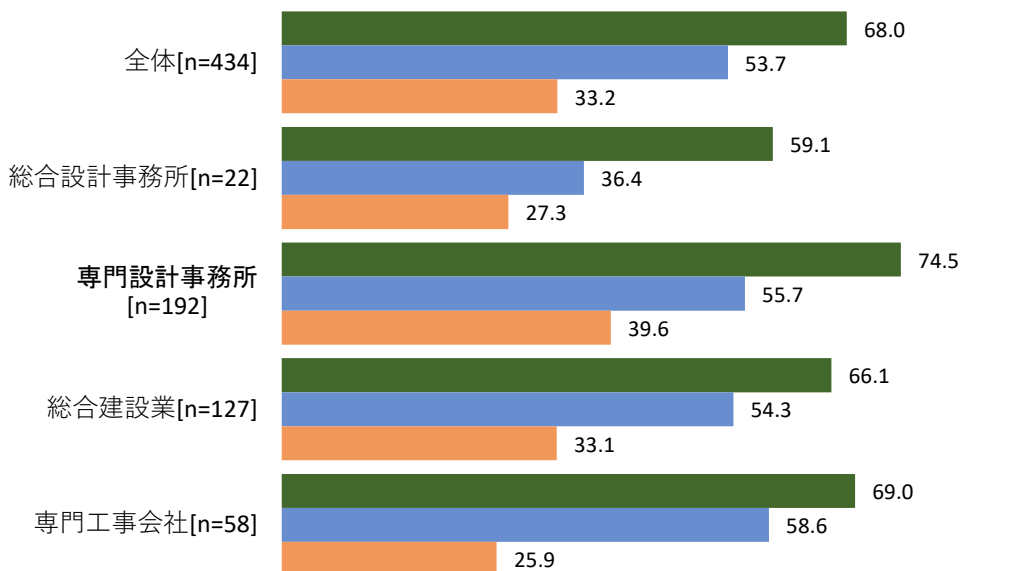


- BIMのソフト等の購入・維持に高額な費用がかかるため
- BIMのソフト等の購入・維持に必要な費用がわからないため

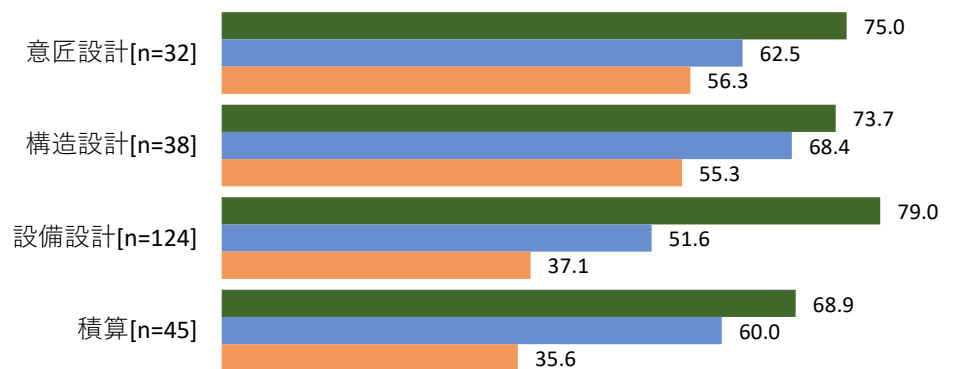
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

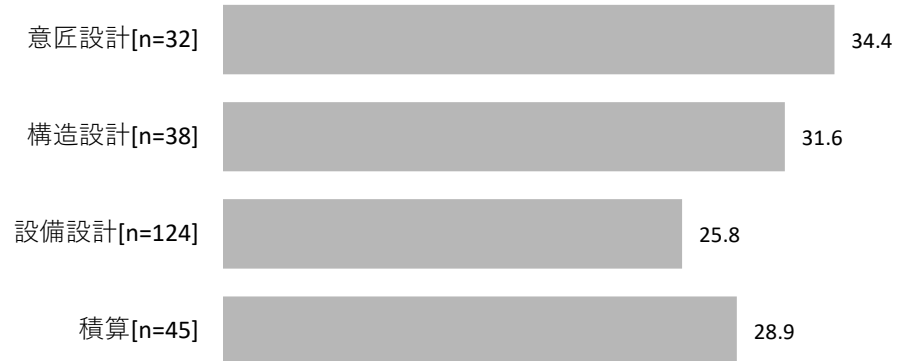
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QⅡ-2 BIMの導入に至らない理由（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



- 発注者からBIM活用を求められていないため
- 業務上の関係者からBIM活用を求められていないため
- 他の同規模同業者がBIM活用を進めていないため

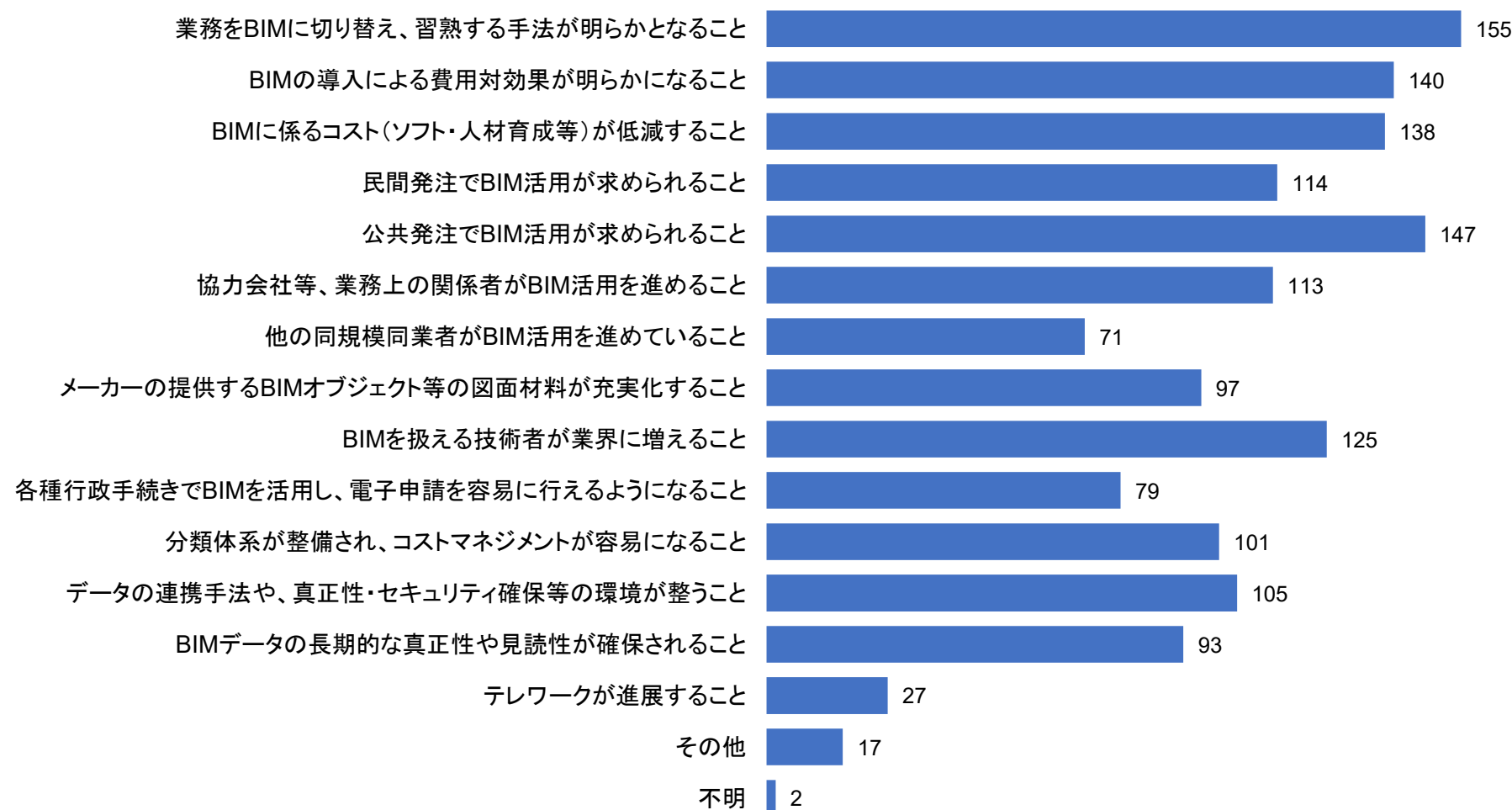
- 従来の図面等と比べて長期的な真正性や見読性が不安であるため

集計結果(単純集計) BIMを導入していない企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

QⅡ-3 QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機 (n=212/複数回答/件数)



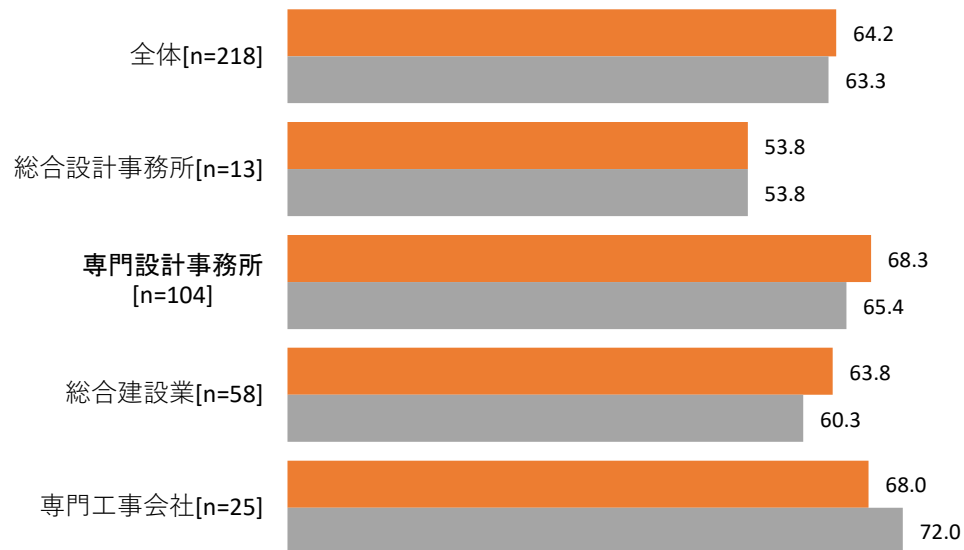
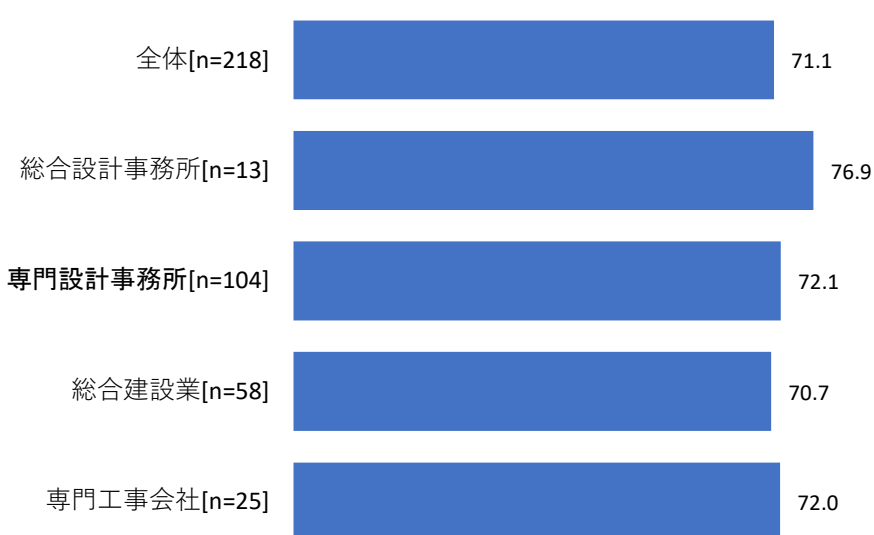
・導入に興味がある企業については、今後BIMの導入を決断する契機として、「業務をBIMに切り替え、習熟する手法が明らかとなること」や「公共発注でBIM活用が求められること」が多い。また、「コストの低減」よりも「費用対効果が明らかになること」が多い。

※「その他」の回答例として、「業務量に対する適切な報酬」、「一斉にBIMに転換し、継続的に求められること」、「ソフトの互換性」等が挙げられた

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QⅡ-3 QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）



＜専門設計事務所の主な内訳＞



＜専門設計事務所の主な内訳＞



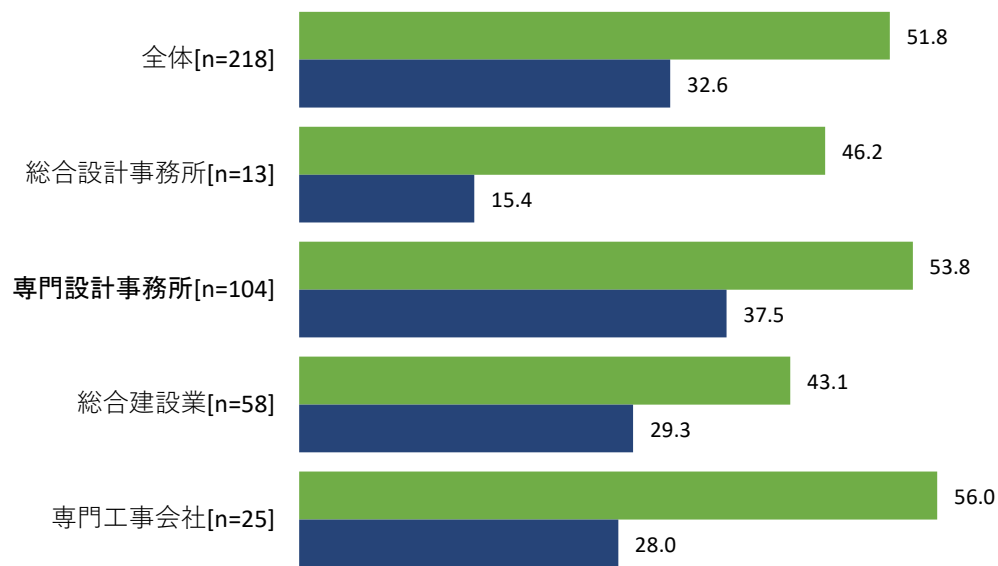
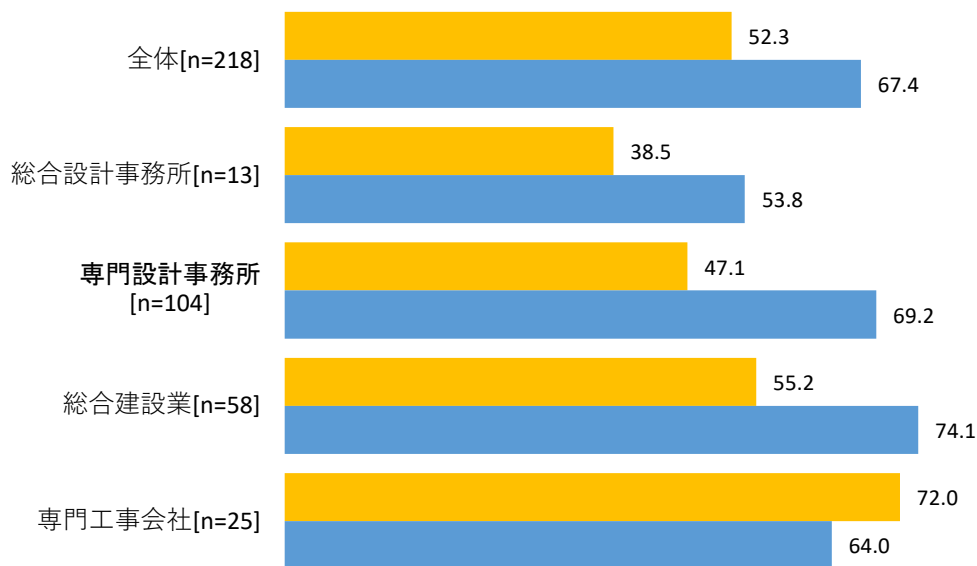
■ 業務をBIMに切り替え、習熟する手法が明らかとなること

■ BIMの導入による費用対効果が明らかになること
■ BIMに係るコスト（ソフト・人材育成等）が低減すること

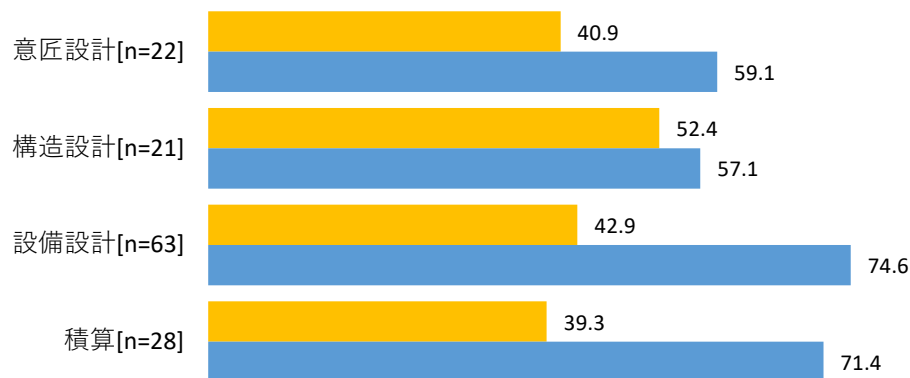
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QⅡ-3 QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）

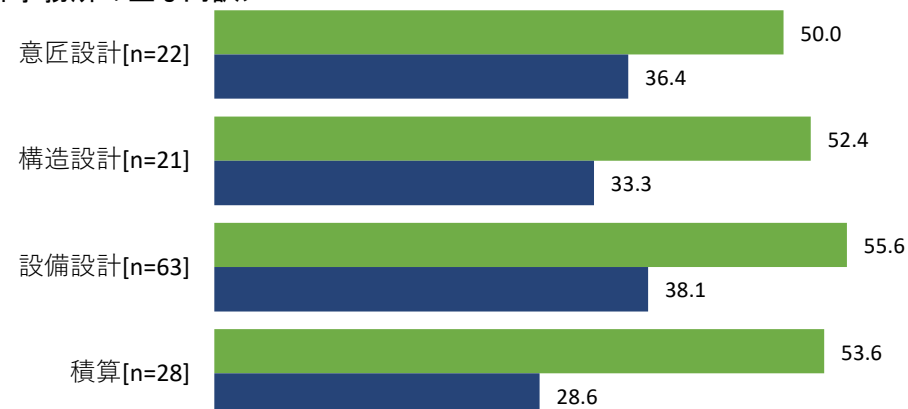


＜専門設計事務所の主な内訳＞



■ 民間発注でBIM活用が求められること
■ 公共発注でBIM活用が求められること

＜専門設計事務所の主な内訳＞

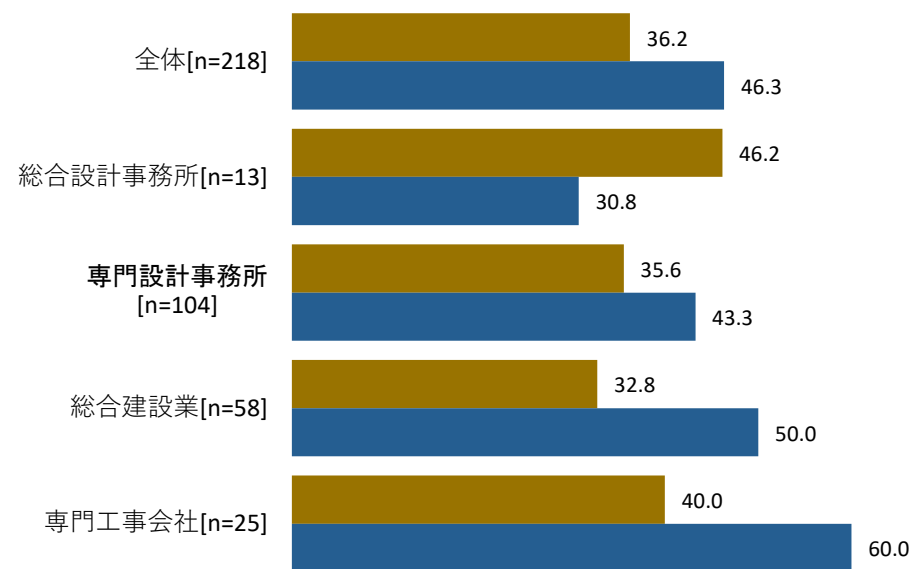
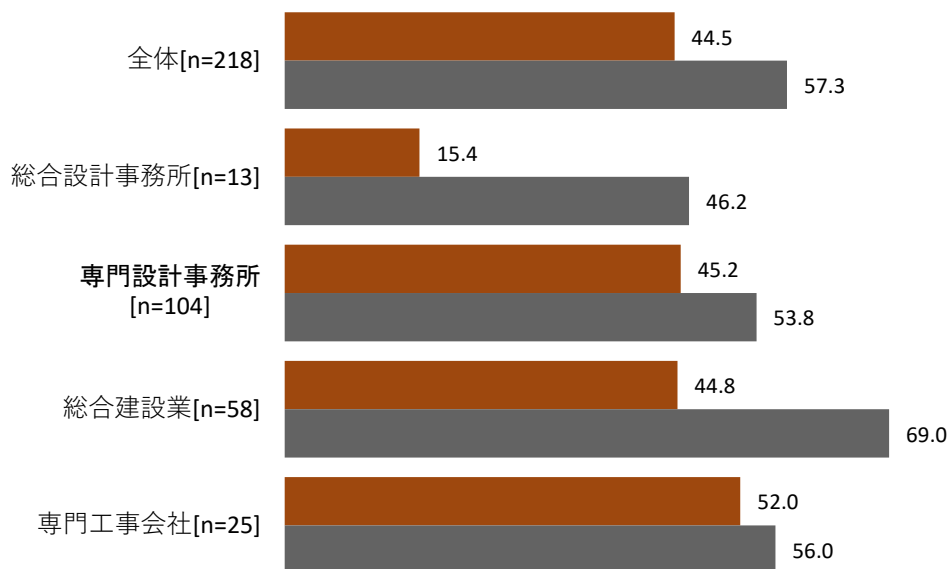


■ 協力会社等、業務上の関係者がBIM活用を進めること
■ 他の同規模同業者がBIM活用を進めていること

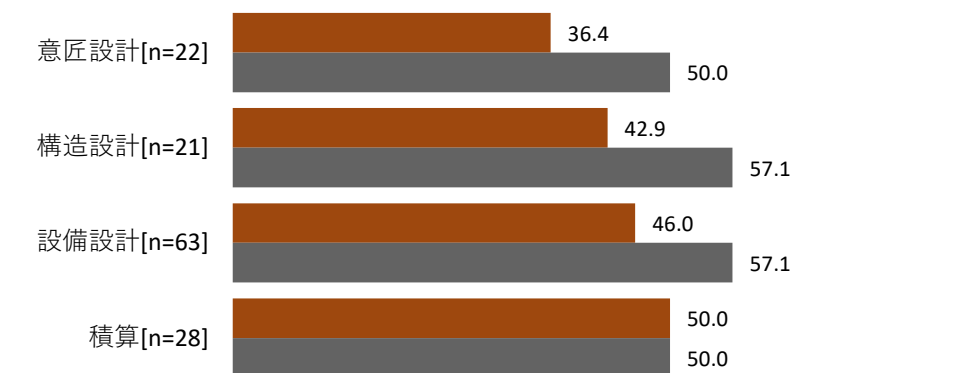
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入していない企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×QⅡ-3 QⅡ-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③3年以内に導入する予定がある」を選択した場合、今後BIMの導入を決断する契機（%）

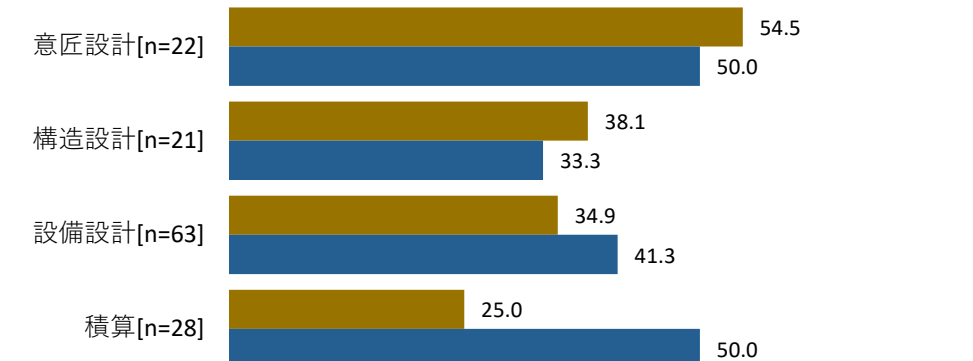


<専門設計事務所の主な内訳>



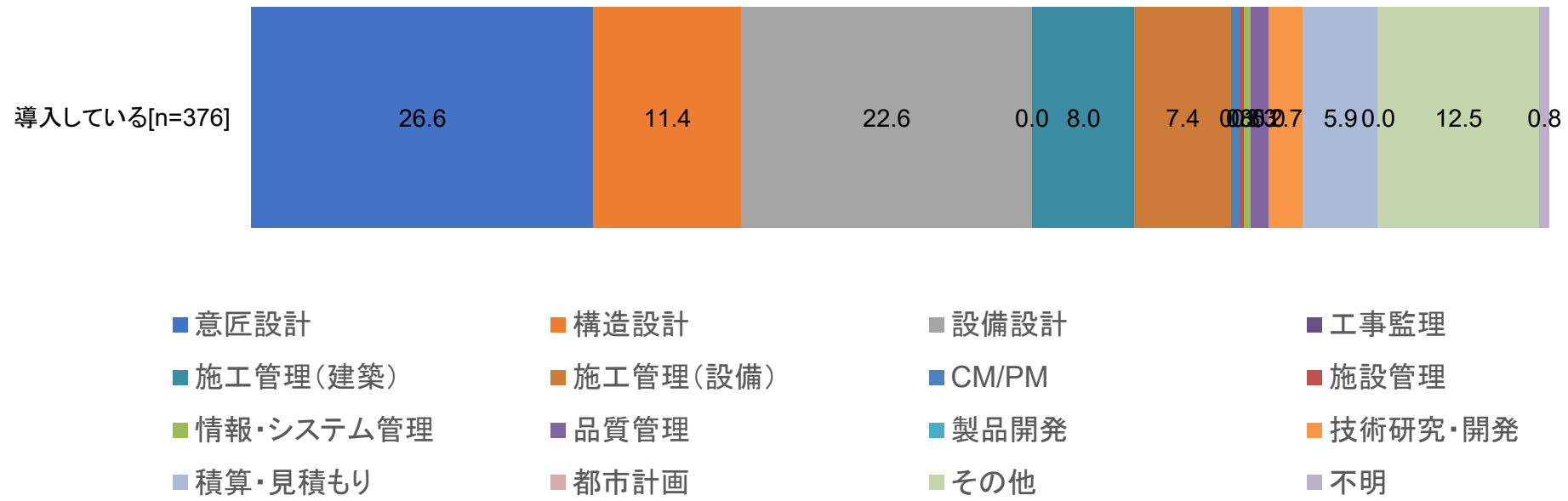
- メーカーの提供するBIMオブジェクト等の図面材料が充実化すること
- BIMを扱える技術者が業界に増えること

<専門設計事務所の主な内訳>



- 各種行政手続きでBIMを活用し、電子申請を容易に行えるようになること
- 分類体系が整備され、コストマネジメントが容易になること

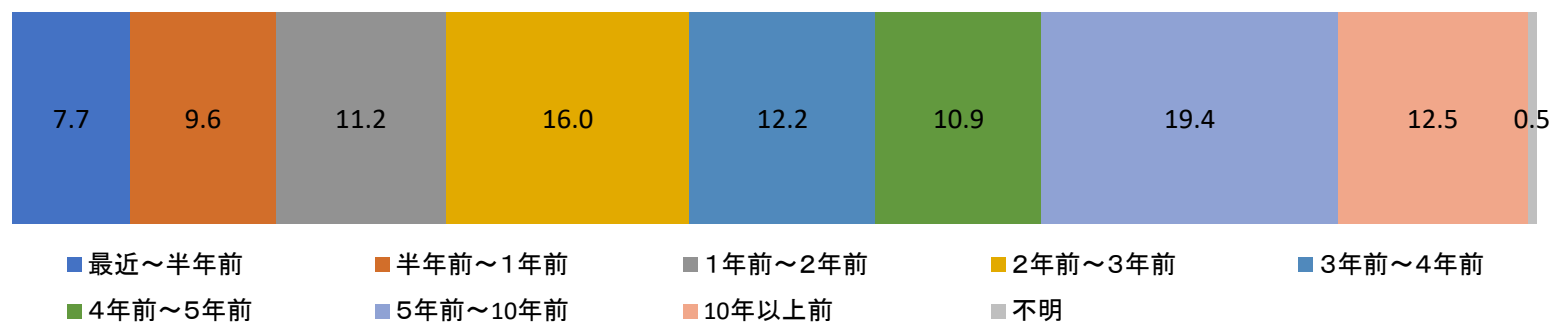
クロス集計：Q7 所属する企業におけるBIMの導入状況×Q3 アンケート調査回答者の所属部署（%）



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q8 所属部署でBIMを導入した時期 (n=376/単一回答/%)

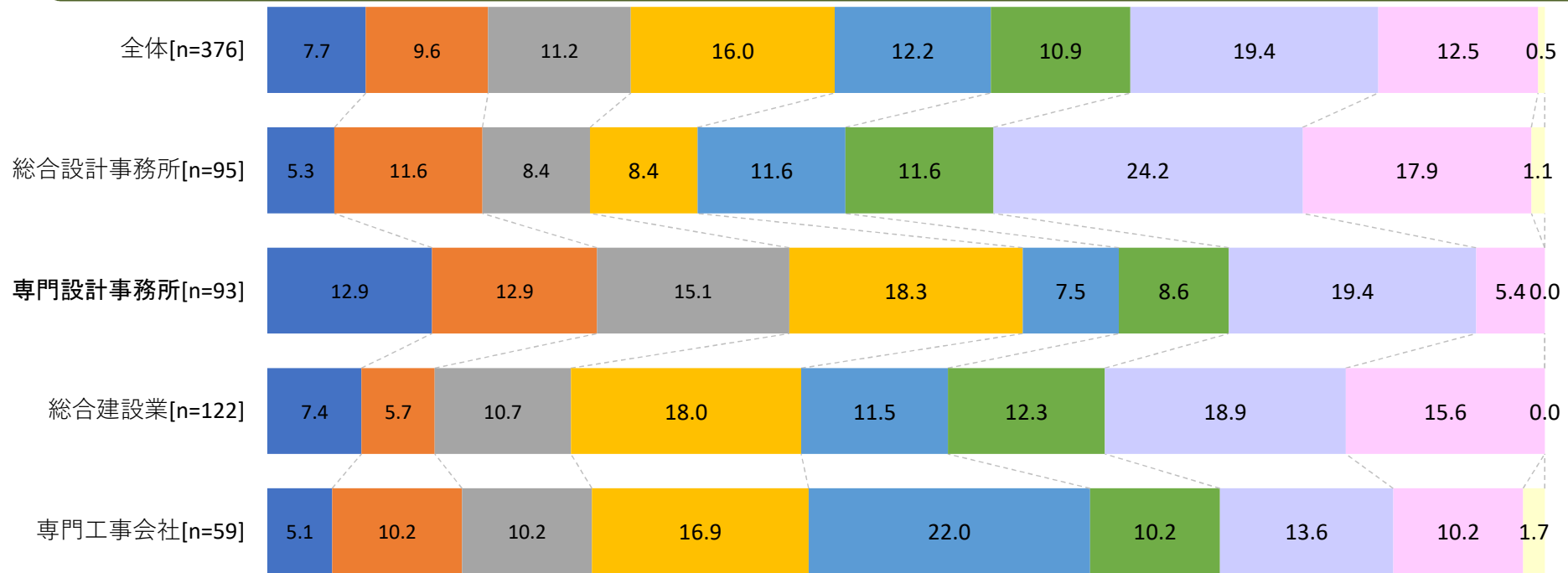


・BIMを導入している企業について、導入した時期として、「最近～3年前」が約45%

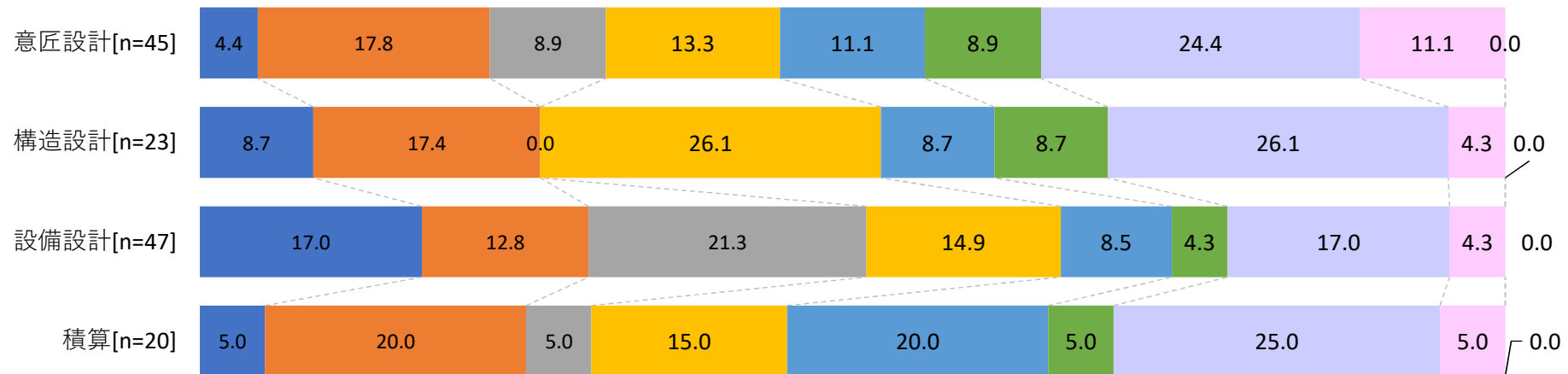
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q8 所属部署でBIMを導入した時期（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 最近～半年前
 ■ 半年前～1年前
 ■ 1年前～2年前
 ■ 2年前～3年前
 ■ 3年前～4年前
■ 4年前～5年前
■ 5年前～10年前
■ 10年以上前
■ 不明

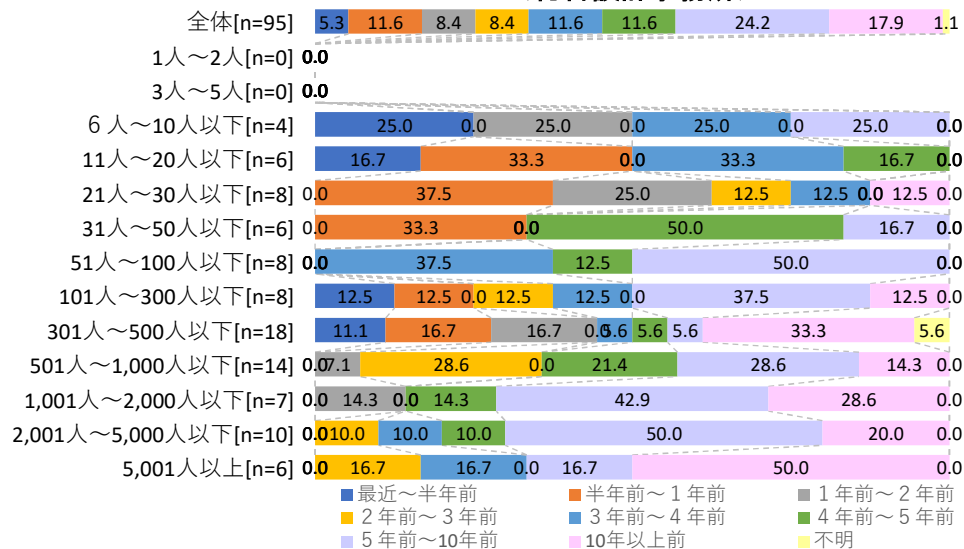
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

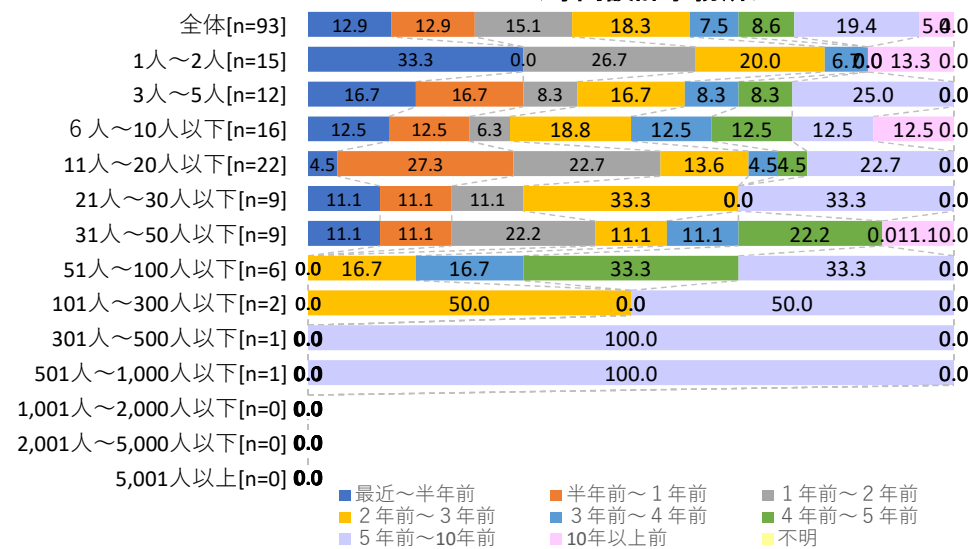
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類) ×
Q2 所属する企業の規模(従業員数) × Q8 所属部署でBIMを導入した時期(%)

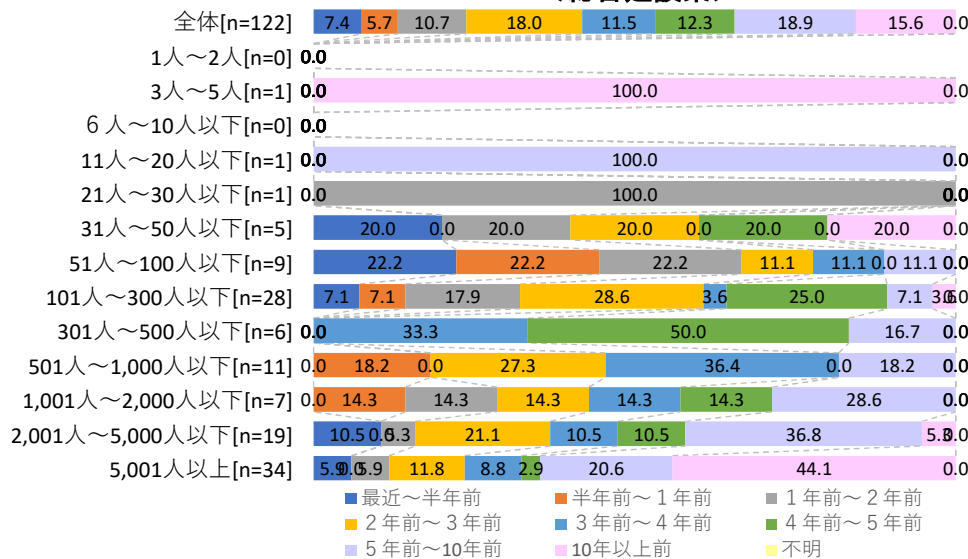
<総合設計事務所>



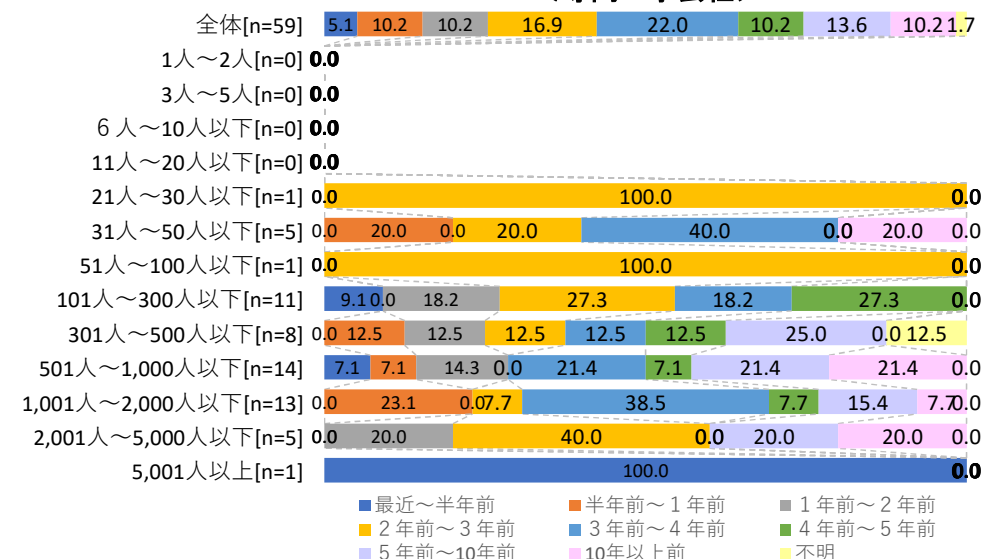
<専門設計事務所>



<総合建設業>



<専門工事会社>

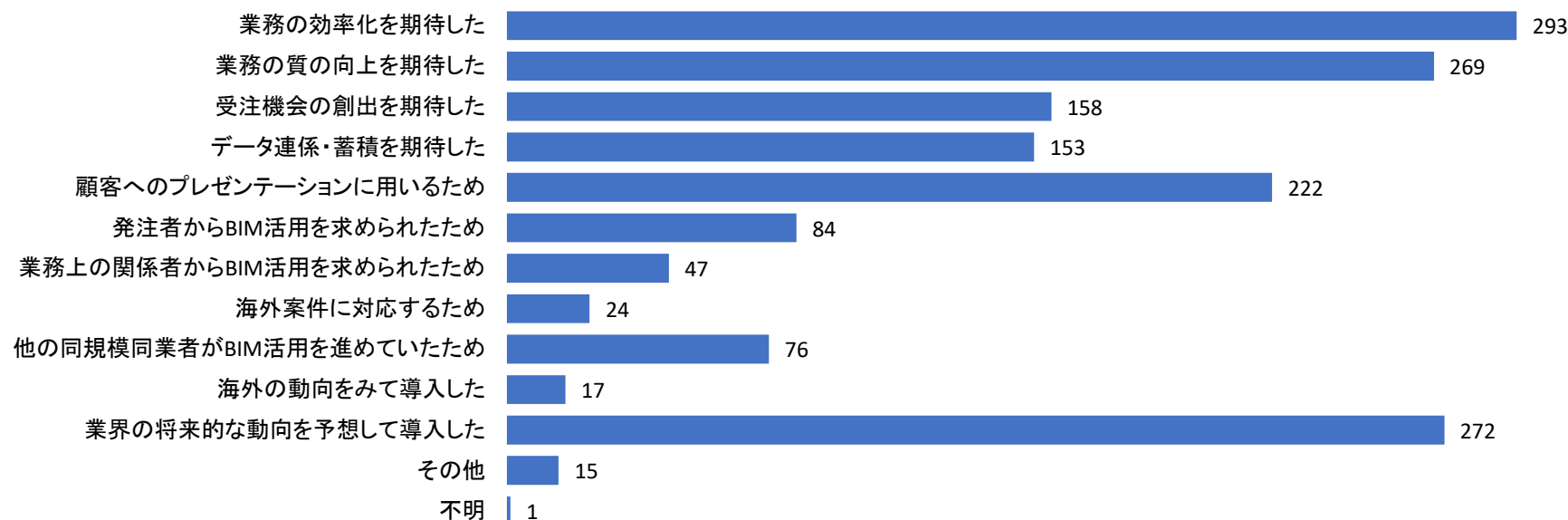


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ (n=376/複数回答/件数)



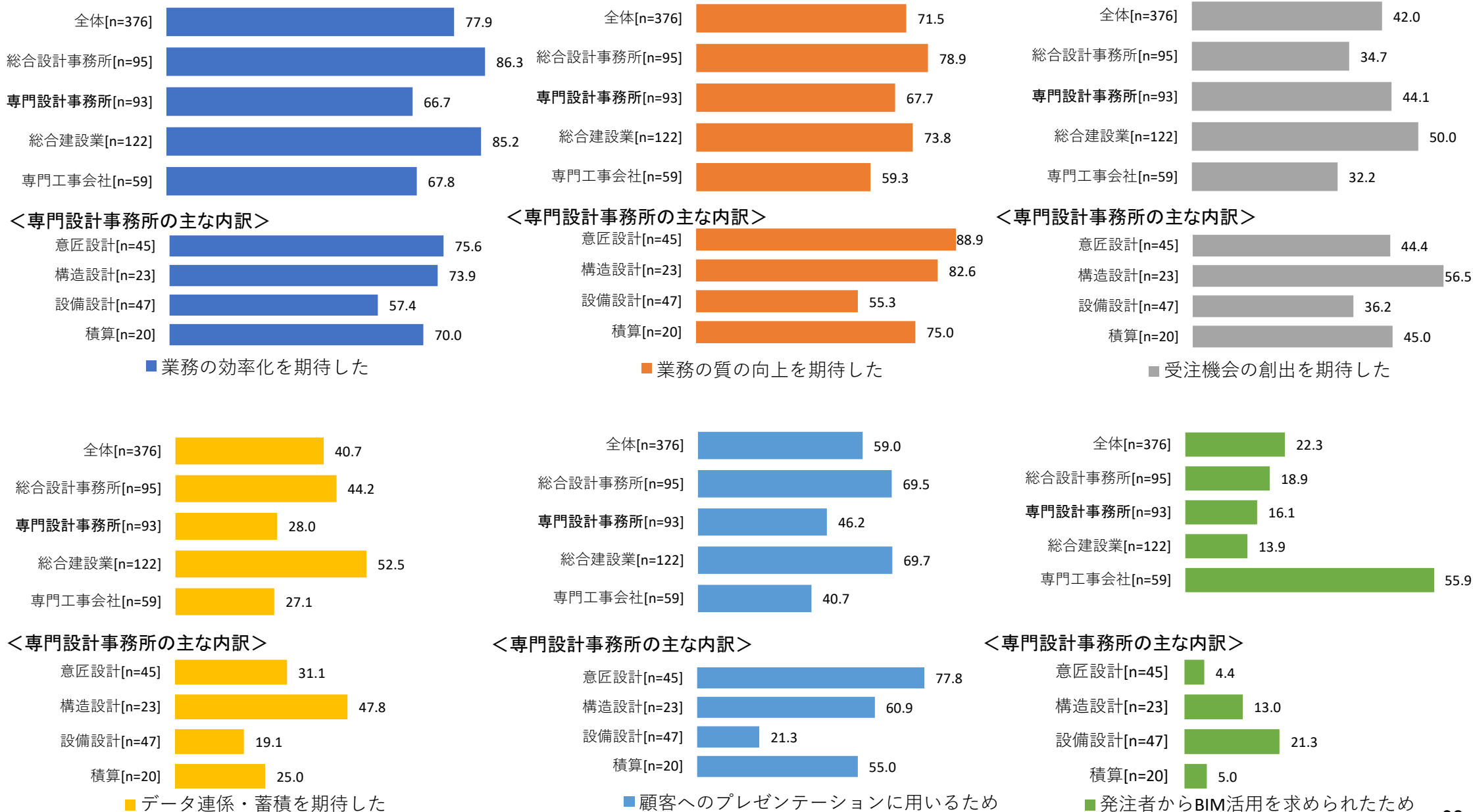
・BIMの導入の背景やきっかけとして、約7割超が「業務の効率化」や「業務の質の向上」の期待、「業界の将来的な動向を予想した導入」と回答

※「その他」の回答例として、「自社製品PR・販売促進」、「光環境等のシミュレーションのため」等が挙げられた

集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

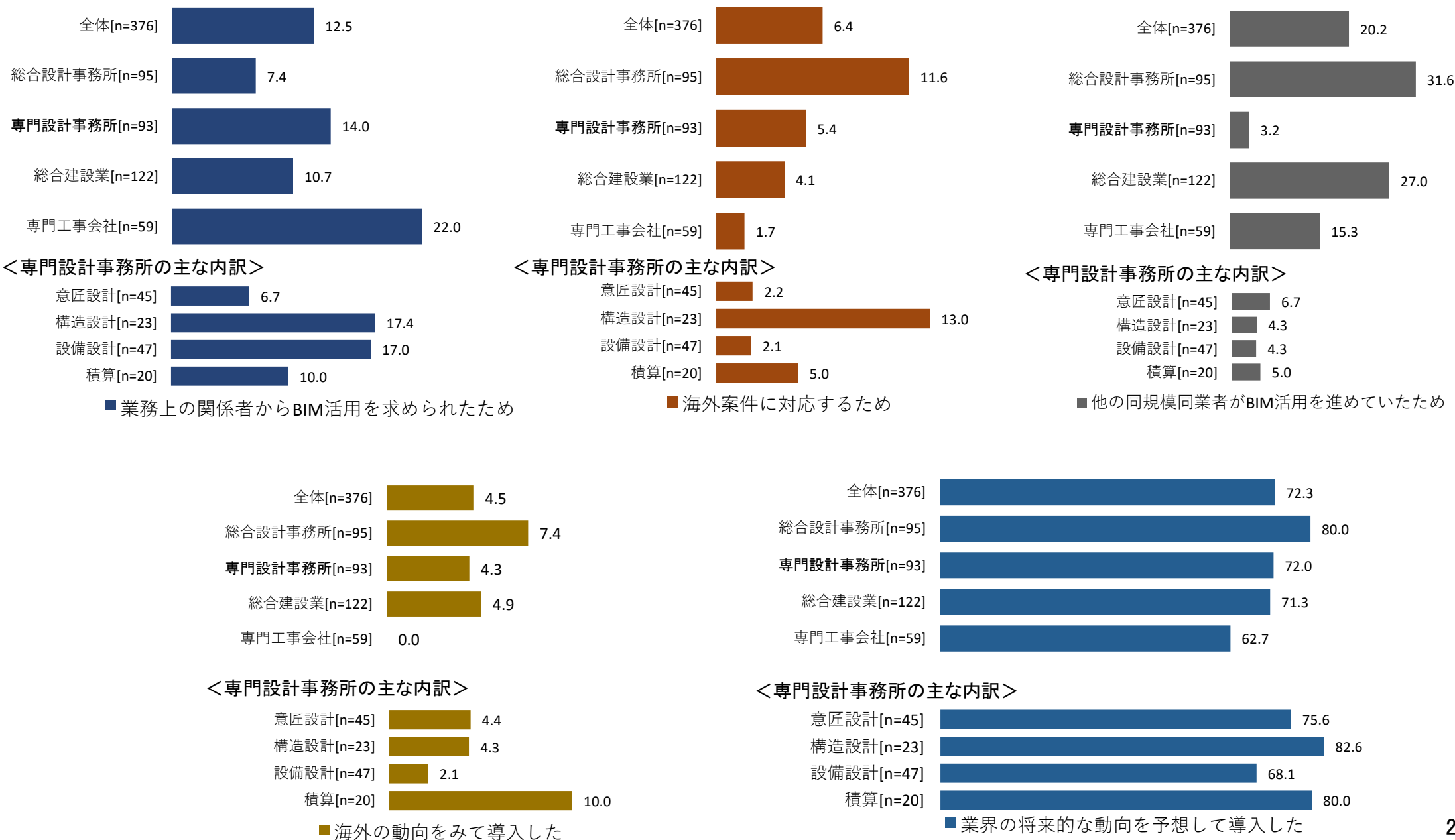
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ（%）



集計結果(クロス集計・属性別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q9 所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ（%）

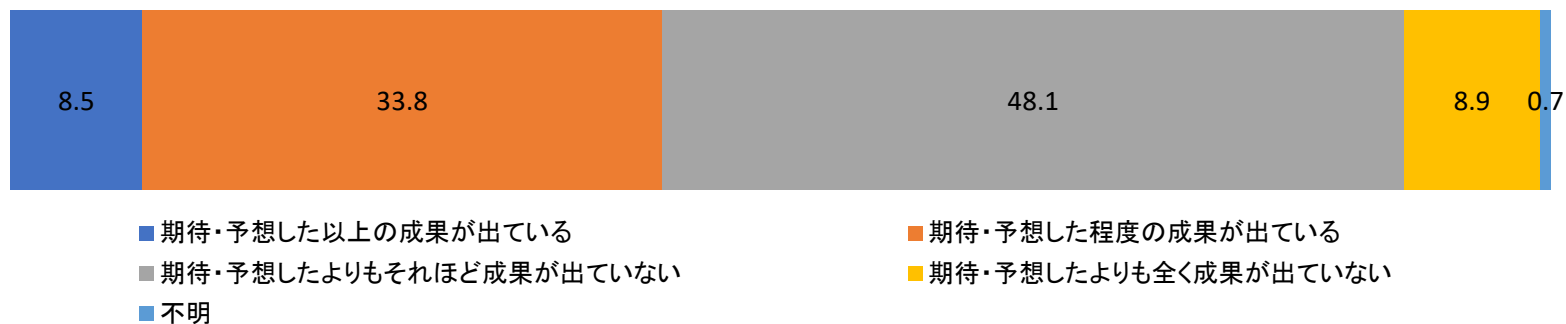


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

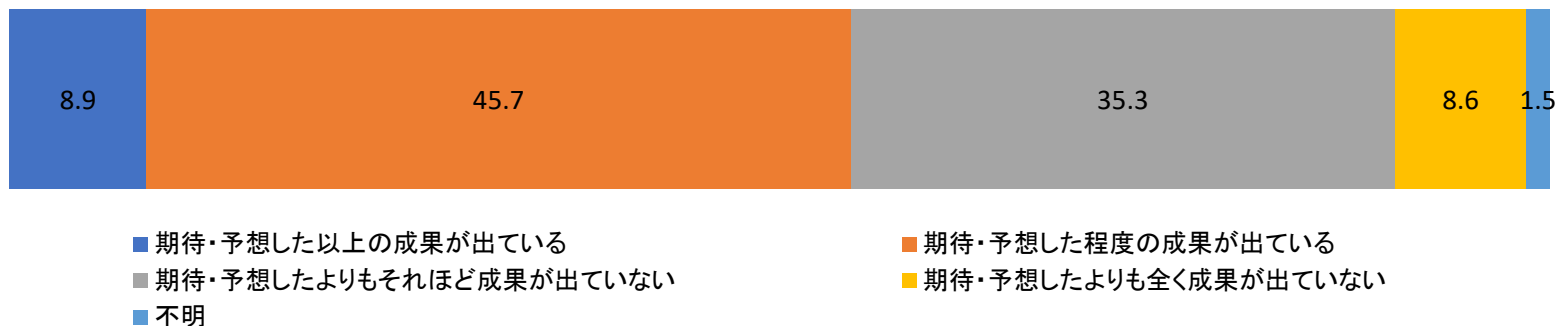
【Q9 「所属部署でBIMを導入した背景やきっかけ」の回答に対する現状の評価について】

Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【①業務の効率化を期待した】(n=293/単一回答/%)



・現時点の業務効率化の評価として、成果が出ているという回答は約4割

Q10② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【②業務の質の向上を期待した】(n=269/単一回答/%)

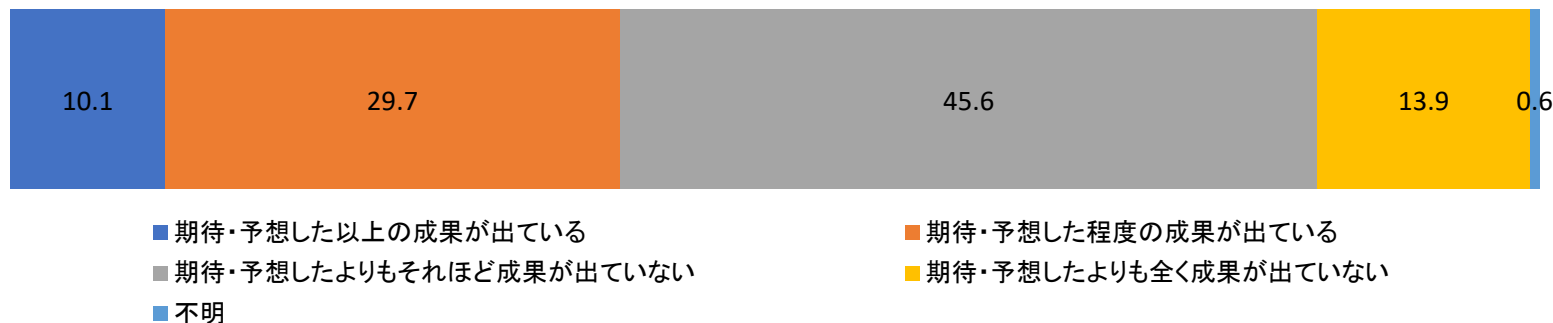


・現時点の業務の質の向上の評価として、成果が出ているという回答は約55%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

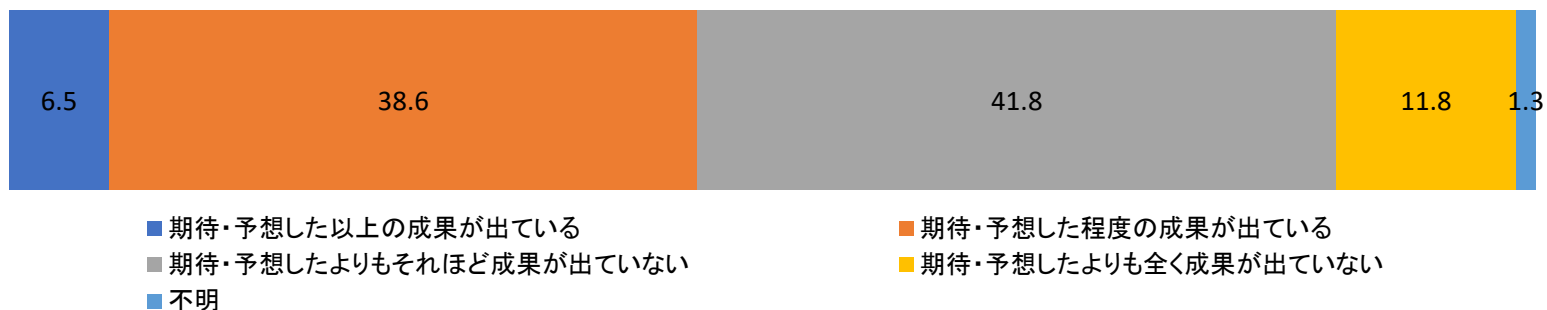
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10③ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【③受注機会の創出を期待した】(n=158/単一回答/%)



・現時点の受注機会の創出の評価として、成果が出ているという回答は約4割

Q10④ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【④データ関係・蓄積を期待した】(n=153/単一回答/%)



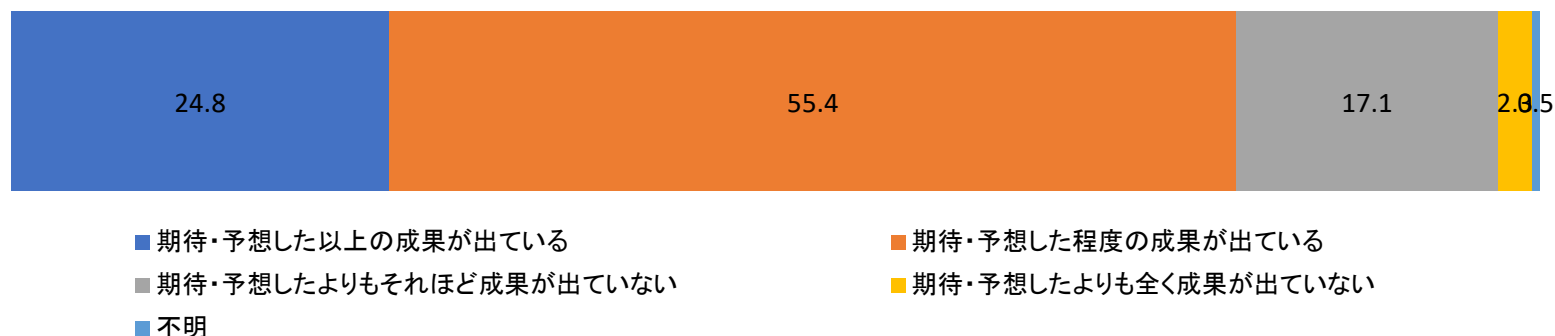
・現時点のデータ連携・蓄積の評価として、成果が出ているという回答は約45%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑤ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】

(n=222/単一回答/%)



・現時点の顧客へのプレゼン活用の評価として、成果が出ているという回答は約 8 割

Q10⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑥発注者からBIM活用を求められた】

(n=84/単一回答/%)

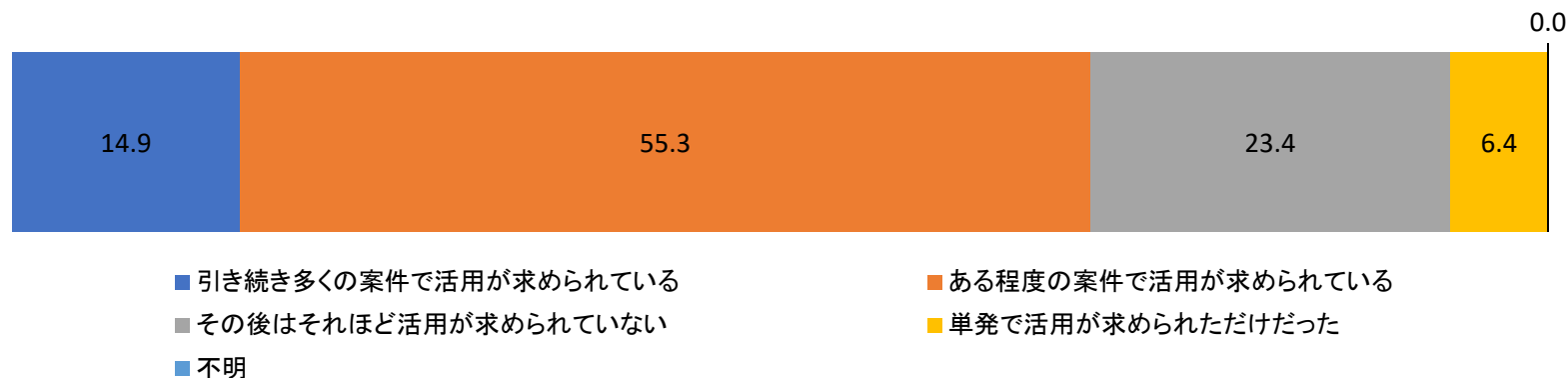


・発注者からBIM活用を求められて導入した場合、約 7 割で引き続き活用が求められている

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

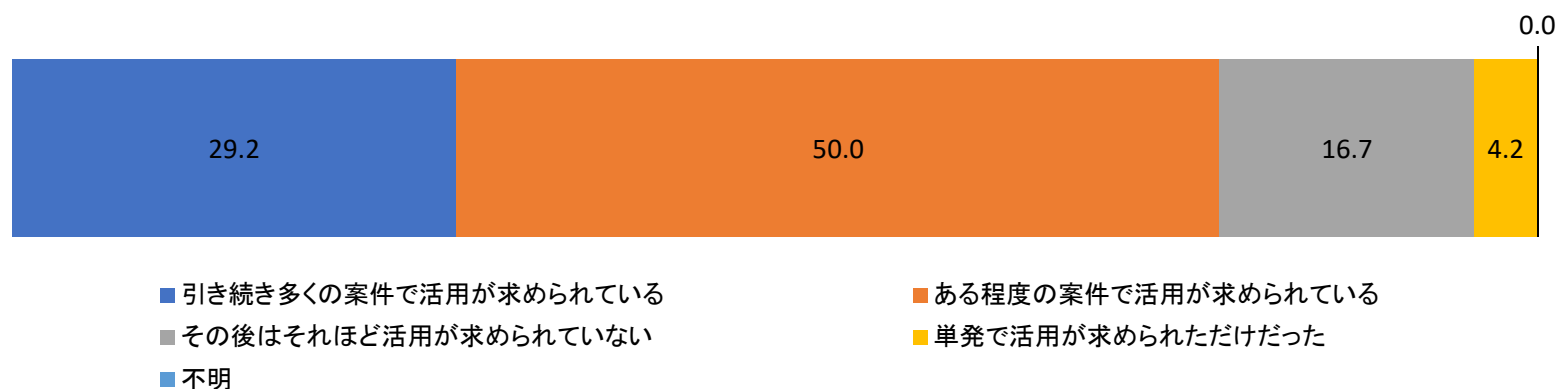
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート (R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑦ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】 (n=47/単一回答/%)



・協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められて導入した場合、約 7 割で引き続き活用が求められている

Q10⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか【⑧海外案件に対応するため】(n=24/単一回答/%)



・海外案件に対応するためBIMを導入した場合、約 8 割で引き続き活用が求められている

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑨ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】

(n=76/単一回答/%)



- 引き続き他の同規模同業者がBIMの活用を積極的に進めており、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、他の同規模同業者がBIMの活用を進めており、BIMを導入してよかった
- 思ったほど他の同規模同業者はBIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは少し違った
- 他の同規模同業者は現状、BIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは違った
- 不明

・他の同規模同業者がBIM活用を進めていたことによりBIMを導入場合、約 8 割は、同業者が活用を進めており、導入してよかったと回答

Q10⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑩海外の動向をみて導入した】(n=17/単一回答/%)



- 引き続き海外の動向をみるとBIMの活用を積極的に進めており、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、海外の動向をみるとBIMの活用を進めており、BIMを導入してよかった
- 思ったほど海外の動向をみるとBIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは少し違った
- 海外の動向をみると現状、BIMの活用を進めていないため、当初の狙いとは違った
- 不明

・海外の動向をみてBIMを導入場合、すべての企業が、海外同行をみるとBIMの活用を進めており、導入してよかったと回答

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q10⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】
(n=272/単一回答/%)



- 業界内でBIMの活用が積極的に進んでおり、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、業界内でBIMの活用が進んでおり、BIMを導入してよかった
- 思ったほど業界内でBIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは少し違った
- 業界内では現状、BIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは違った
- 不明

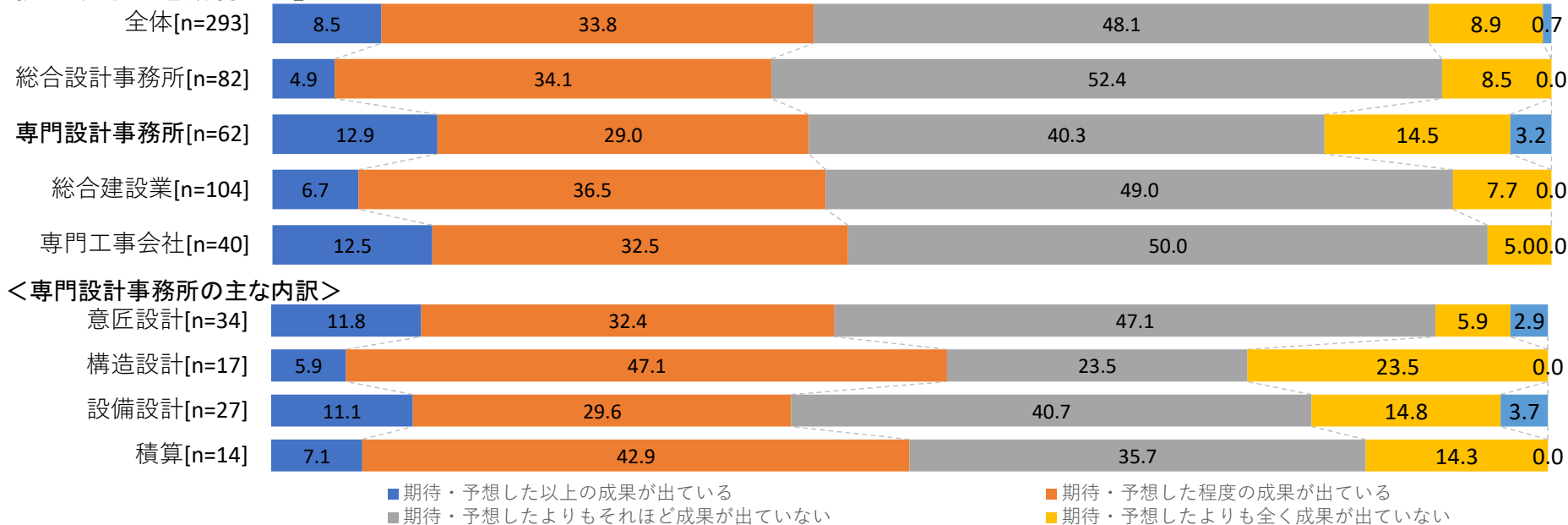
・半数強が、業界内でBIMの活用が進んでおり、導入してよかったと回答

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

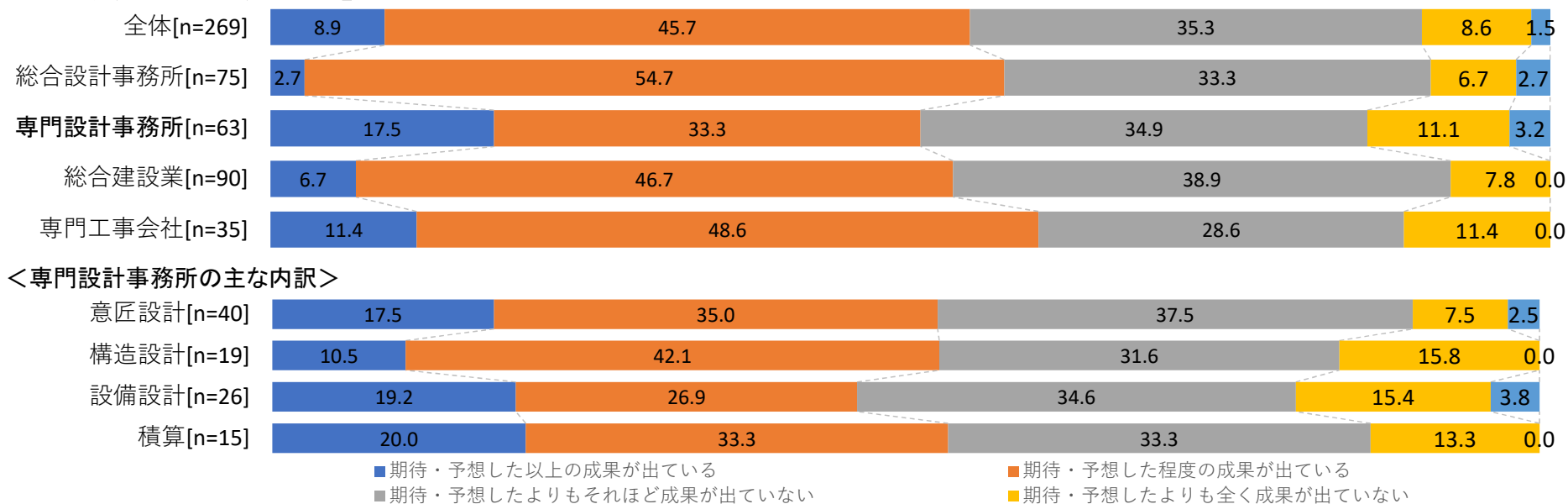
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10① 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【①業務の効率化を期待した】



【②業務の質の向上を期待した】

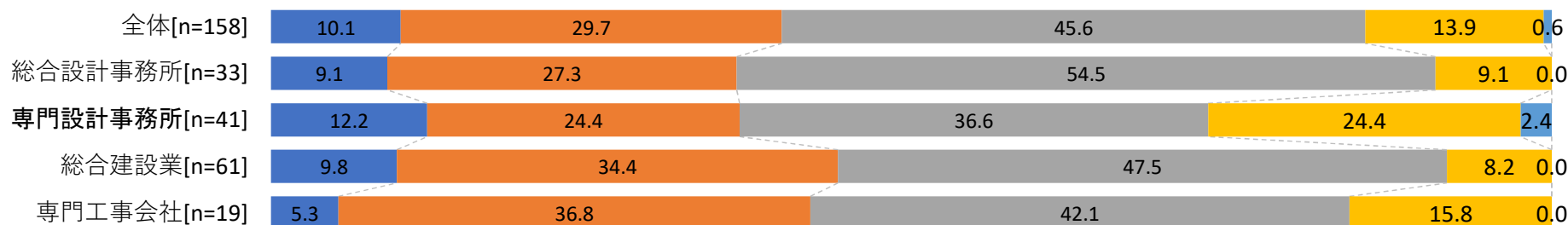


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

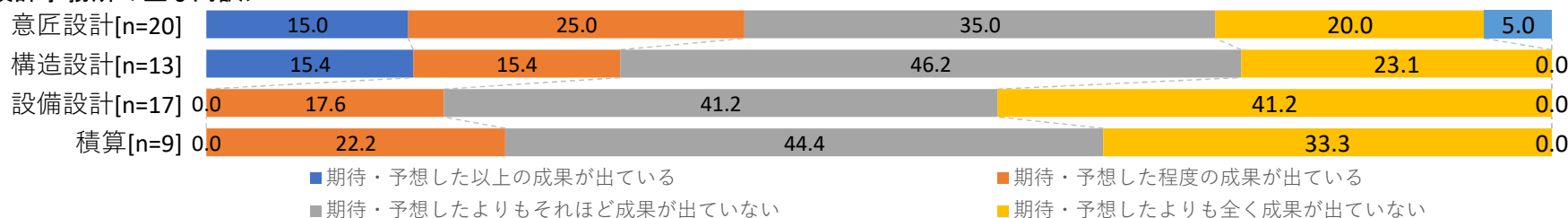
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10③④ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【③受注機会の創出を期待した】

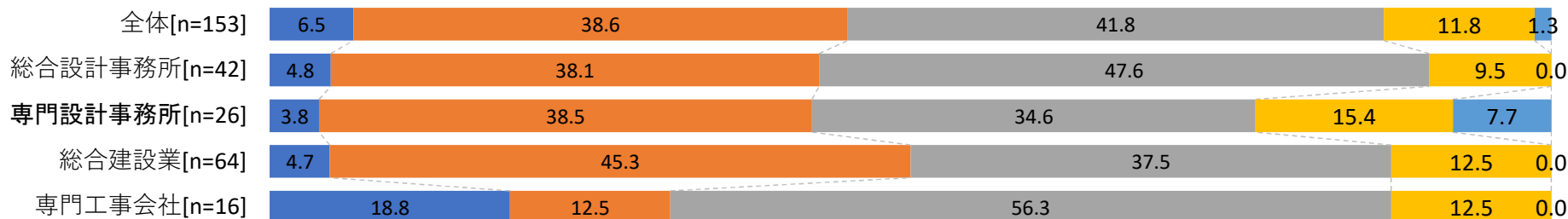


<専門設計事務所の主な内訳>

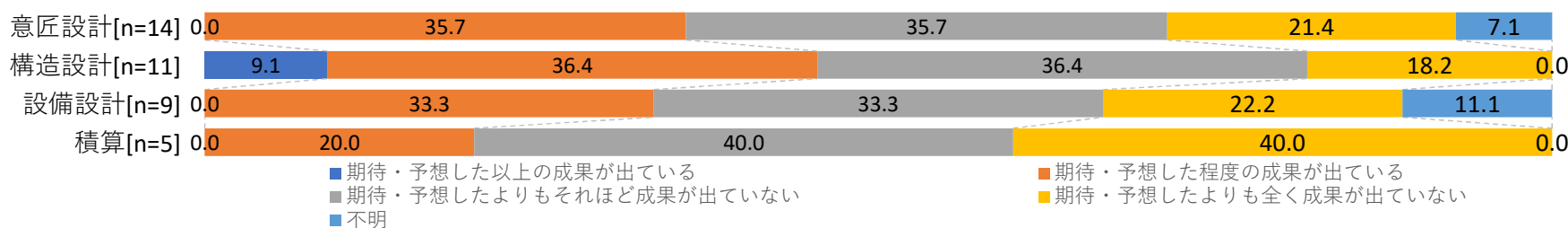


■ 期待・予想した以上の成果が出ている
■ 期待・予想した程度の成果が出ている
■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない

【④データ関係・蓄積を期待した】



<専門設計事務所の主な内訳>



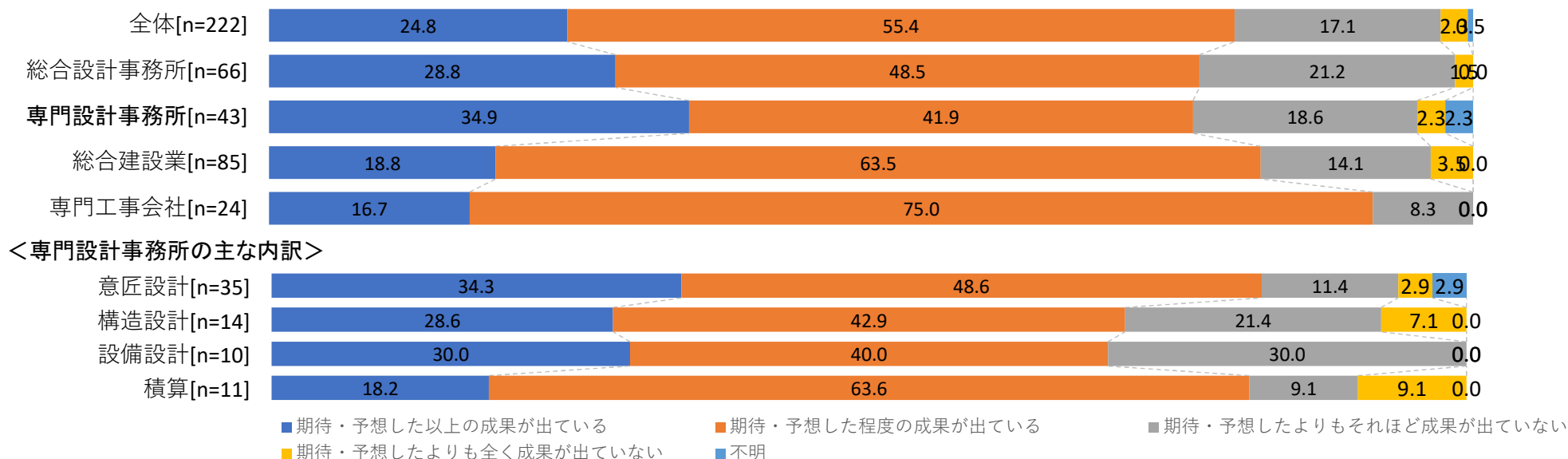
■ 期待・予想した以上の成果が出ている
■ 期待・予想した程度の成果が出ている
■ 期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない
■ 期待・予想したよりも全く成果が出ていない
■ 不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

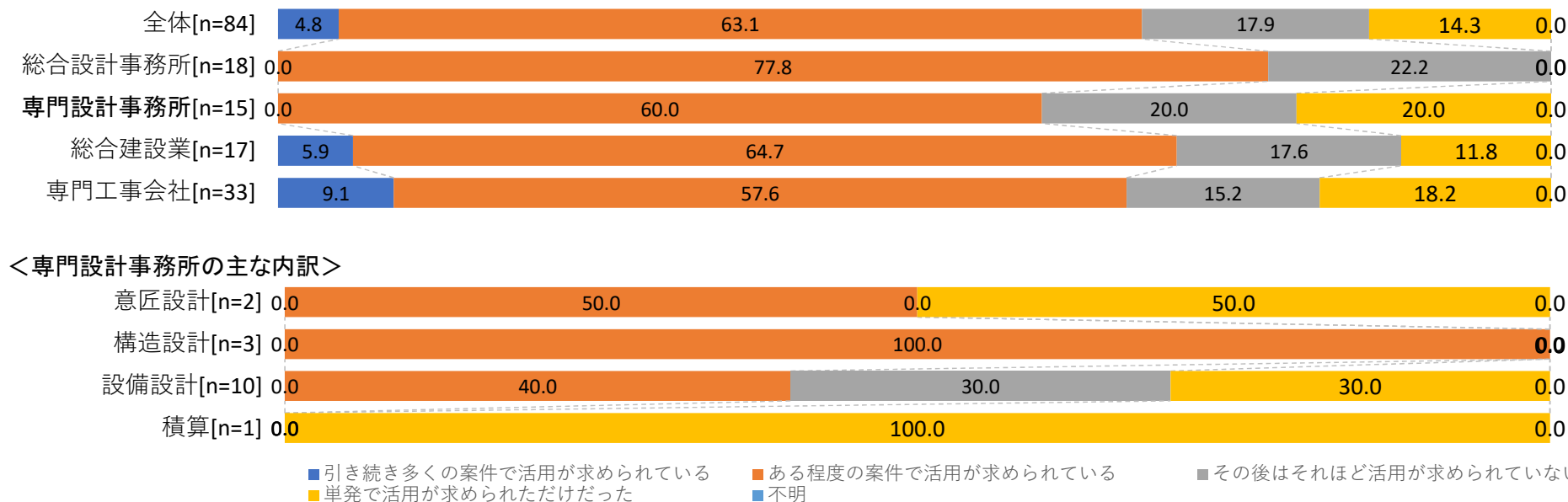
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑤⑥ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】



【⑥発注者からBIM活用を求められた】

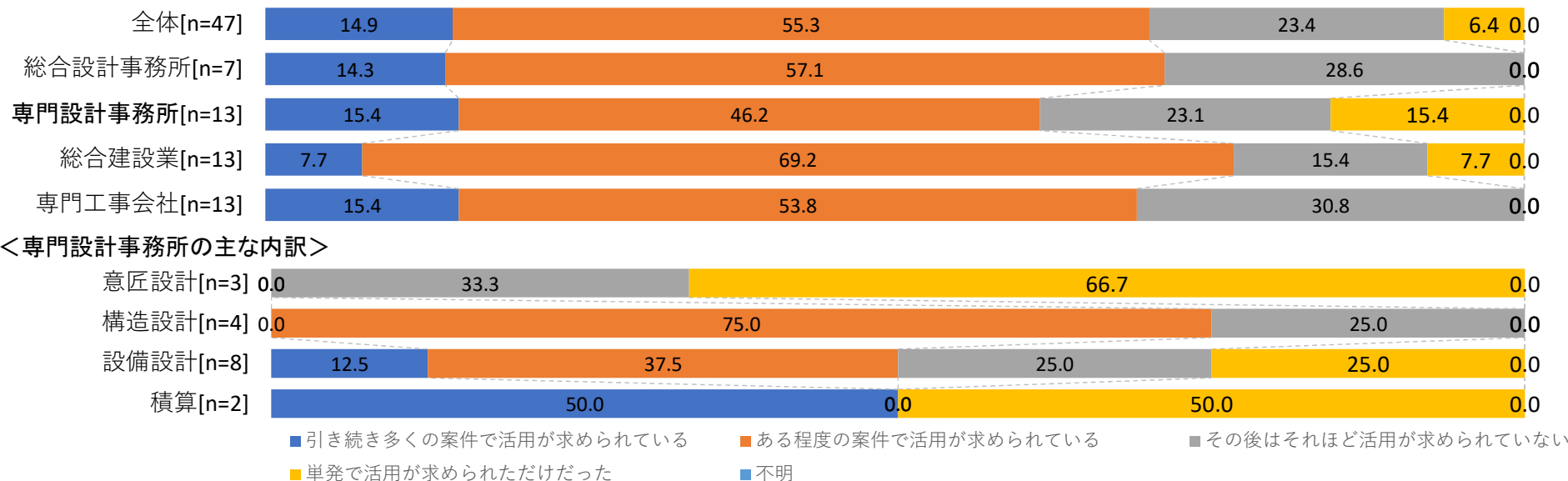


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

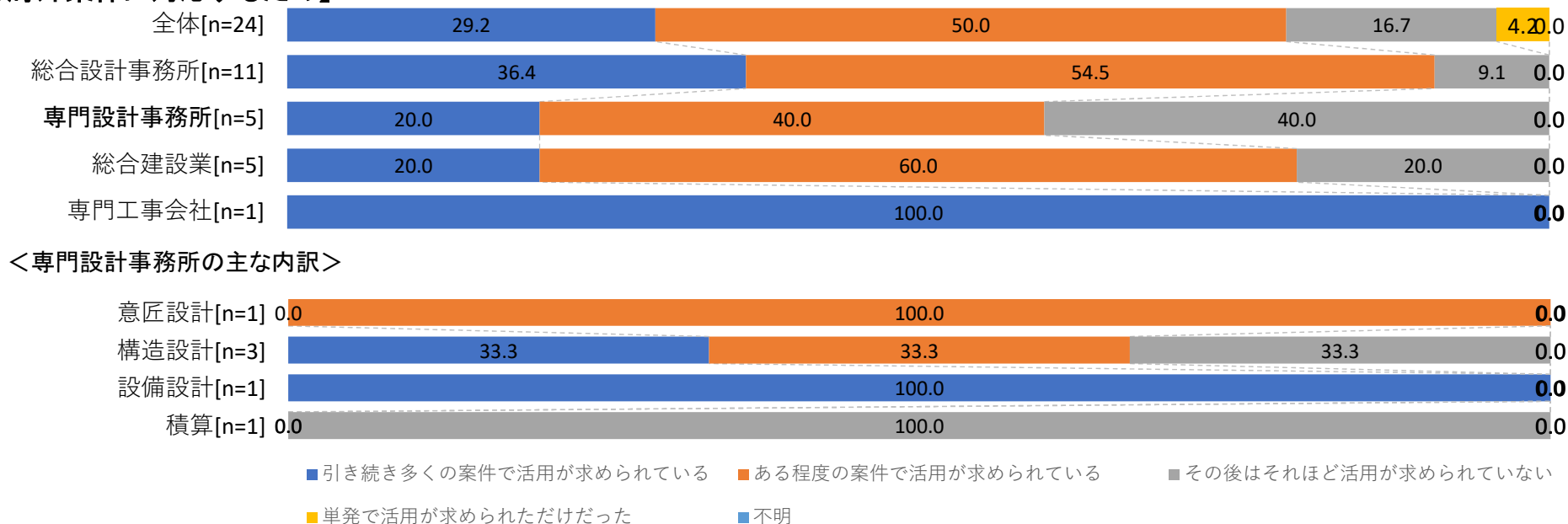
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑦⑧ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】



【⑧海外案件に対応するため】

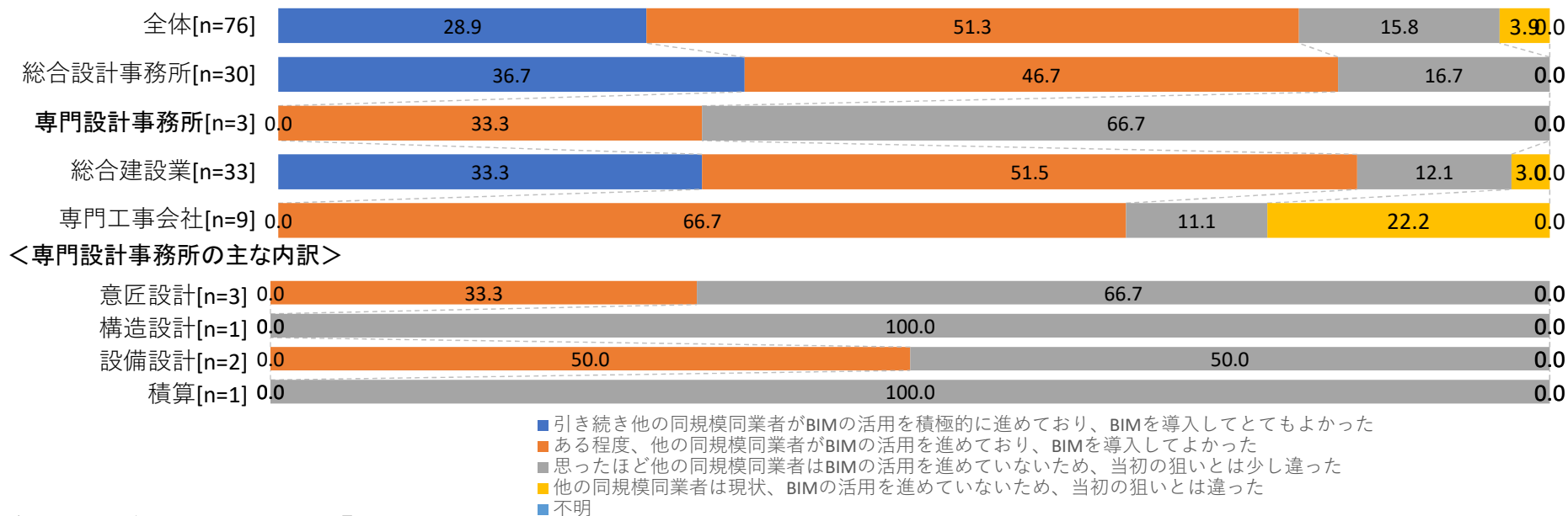


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

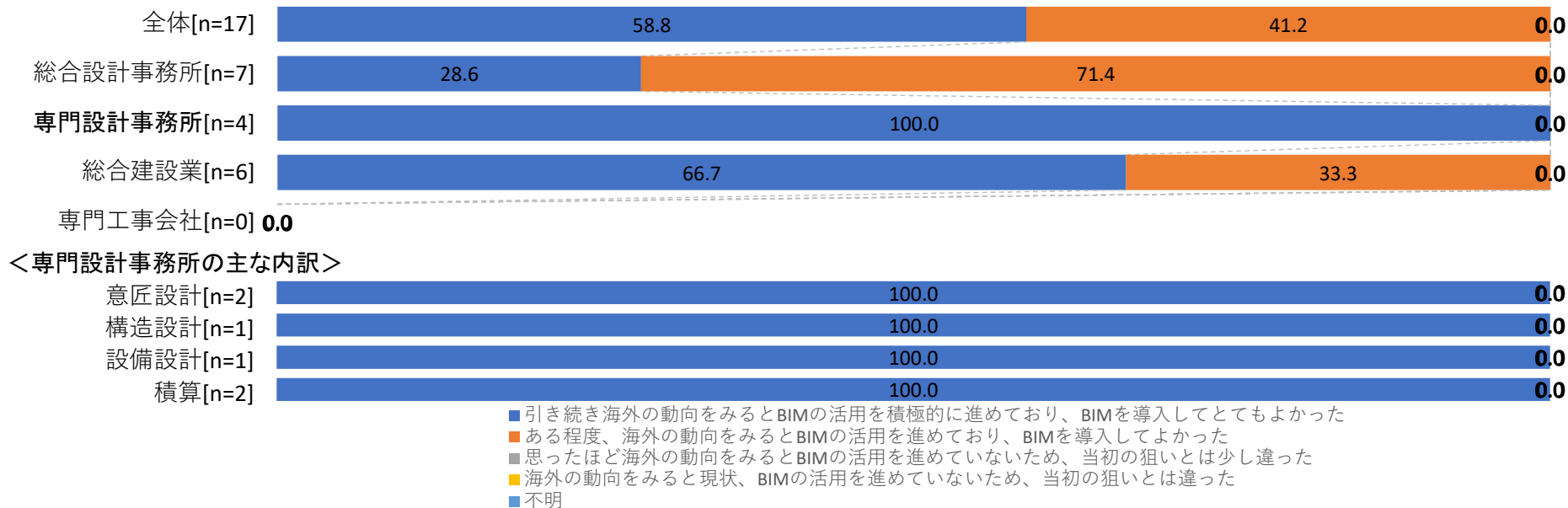
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑨⑩ 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】



【⑩海外の動向をみて導入した】

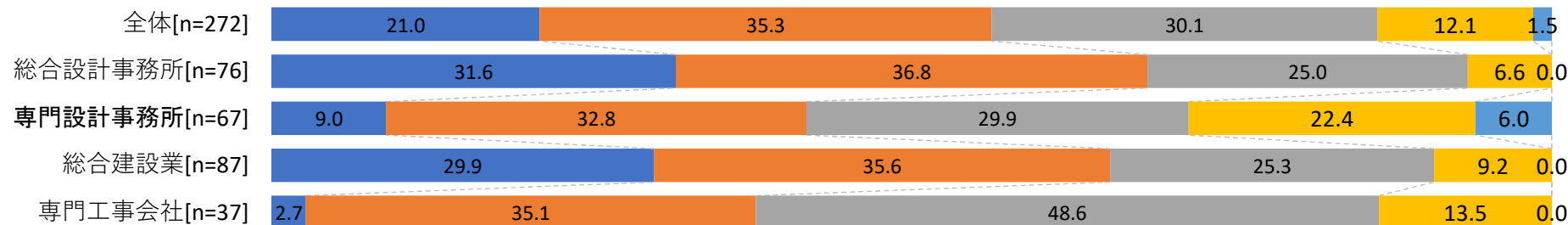


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

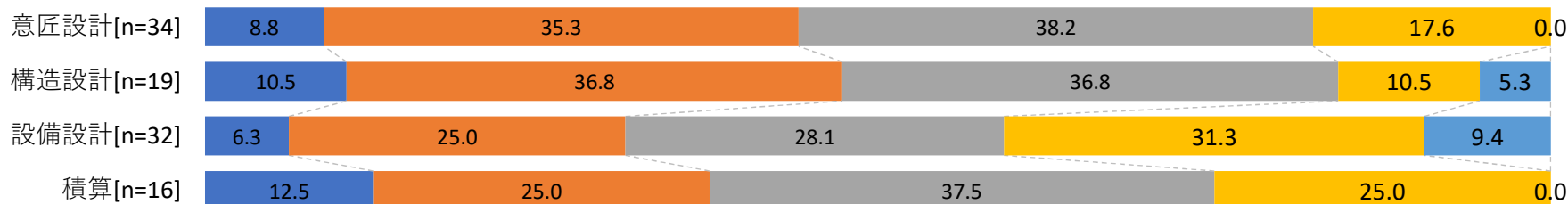
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q10⑪ 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】



<専門設計事務所の主な内訳>



- 業界内でBIMの活用が積極的に進んでおり、BIMを導入してとてもよかった
- ある程度、業界内でBIMの活用が進んでおり、BIMを導入してよかった
- 思ったほど業界内でBIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは違った
- 業界内では現状、BIMの活用が進んでいないため、当初の狙いとは違った
- 不明

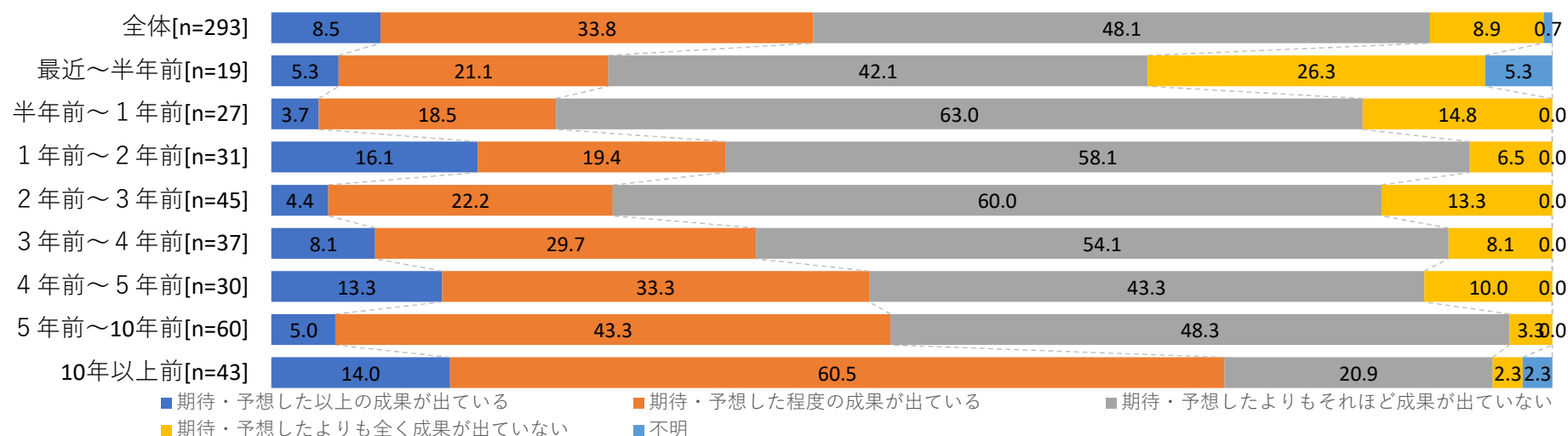
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

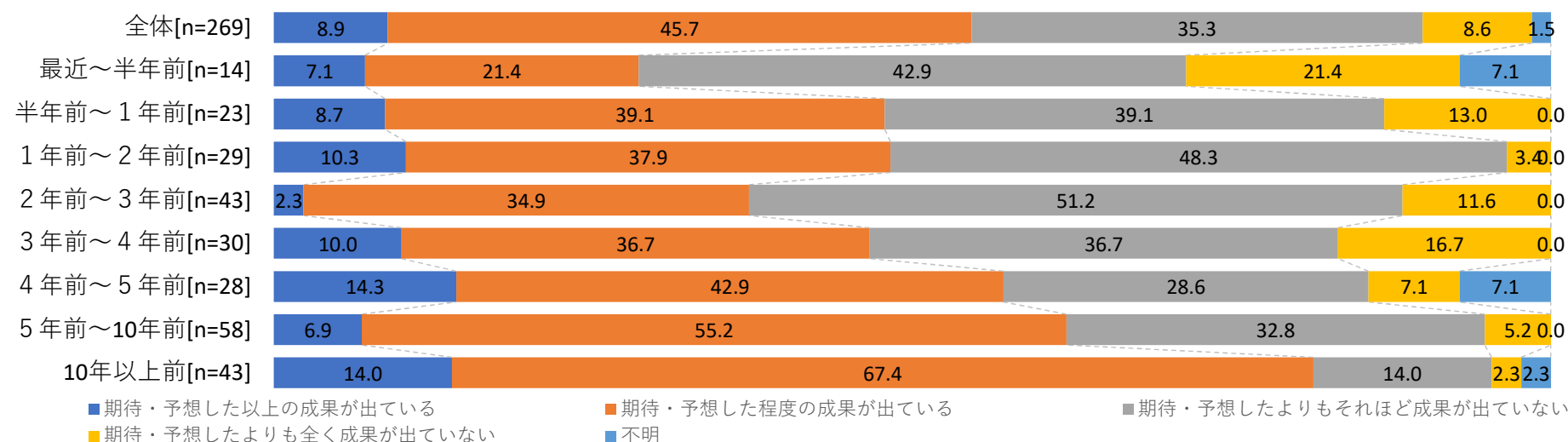
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【①業務の効率化を期待した】



【②業務の質の向上を期待した】



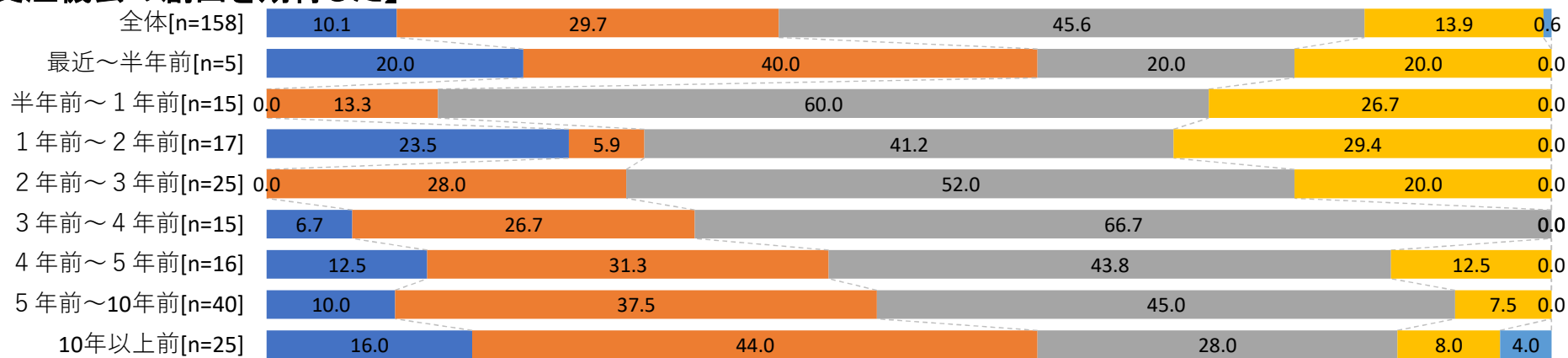
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

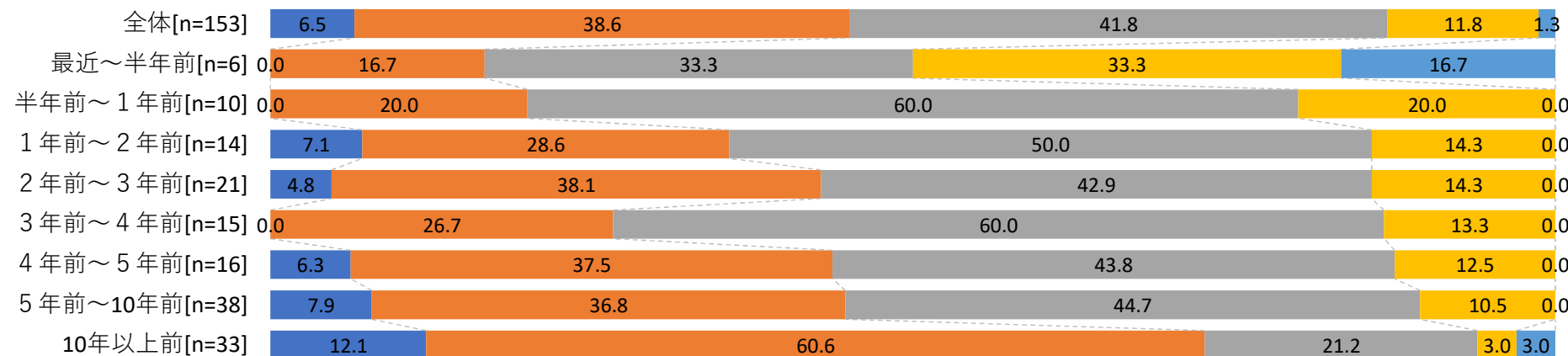
クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【③受注機会の創出を期待した】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

【④データ関係・蓄積を期待した】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

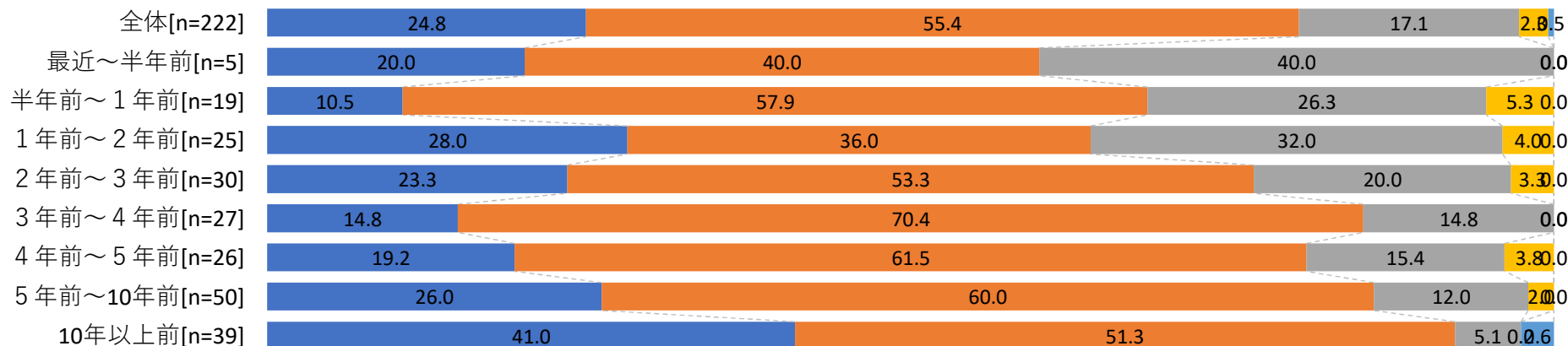
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

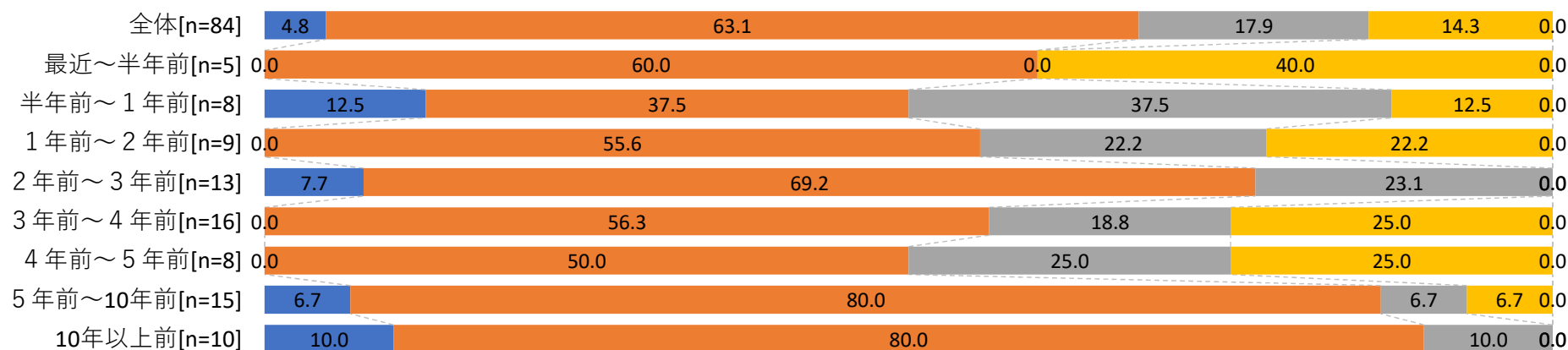
クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため】



■期待・予想した以上の成果が出ている ■期待・予想した程度の成果が出ている ■期待・予想したよりもそれほど成果が出ていない ■期待・予想したよりも全く成果が出ていない ■不明

【⑥発注者からBIM活用を求められた】



■引き続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められただけだった ■不明

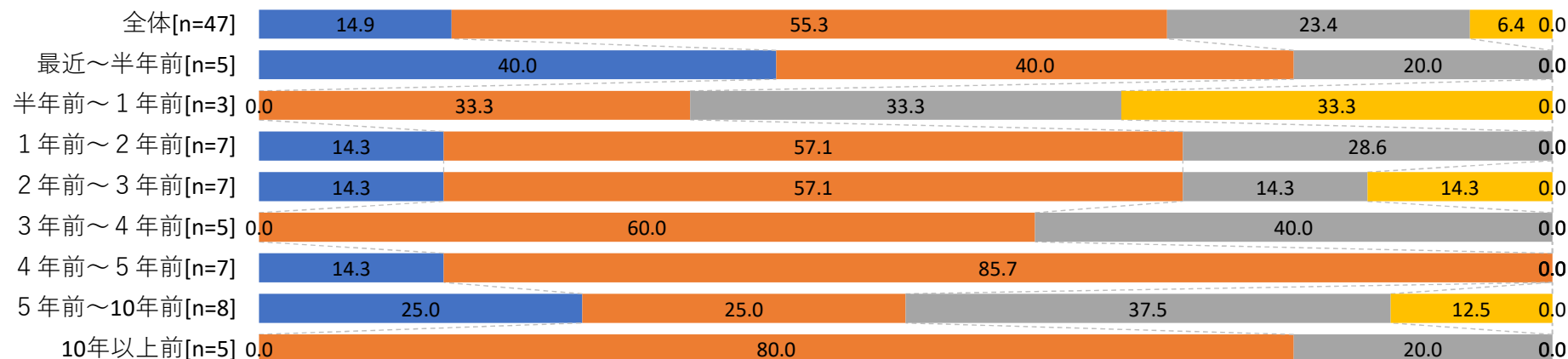
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

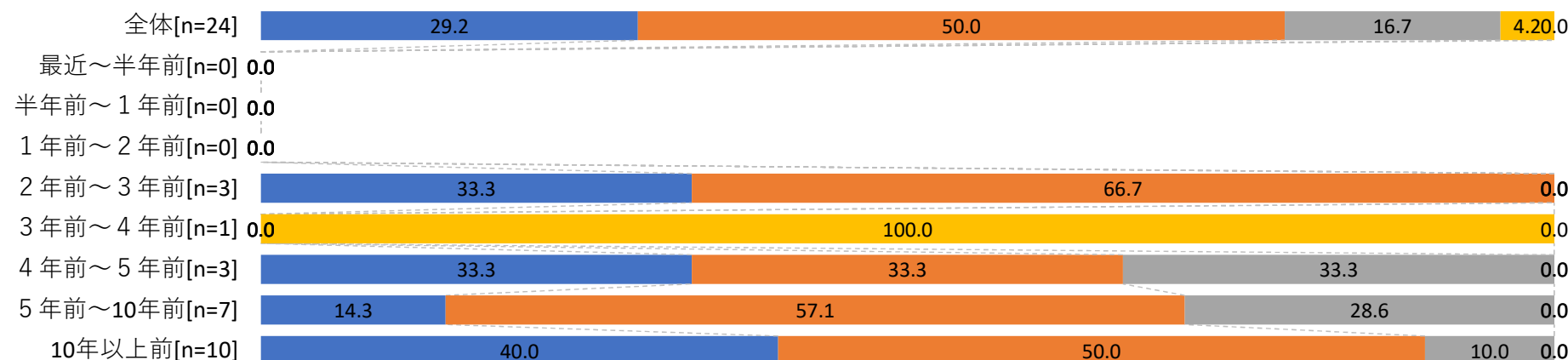
クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められた】



■引続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められただけだった ■不明

【⑧海外案件に対応するため】



■引続き多くの案件で活用が求められている ■ある程度の案件で活用が求められている ■その後はそれほど活用が求められていない ■単発で活用が求められただけだった ■不明

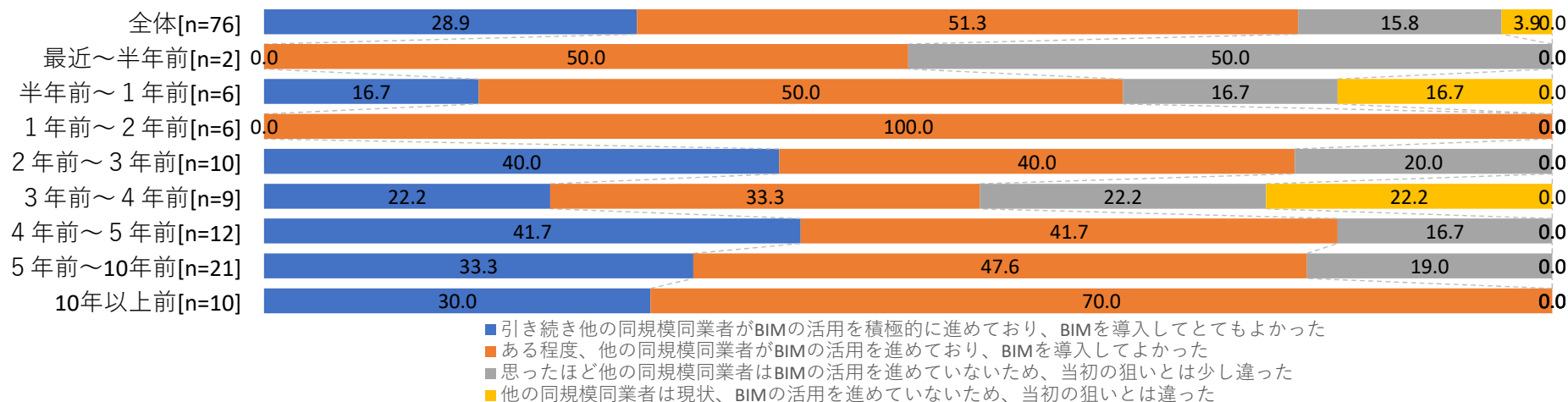
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

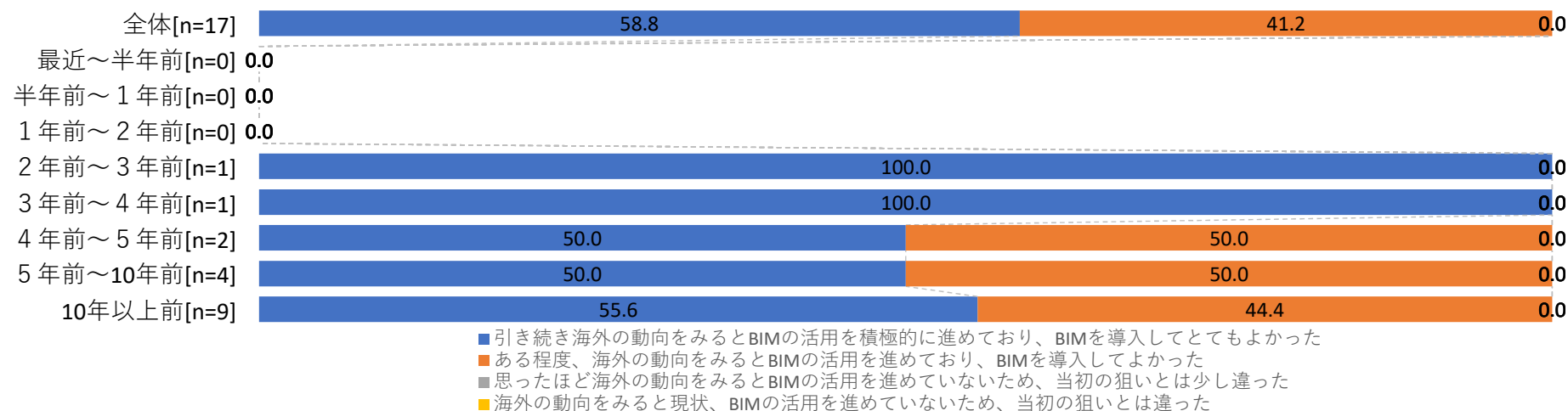
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用成果をどう評価するか

【⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていた】



【⑩海外の動向をみて導入した】



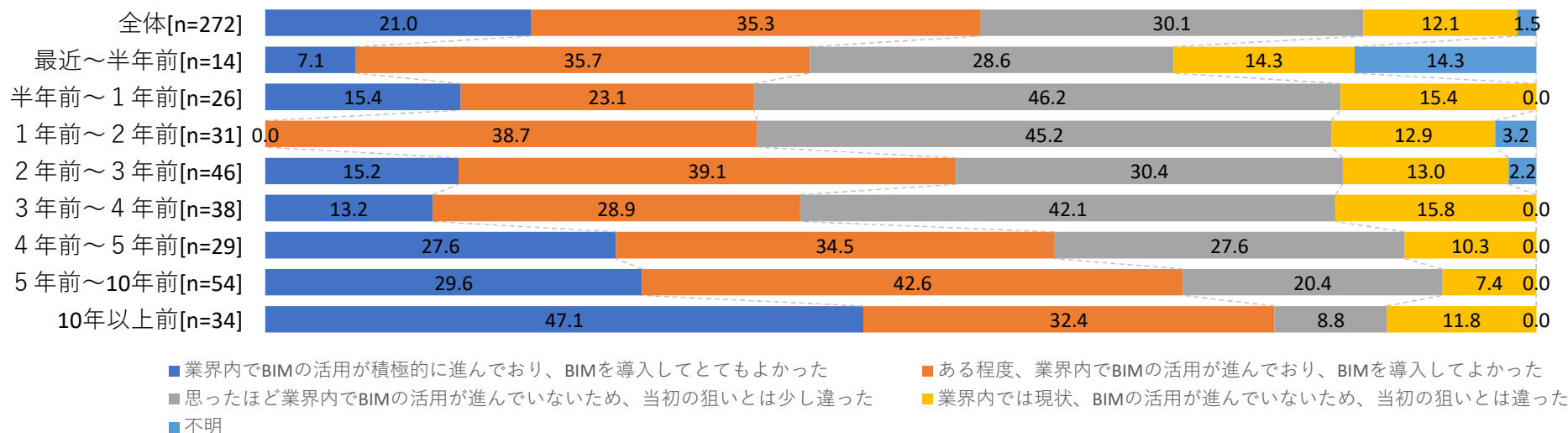
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

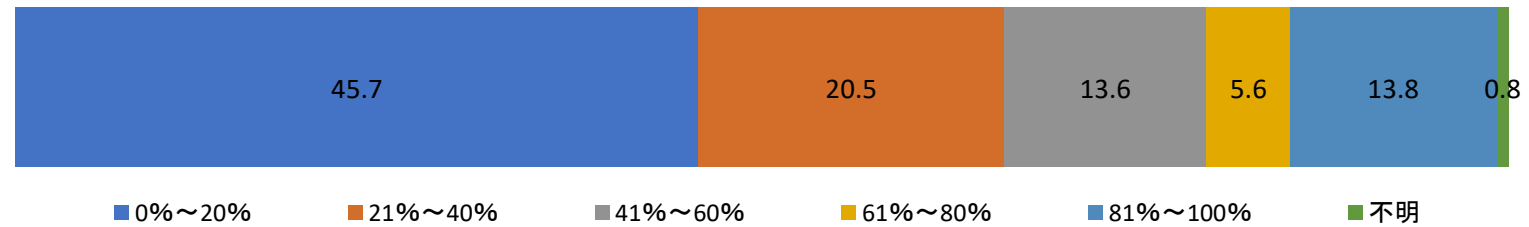
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計: Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q10①② 現時点の所属部署でのBIMの活用の成果をどう評価するか

【⑪業界の将来的な動向を予想して導入した】



Q11 所属部署でBIMを活用している人数の割合 (n=376/単一回答/%)



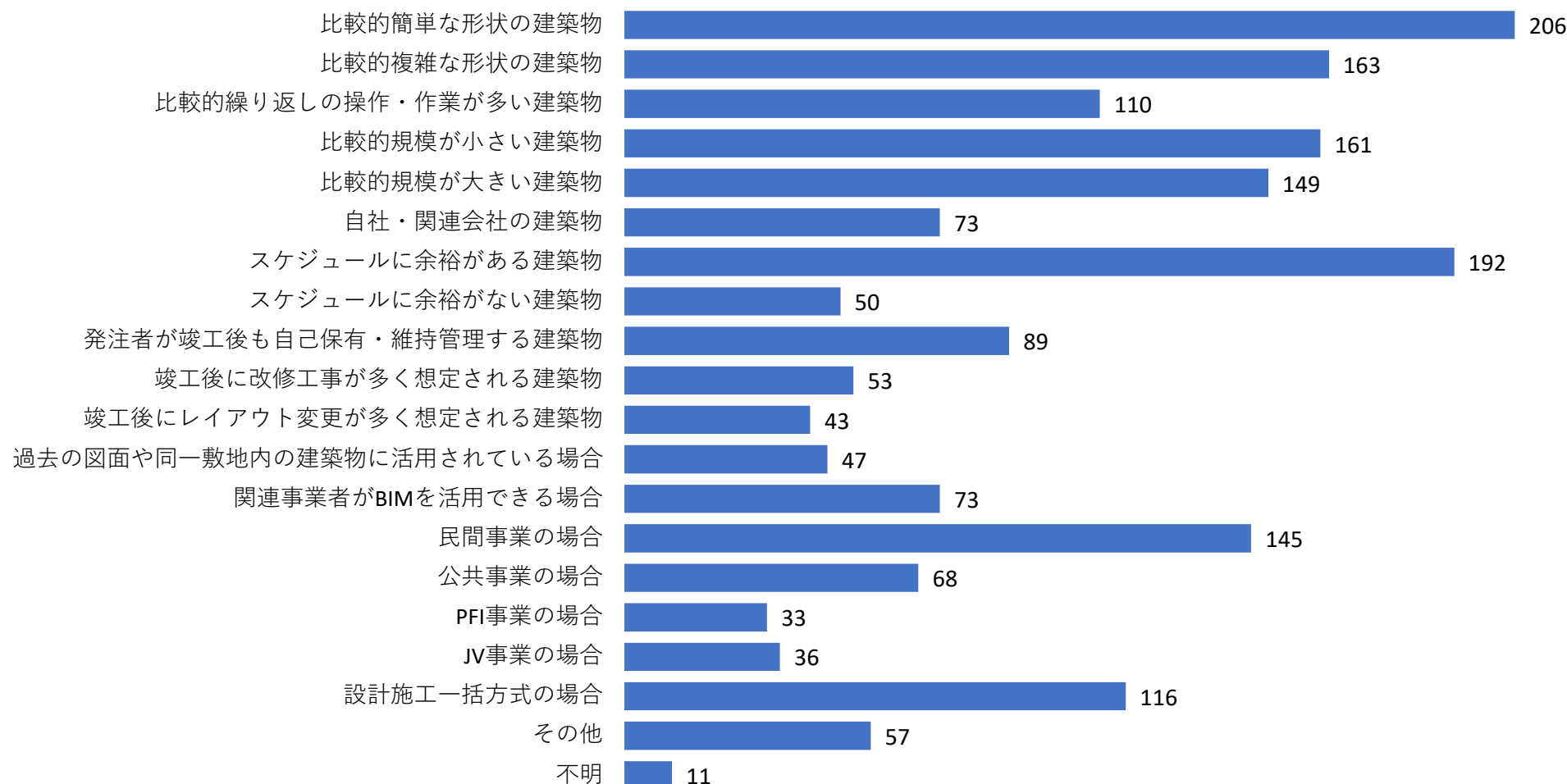
・所属部署でのBIMを活用する人数割合として、「0%~40%」という回答が約65%

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴 (n=376/複数回答/件数)



・所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴として、「比較的簡単な形状の建築物」や「スケジュールに余裕がある建築物」等が多いが、「比較的複雑な形状の建築物」も多い。また、「スケジュールに余裕がない建築物」の回答も少なからずある。

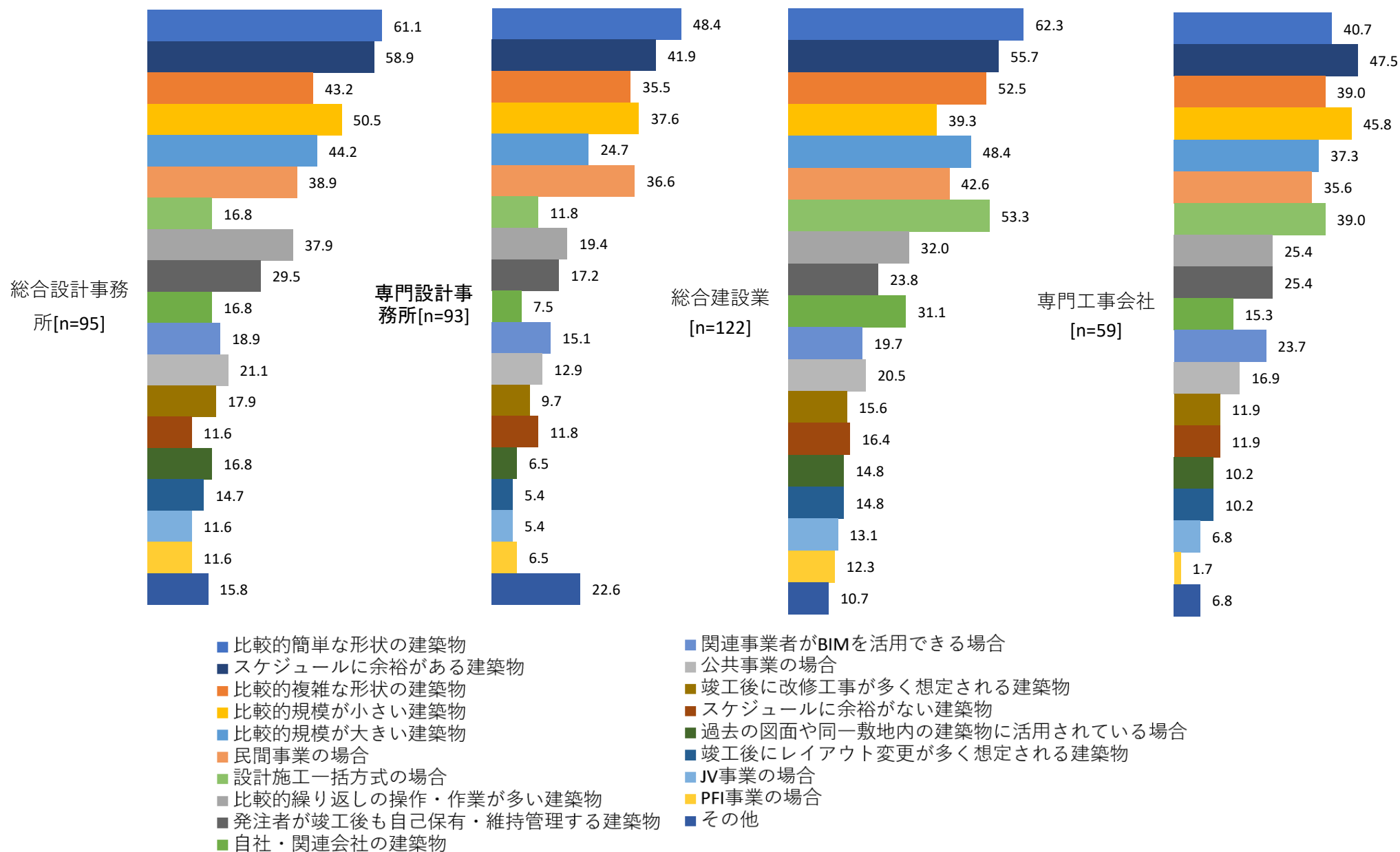
※「その他」の回答例として、「原則すべての案件でBIM活用」、「導入したばかりでまだ判断がつかない」等が多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類)×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴(%)



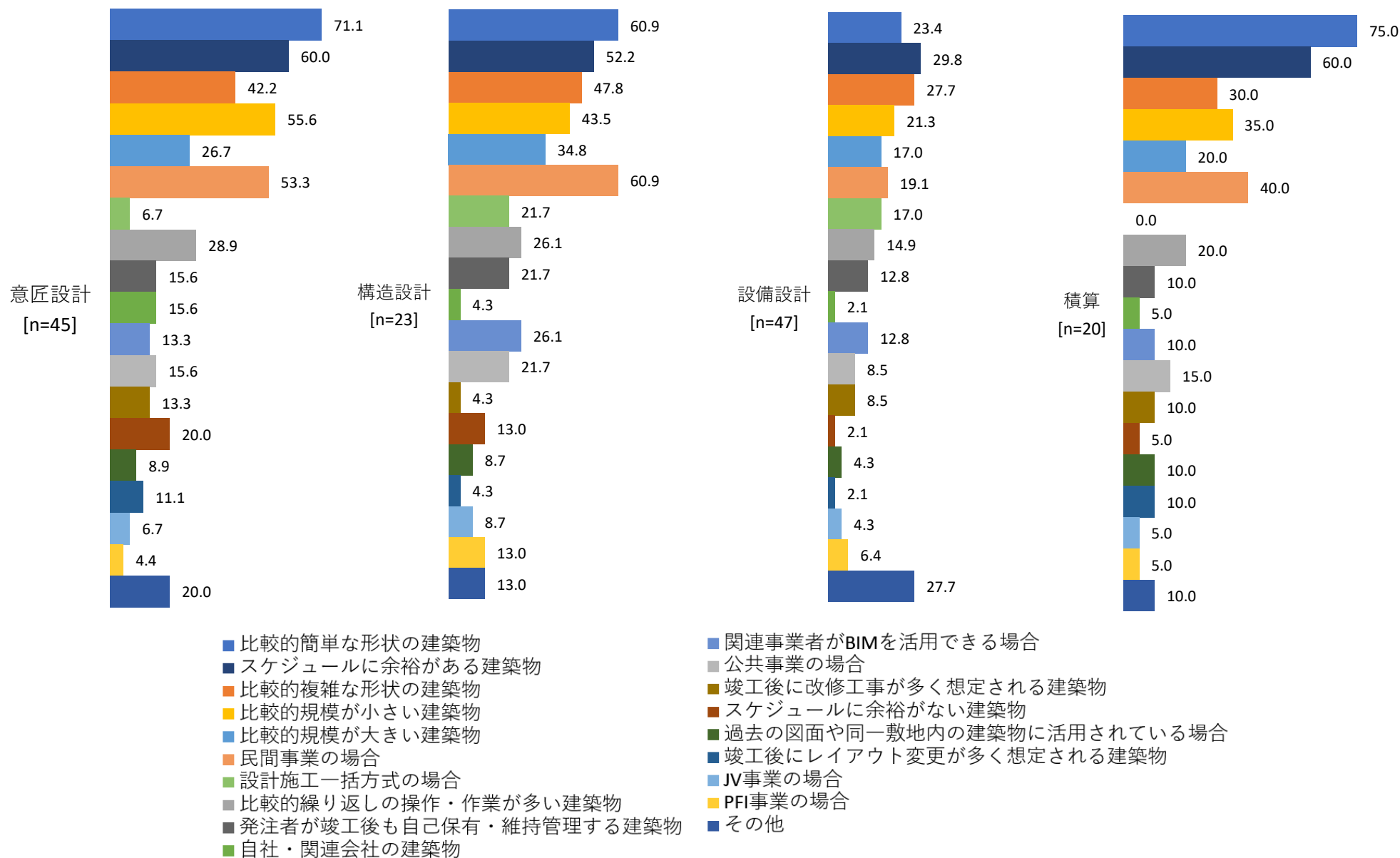
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類)×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴(%)

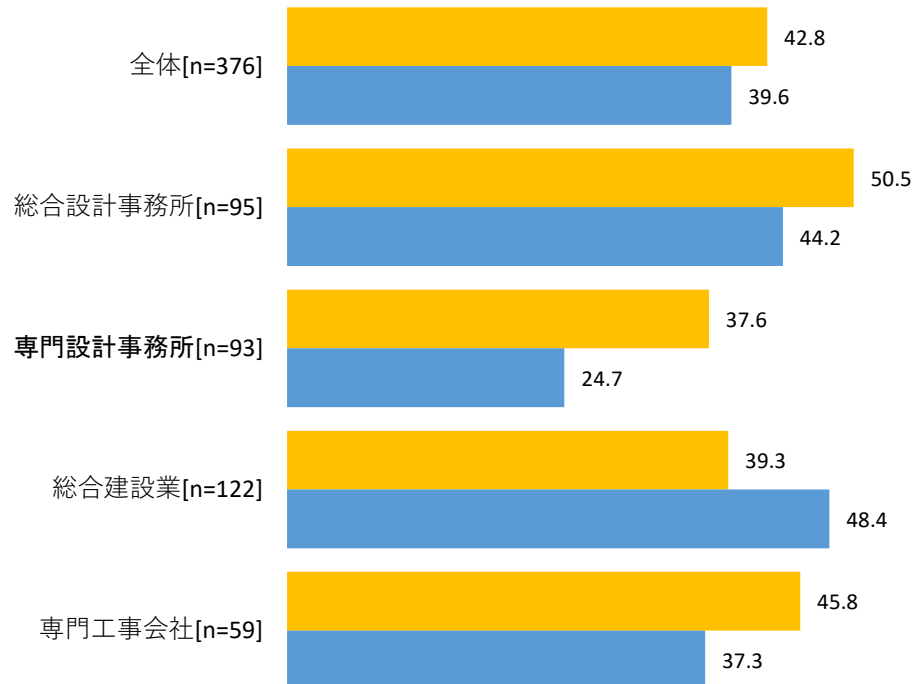
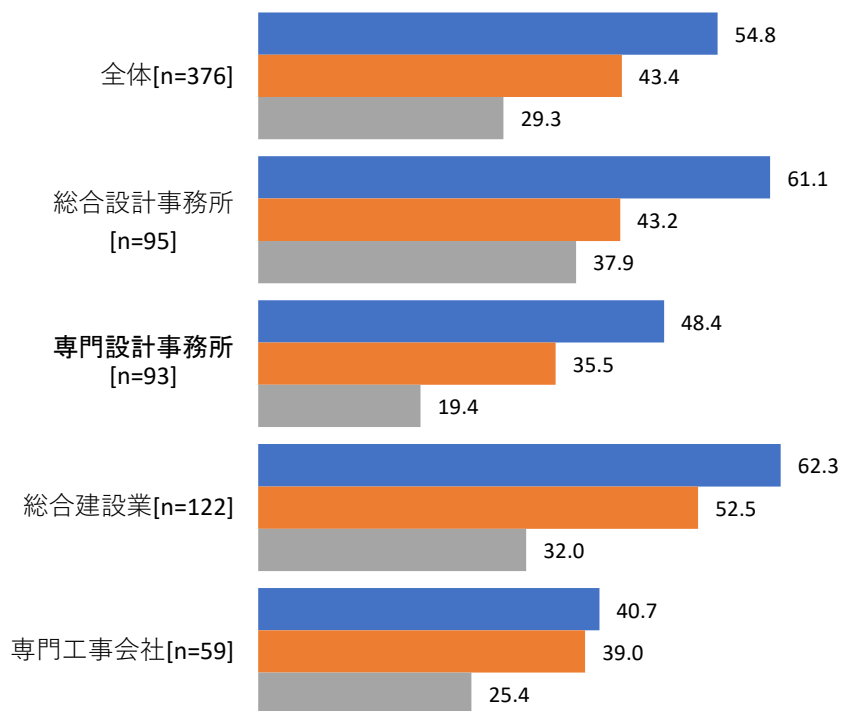
<専門設計事務所の主な内訳>



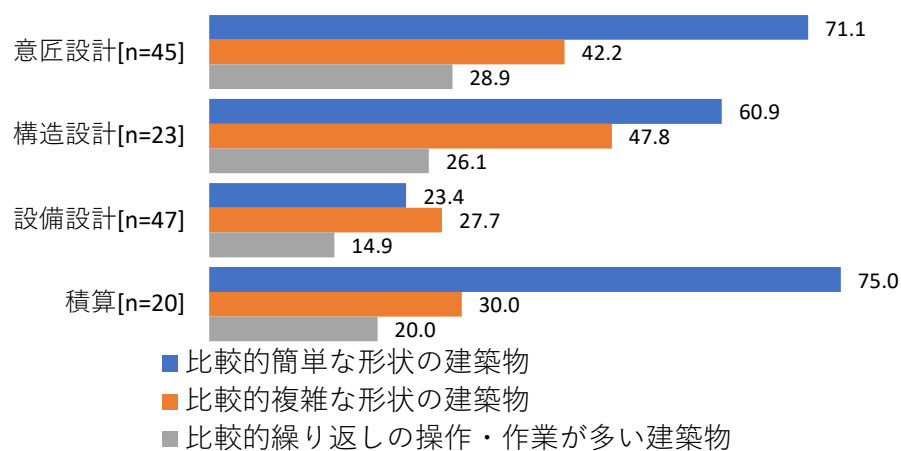
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

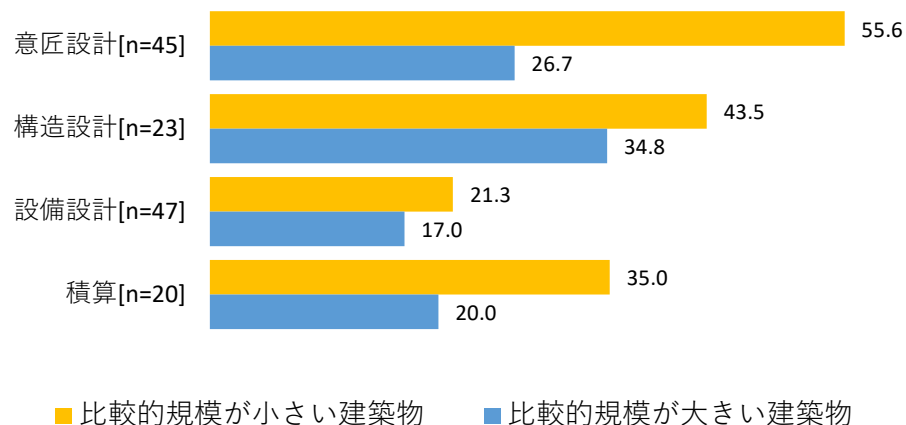
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



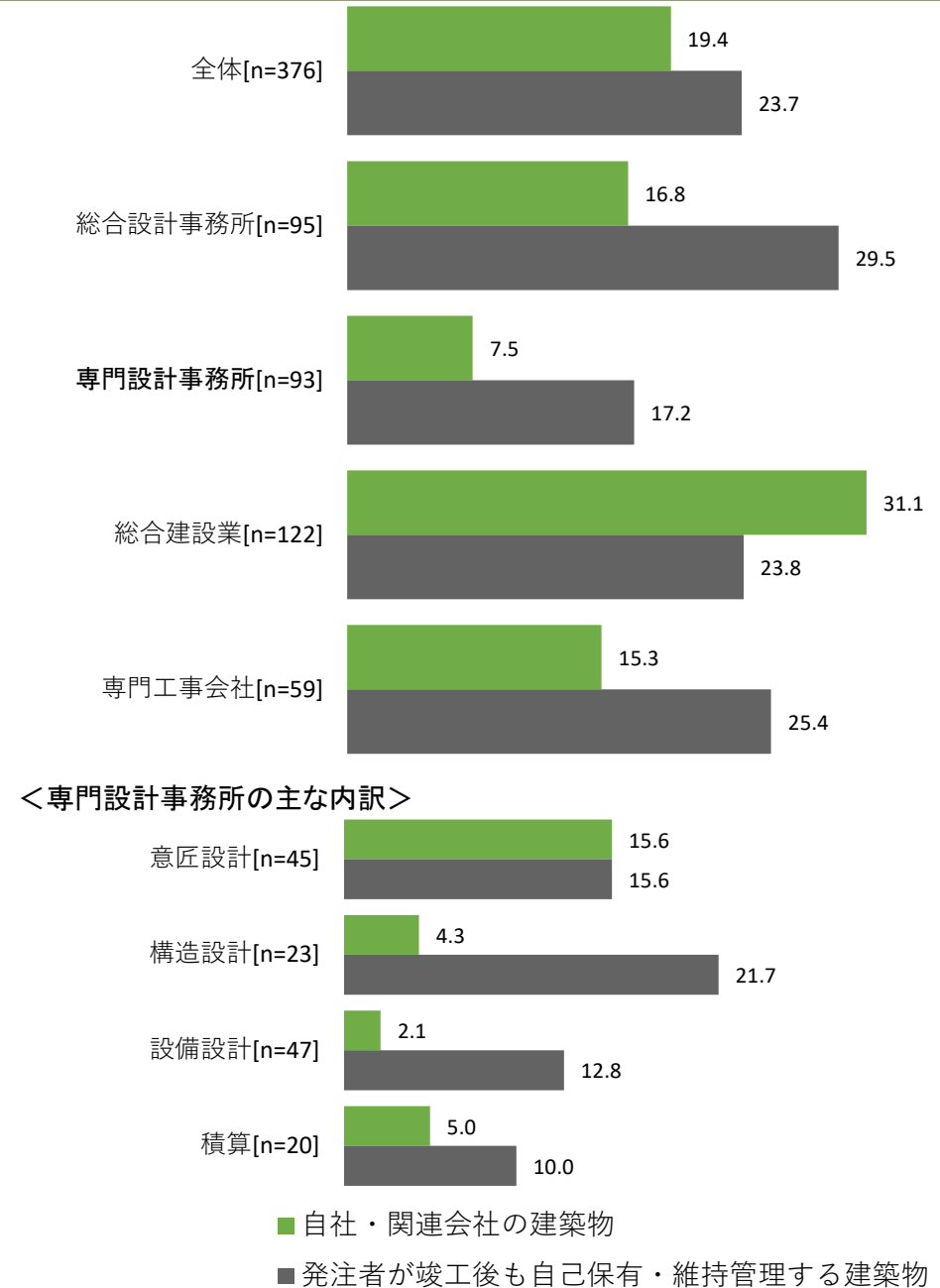
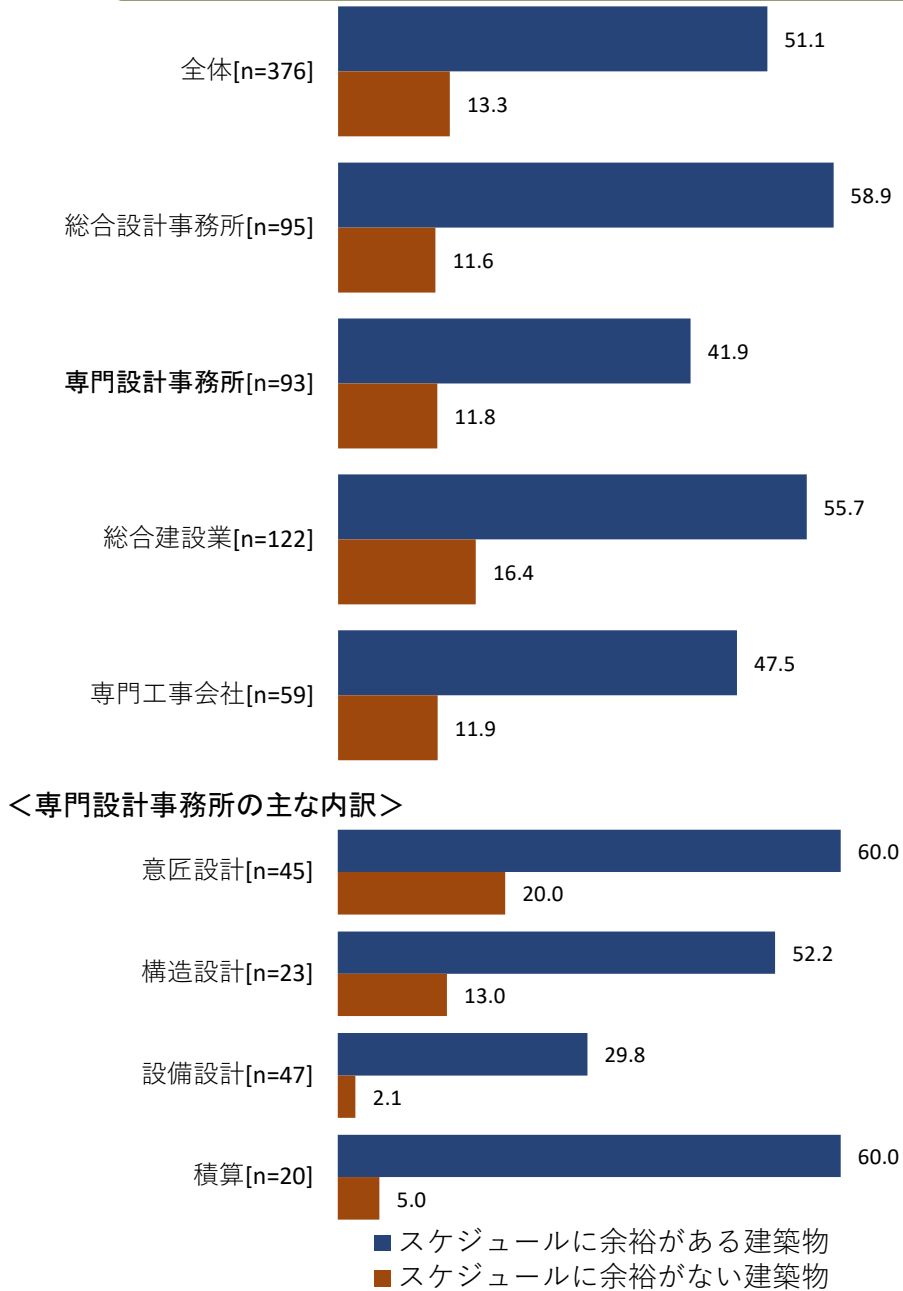
<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

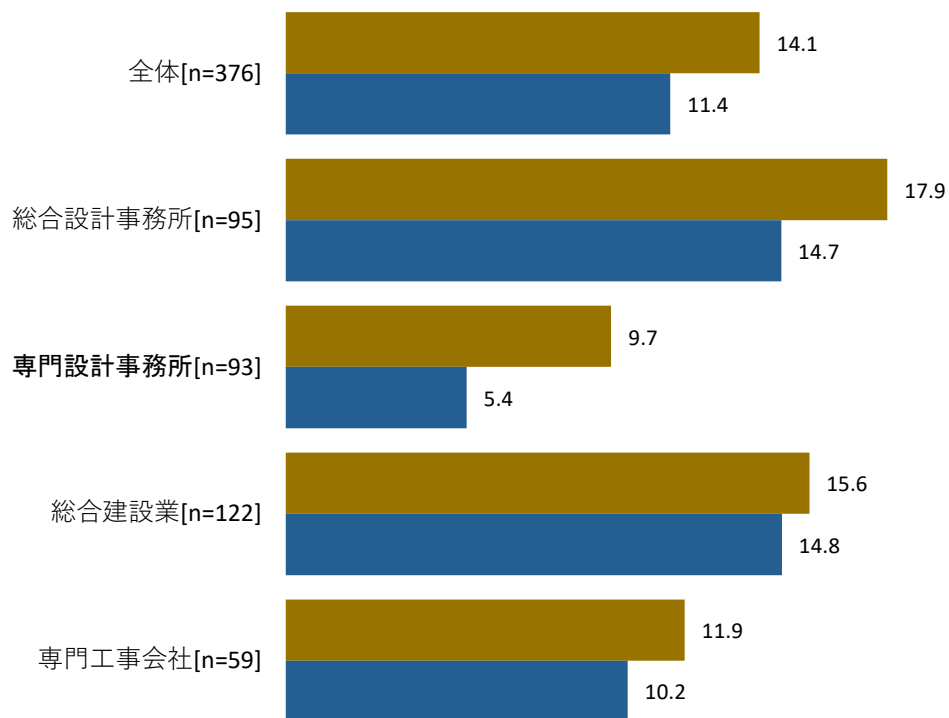
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



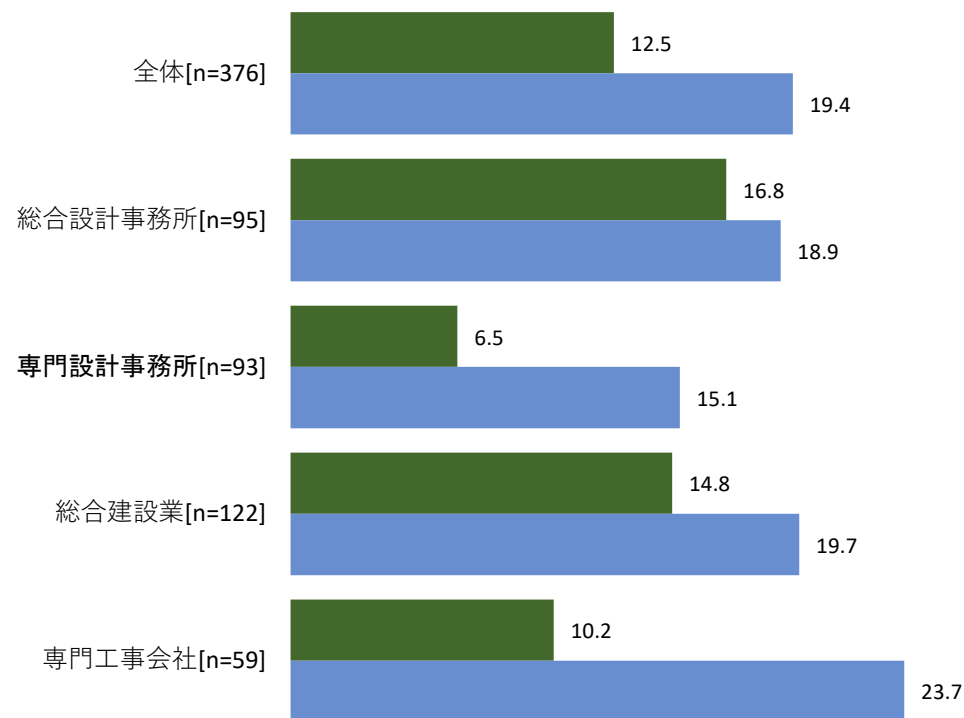
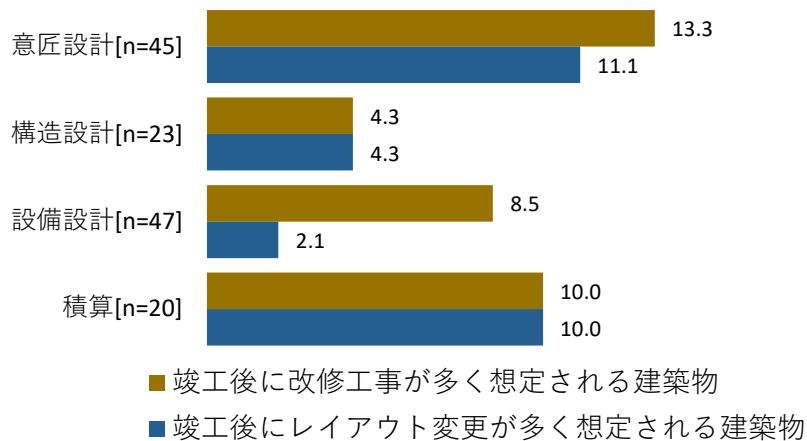
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

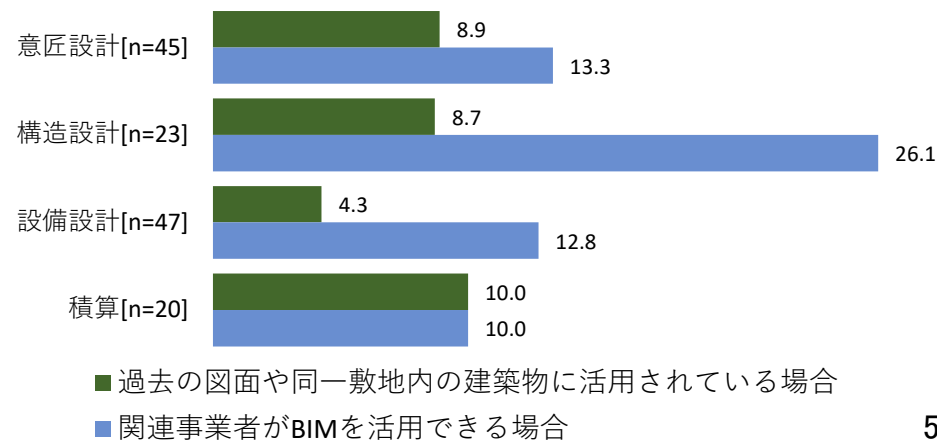
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



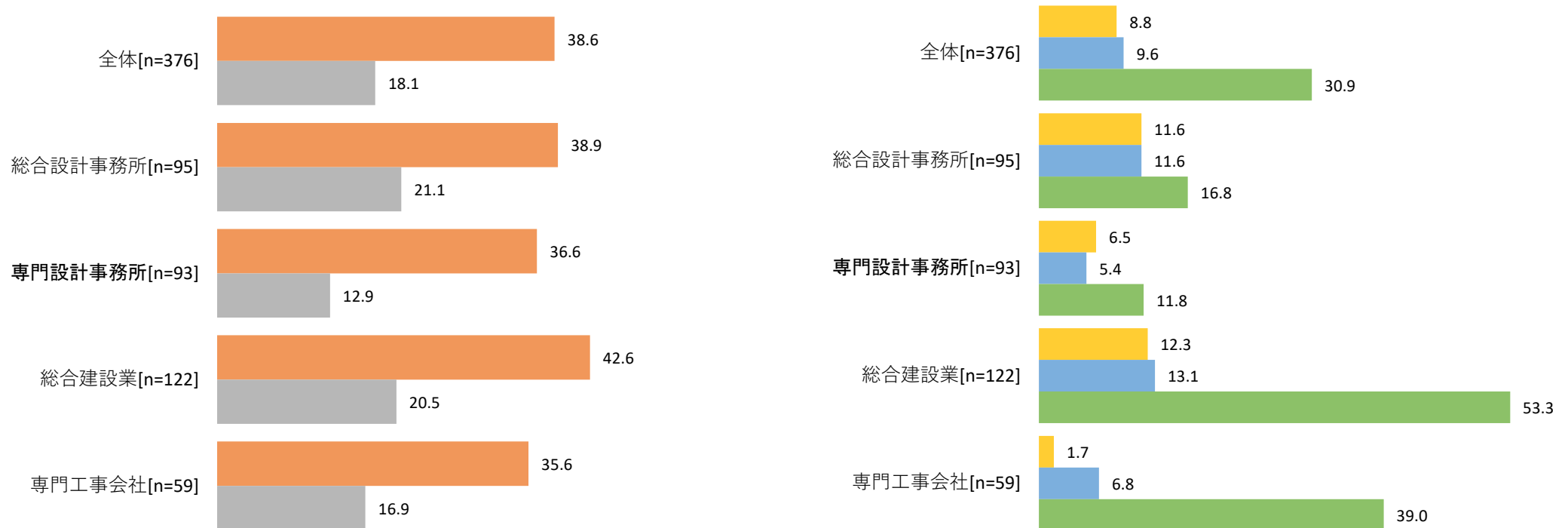
<専門設計事務所の主な内訳>



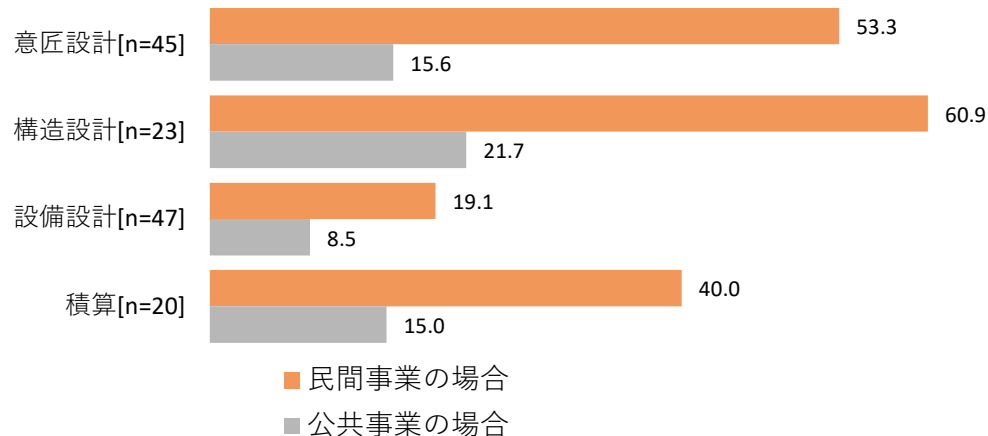
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

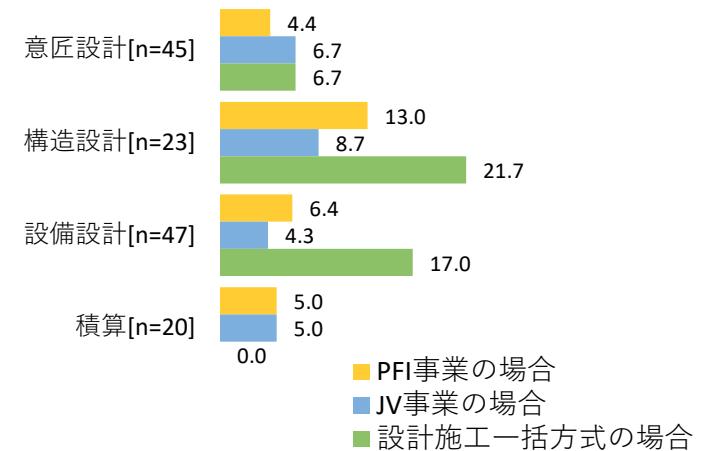
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>

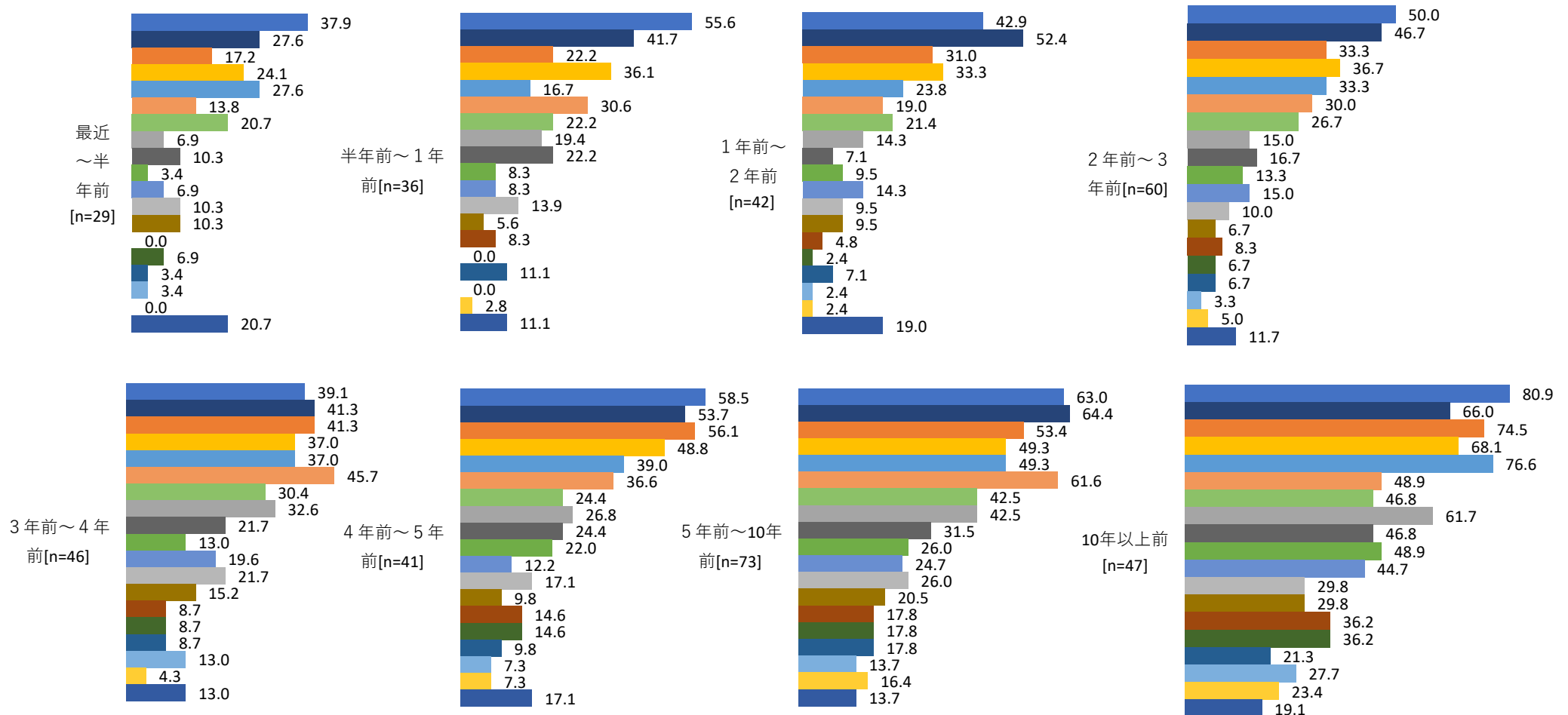


集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴

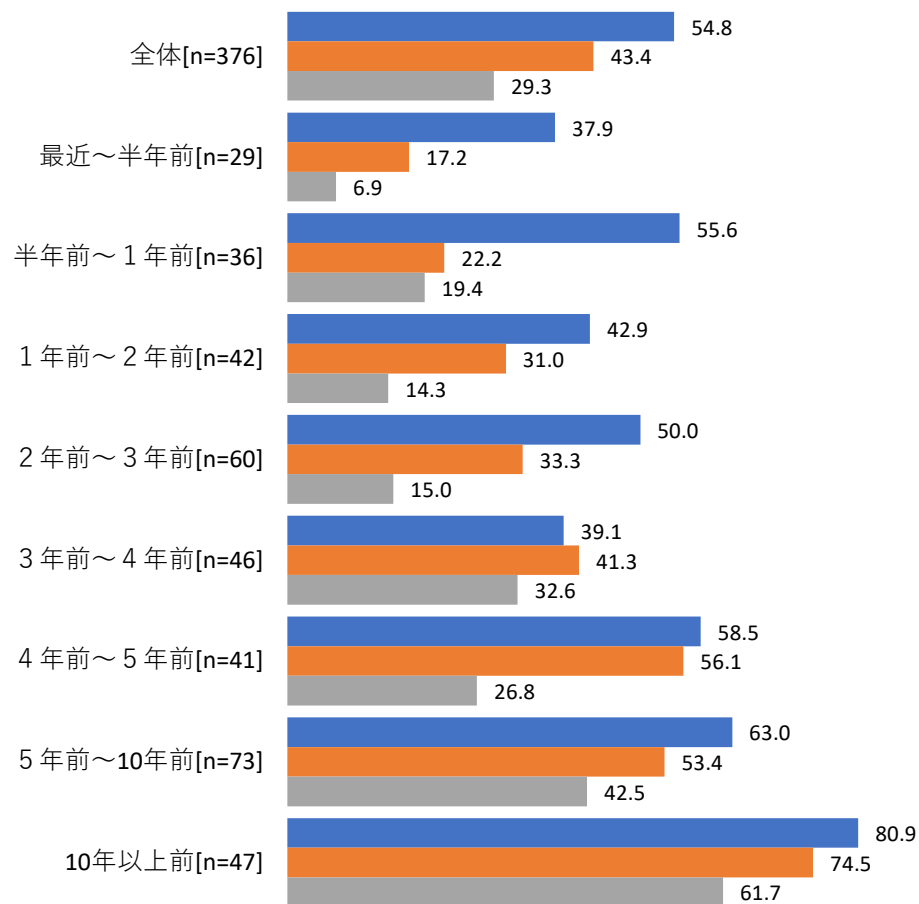


- 比較的に簡単な形状の建築物
- スケジュールに余裕がある建築物
- 比較的に複雑な形状の建築物
- 比較的に規模が小さい建築物
- 比較的に規模が大きい建築物
- 民間事業の場合
- 設計施工一括方式の場合
- 比較的に繰り返しの操作・作業が多い建築物
- 発注者が竣工後も自己保有・維持管理する建築物
- 自社・関連会社の建築物
- 関連事業者がBIMを活用できる場合
- 公共事業の場合
- 竣工後に改修工事が多く想定される建築物
- スケジュールに余裕がない建築物
- 過去の図面や同一敷地内の建築物に活用されている場合
- 竣工後にレイアウト変更が多く想定される建築物
- JV事業の場合
- PFI事業の場合
- その他

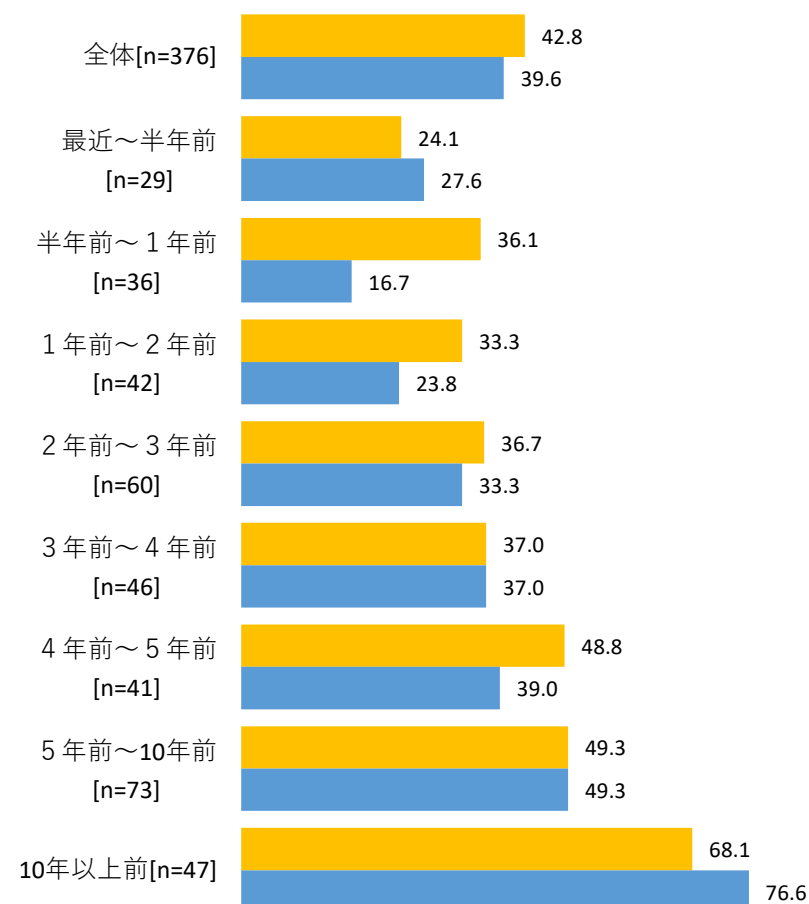
集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物
- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物

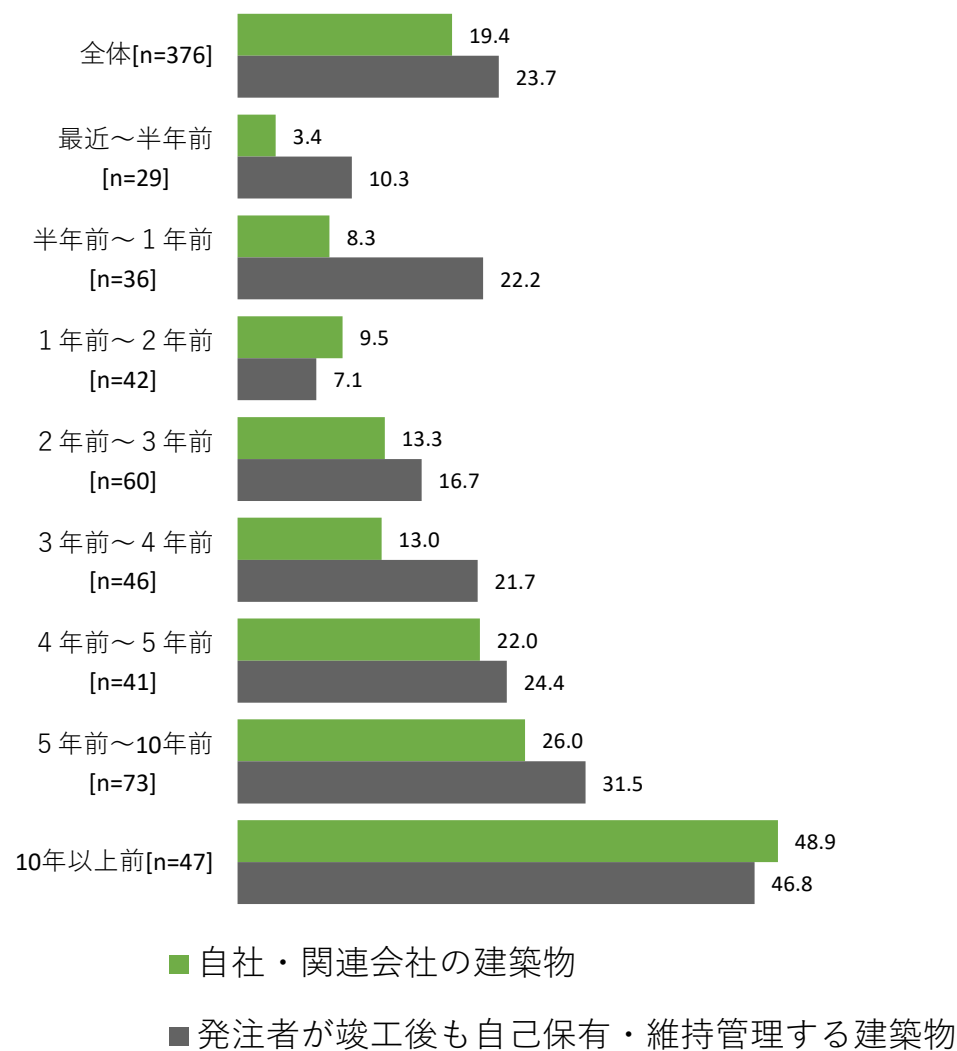
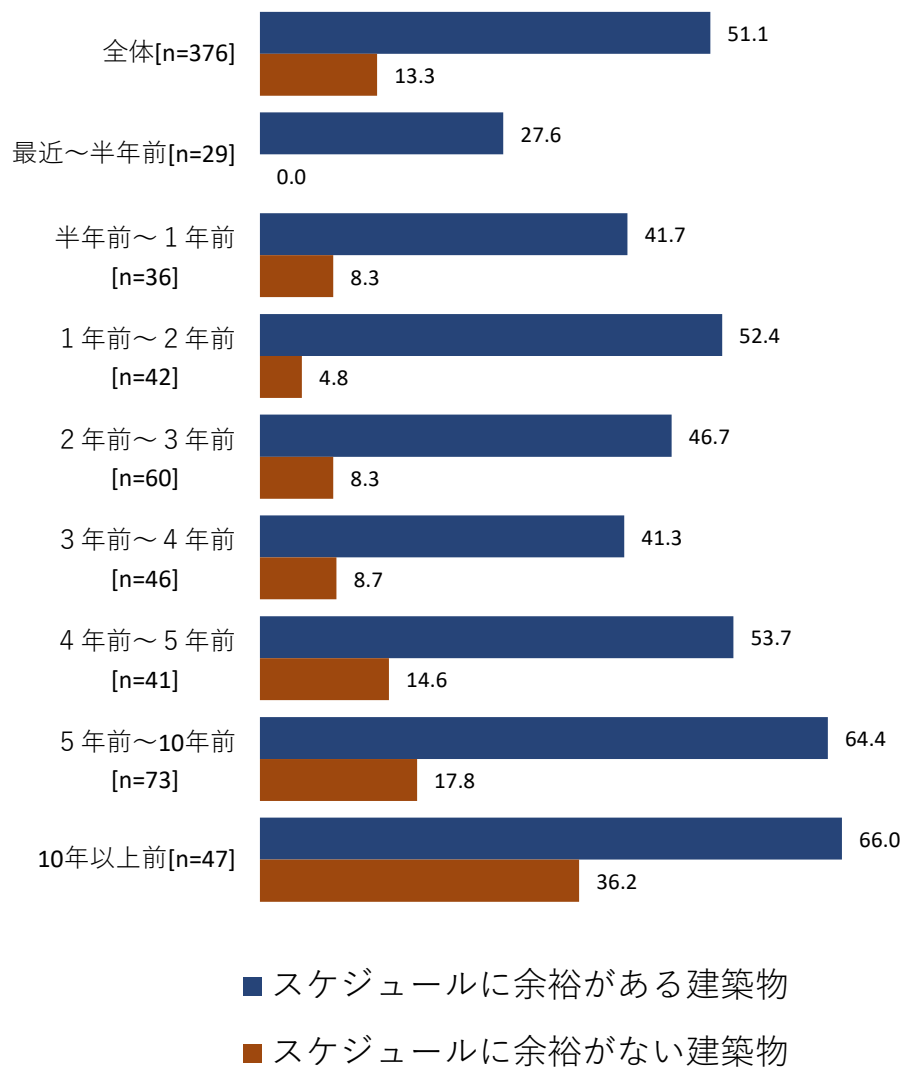


- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物
- 比較的小さい建築物
- 比較的大きな建築物

集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業 国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



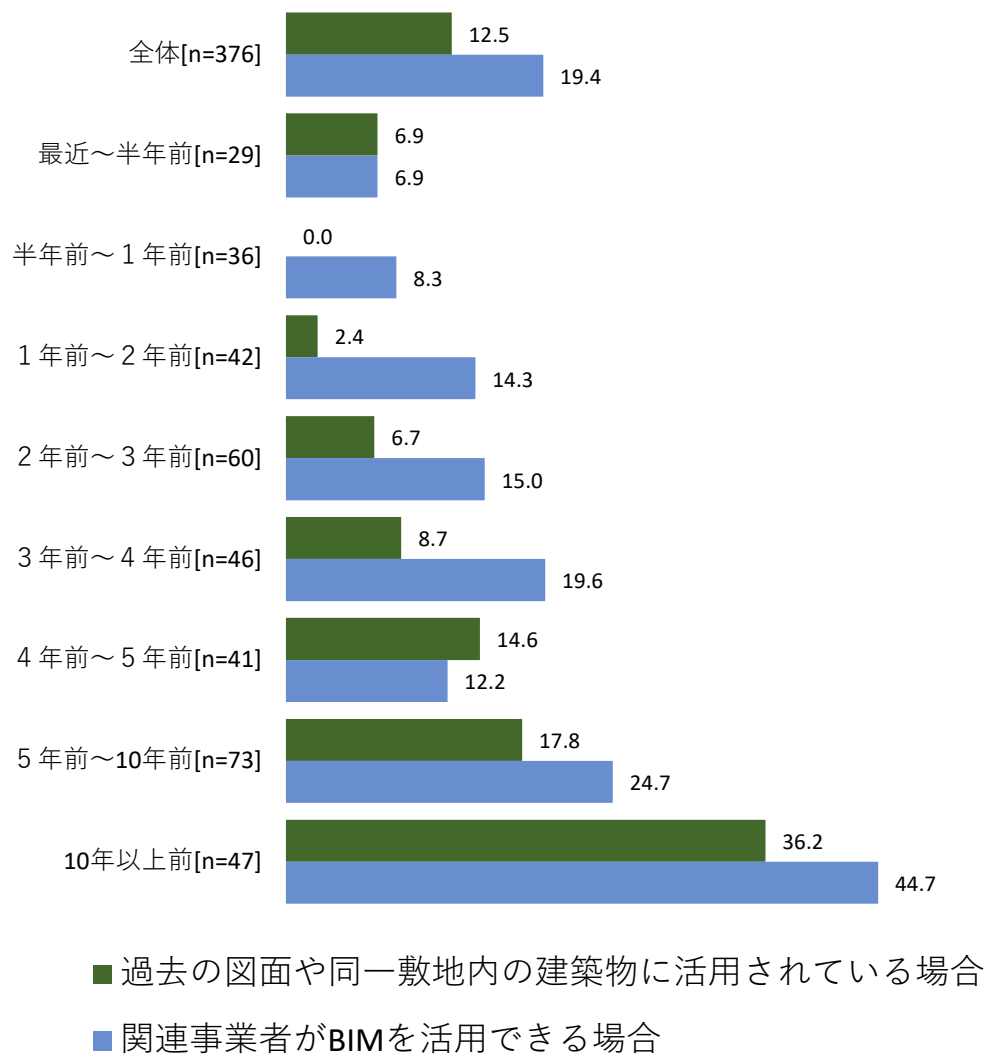
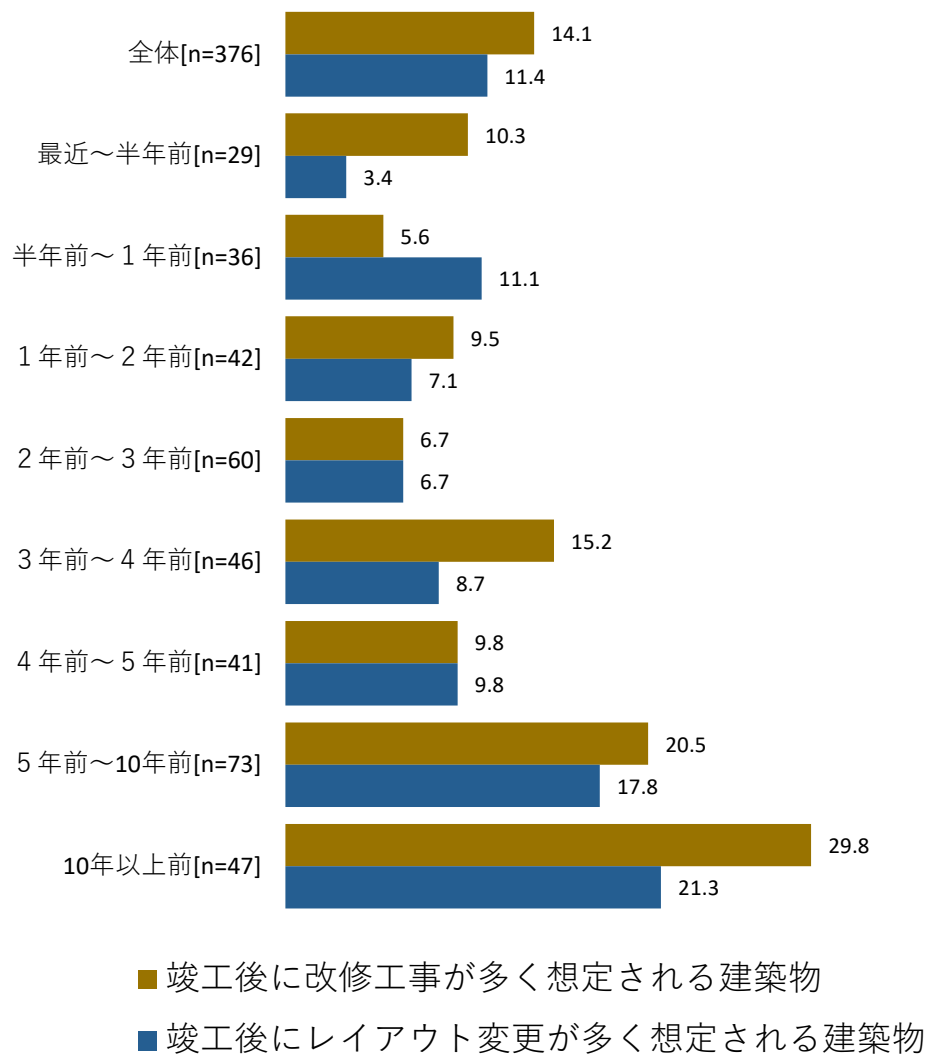
集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業



国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



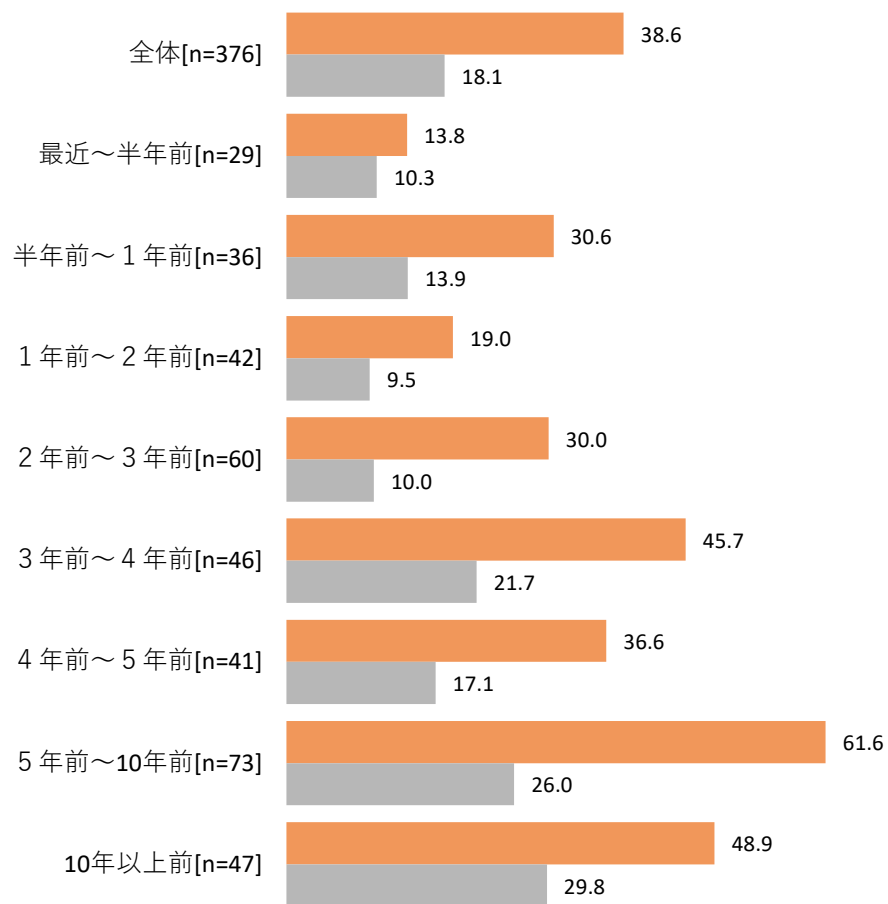
集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業



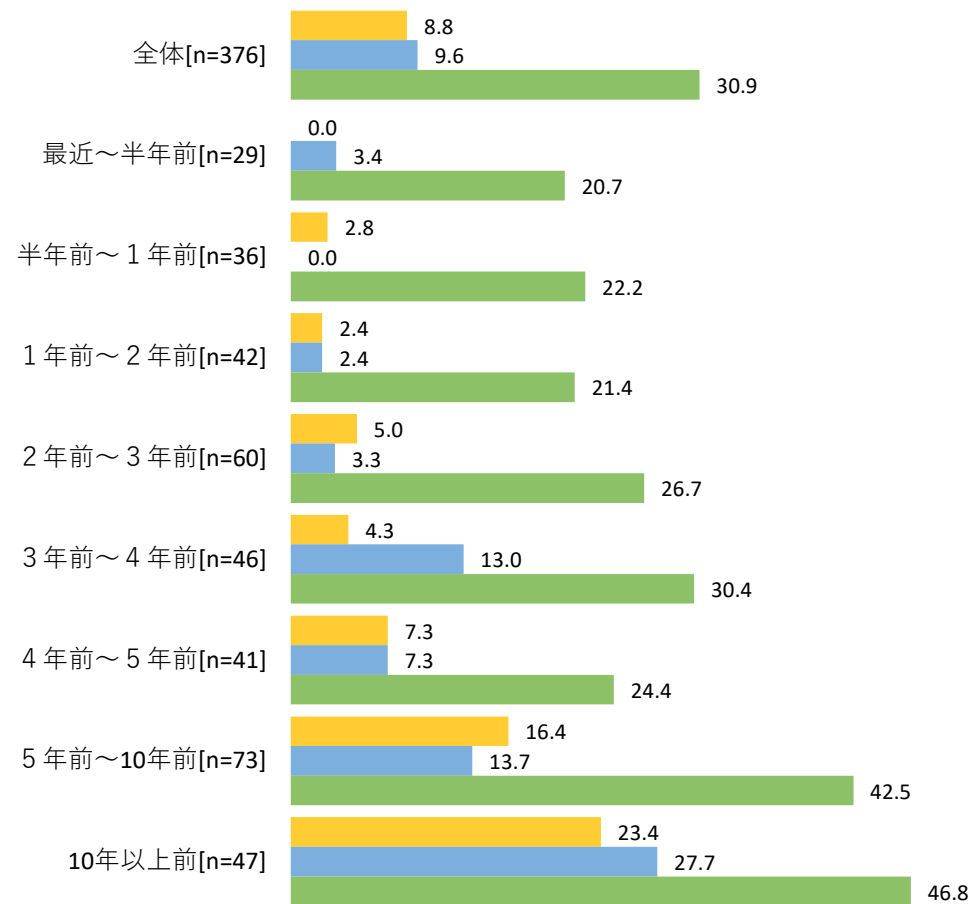
国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q12 所属部署で主にBIMを活用する建築物やプロジェクトの特徴



■ 民間事業の場合 ■ 公共事業の場合



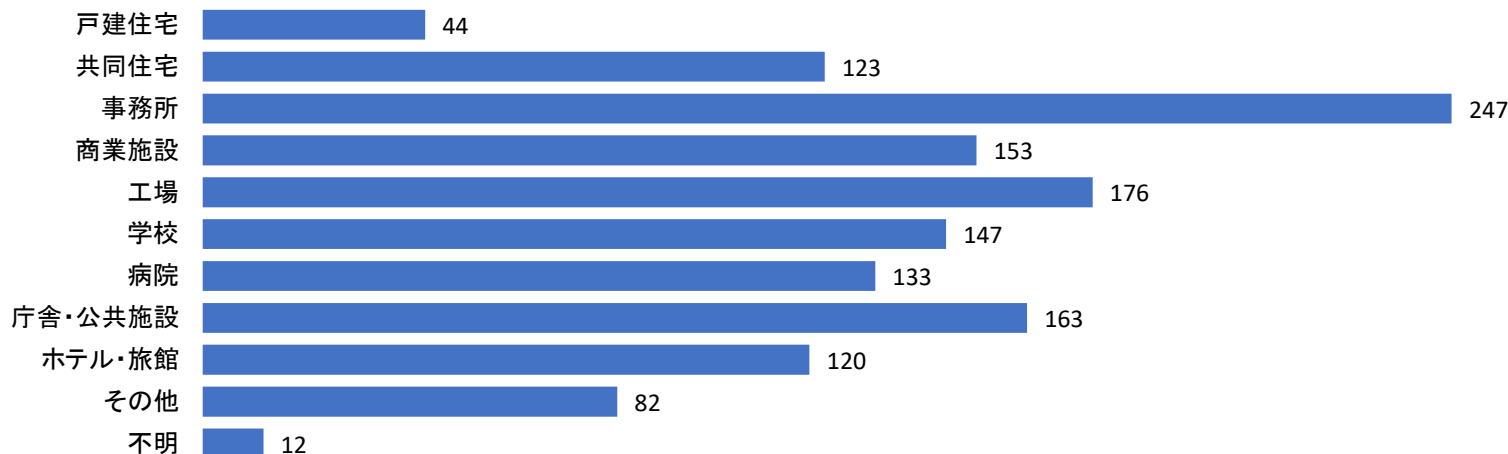
■ PFI事業の場合
■ JV事業の場合
■ 設計施工一括方式の場合

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途 (n=376/複数回答/件数)



・建築物の用途として、「事務所」が最も多く、次いで「工場」が多い。

※「その他」の回答例として、倉庫、物流施設、福祉施設、保育施設、スポーツ施設、情報通信施設、空港、バスターミナル、研究所、放送施設等が挙がっている。

※参考 建築着工統計調査(令和2年計)

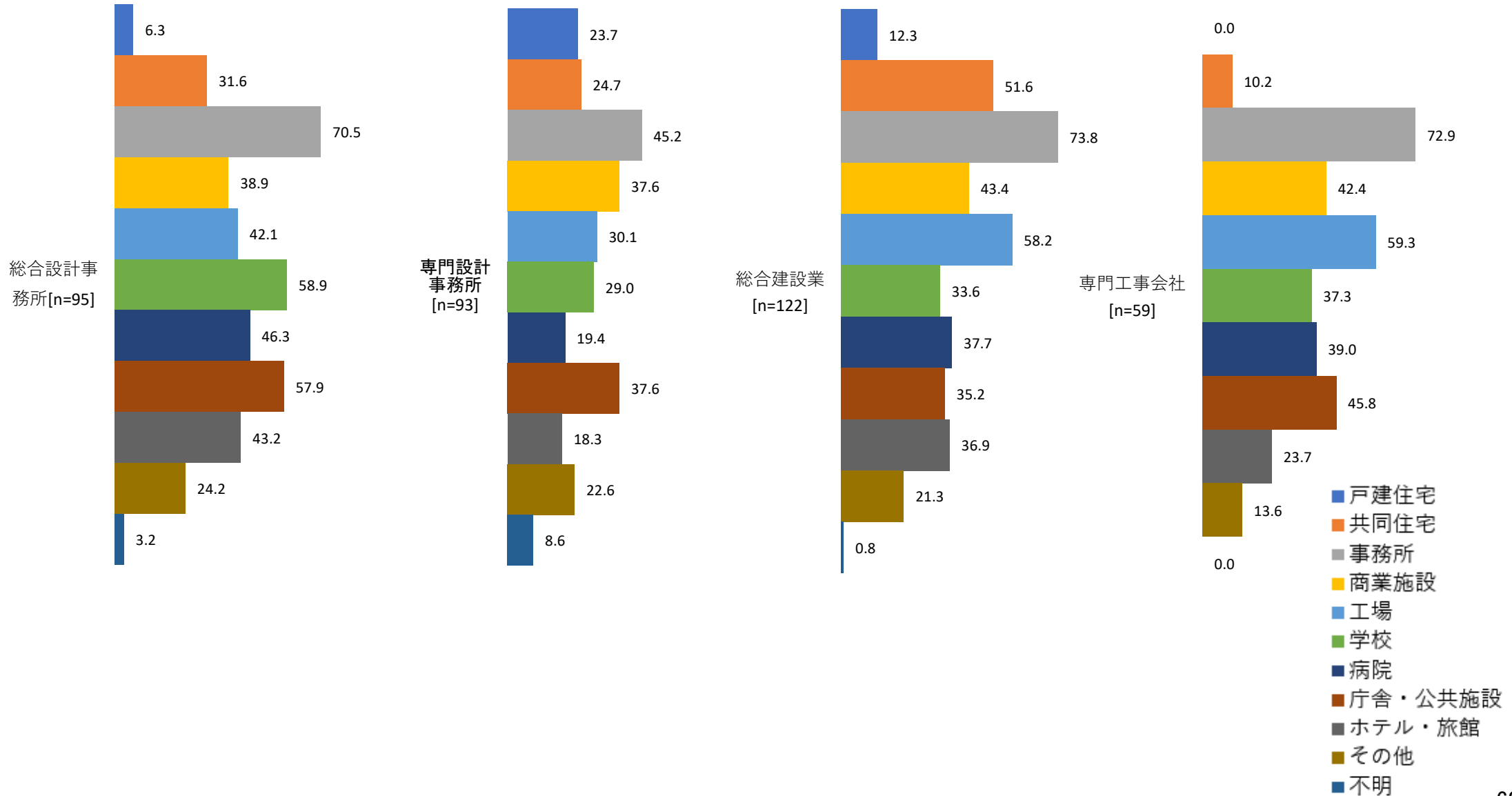
用途	棟数
住宅	458,596
事務所	10,876
店舗	5,076
工場及び作業場	6,341
学校の校舎	1,745
病院・診療所	1,719
公務用建築物	4,079
宿泊業用	1,631
倉庫	14,981

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

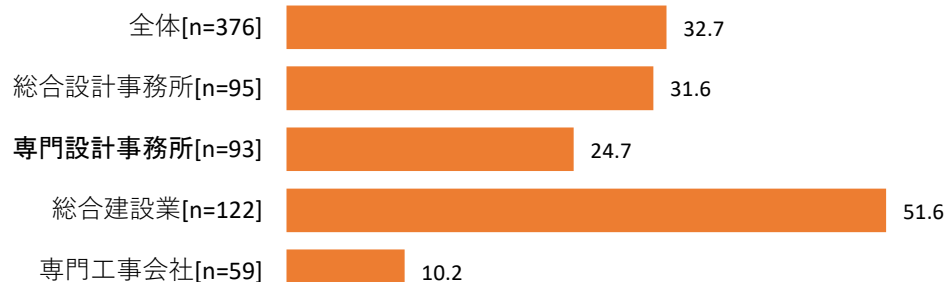
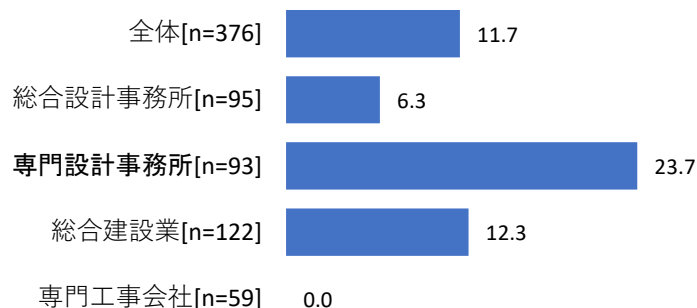
クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類)×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途(%)



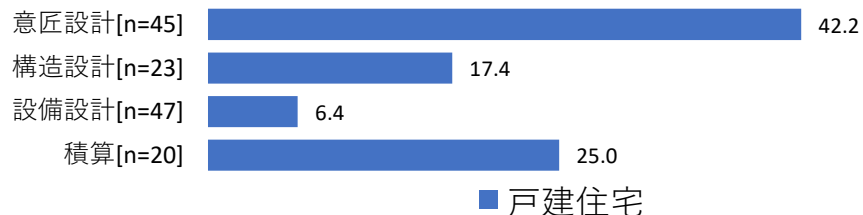
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

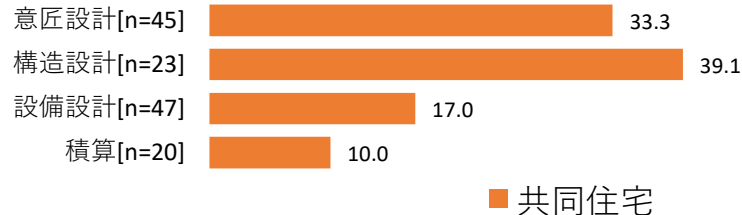
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）



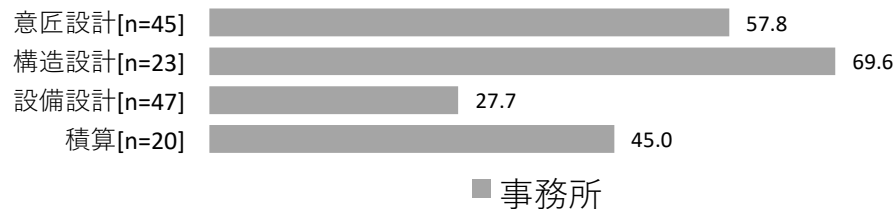
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

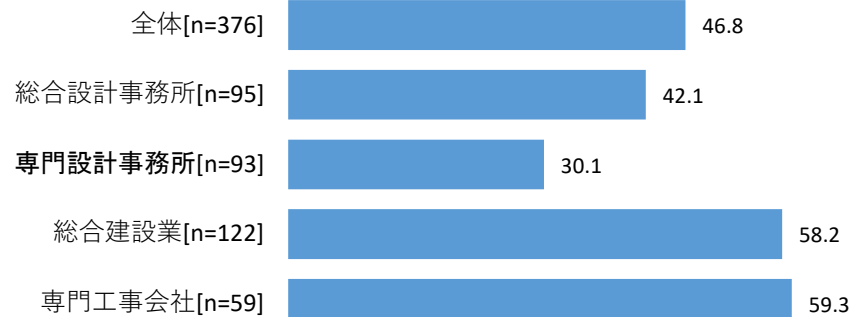
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）



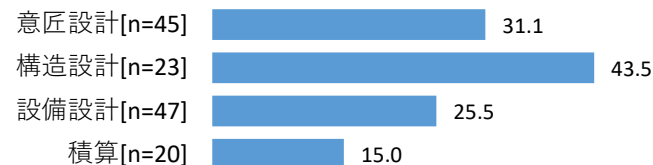
<専門設計事務所の主な内訳>



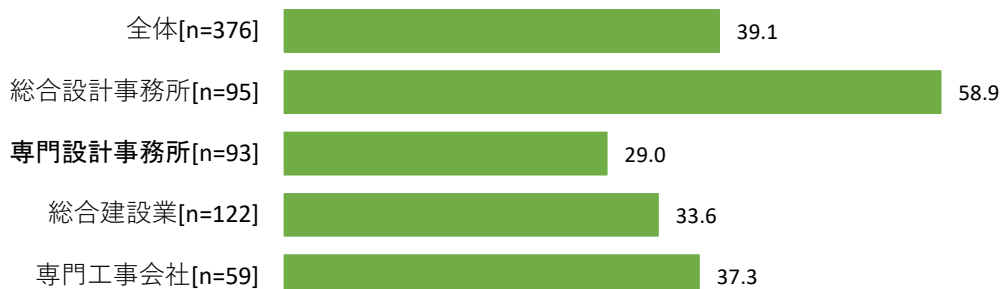
■ 商業施設



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 工場



<専門設計事務所の主な内訳>

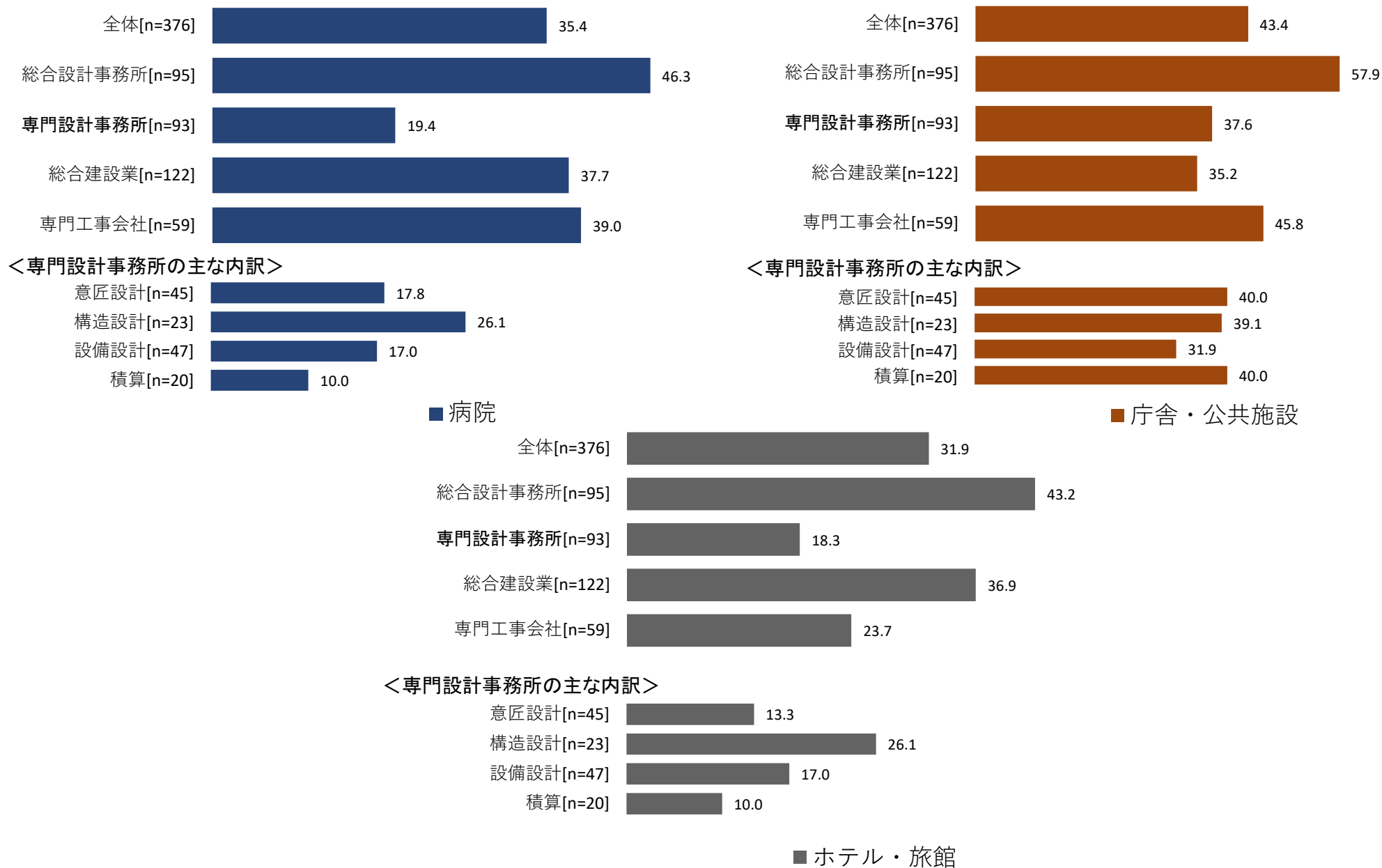


■ 学校

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q13 所属部署で主にBIMを活用する建築物の用途（%）

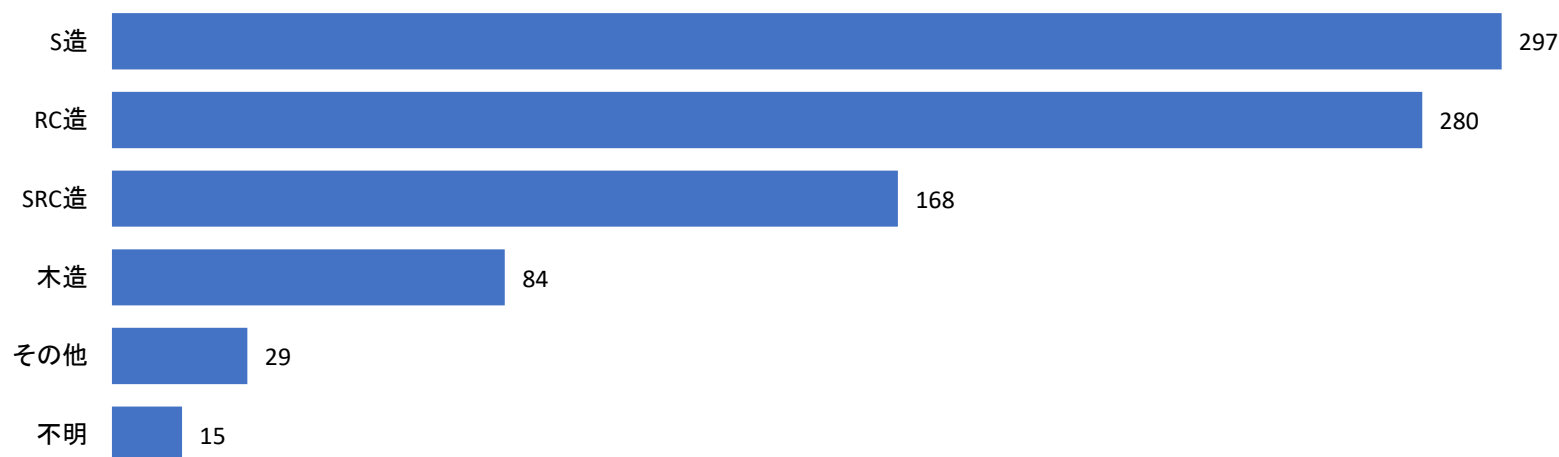


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別 (n=376/複数回答/件数)



・構造種別として、「S造」(79%)、「RC造」(75%)が多いが、「木造」が少ない(22%)

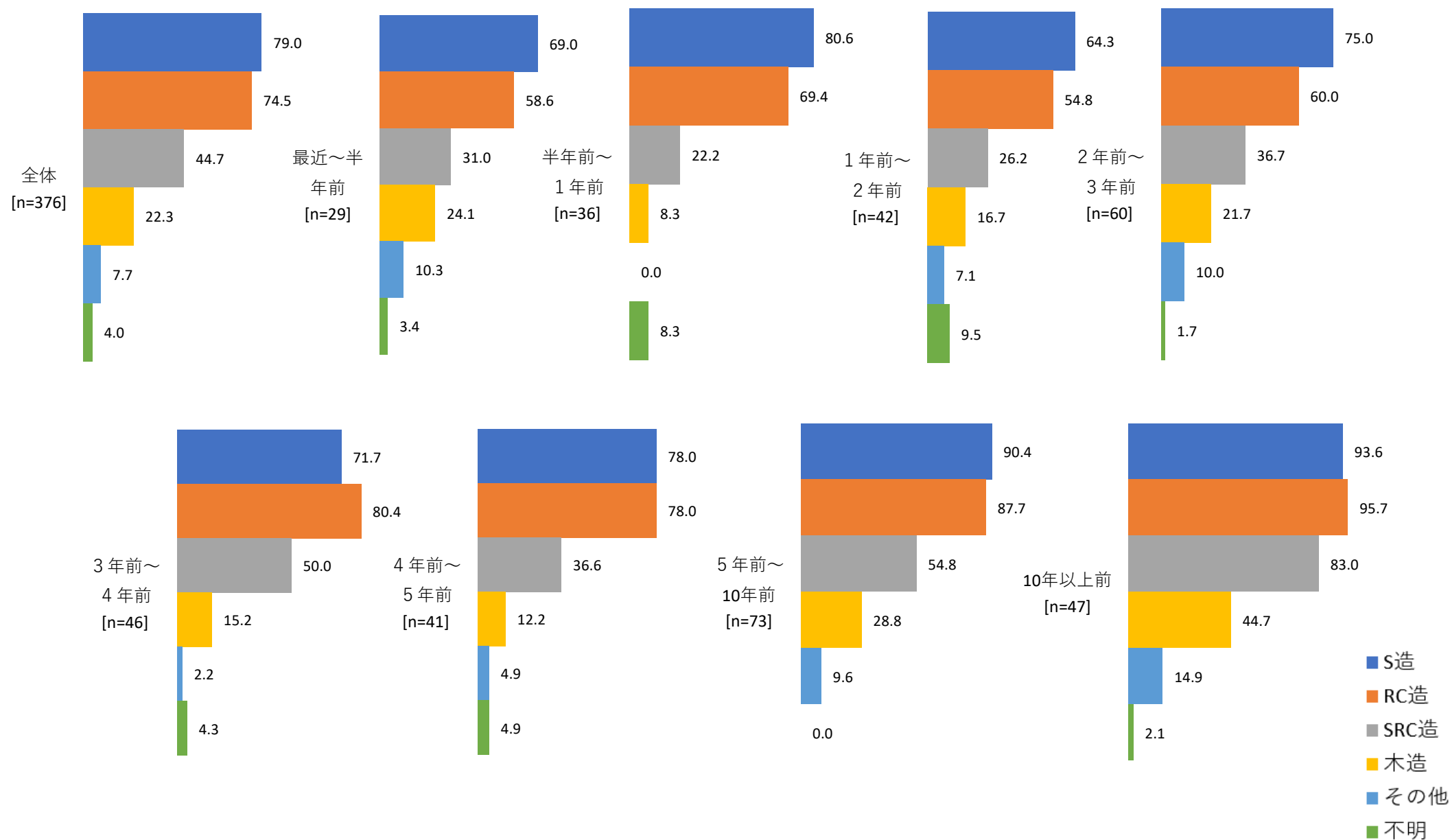
※「その他」の回答例として、混構造が多い。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8所属部署でBIMを導入した時期×Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別(%)

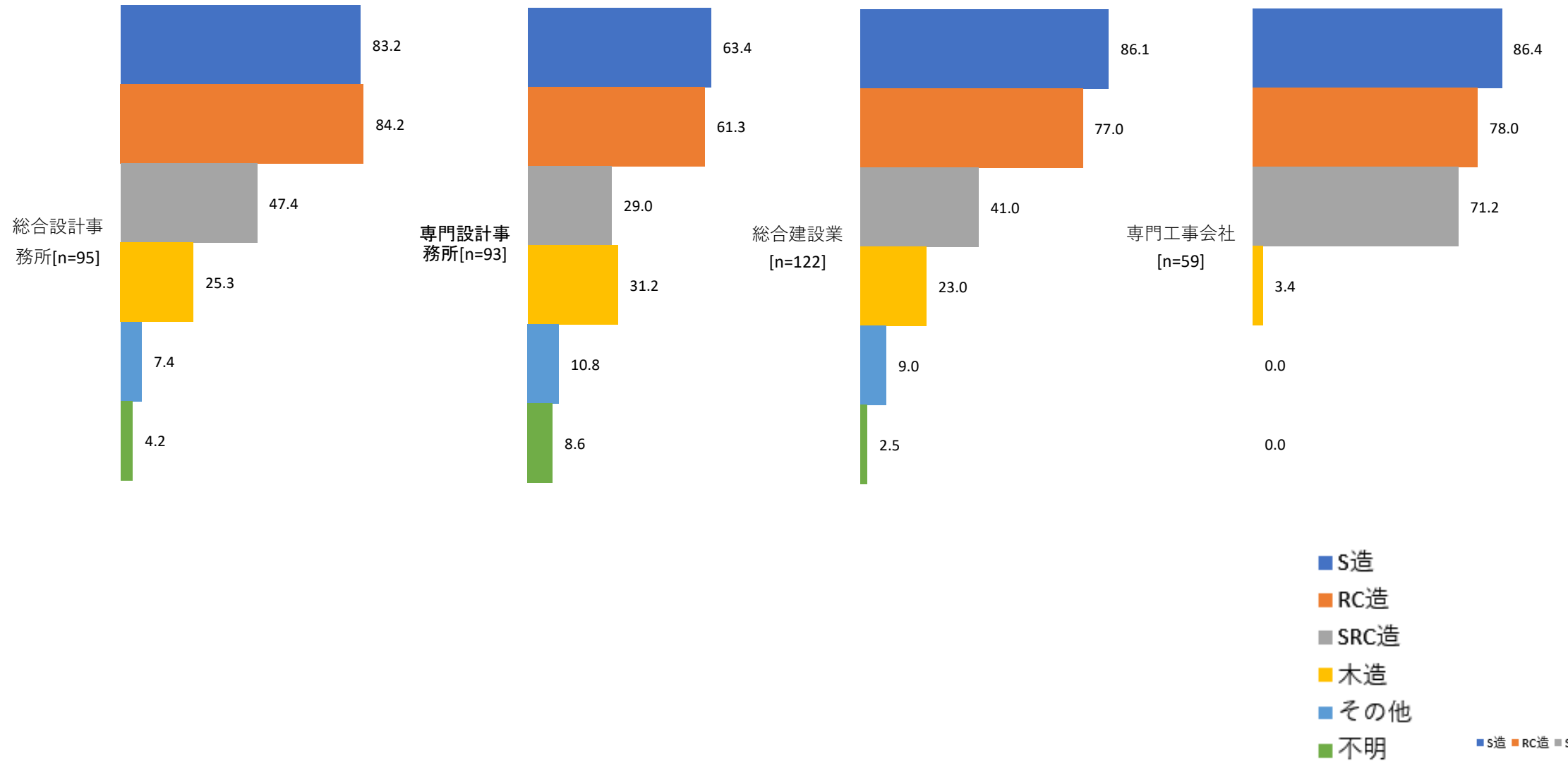


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性(大分類)×Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別(%)



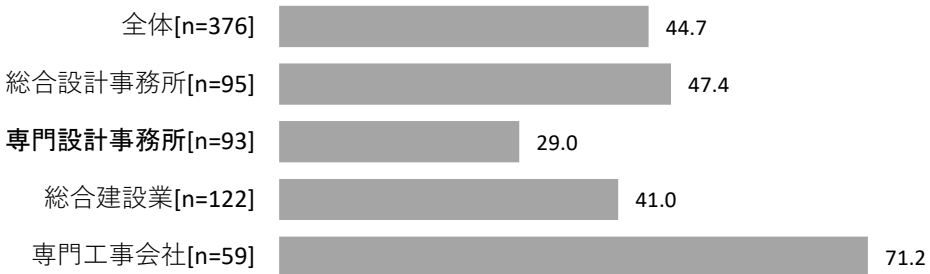
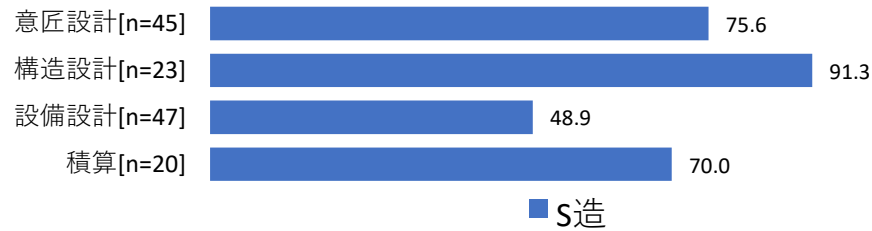
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

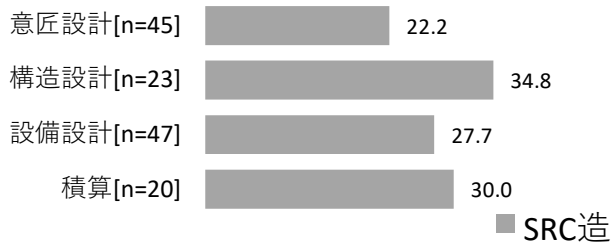
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q14 所属部署で主にBIMを活用する建築物の構造種別（%）



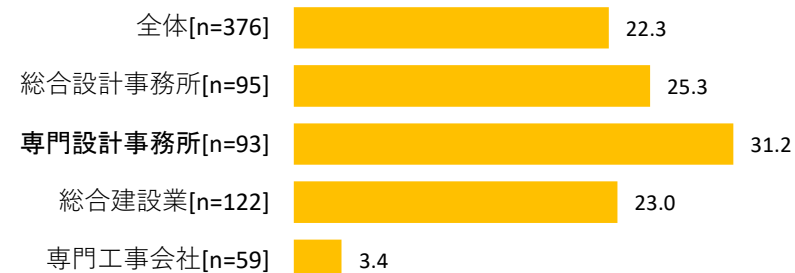
<専門設計事務所の主な内訳>



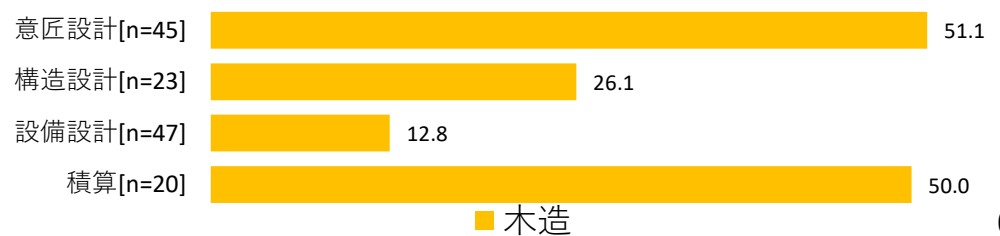
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



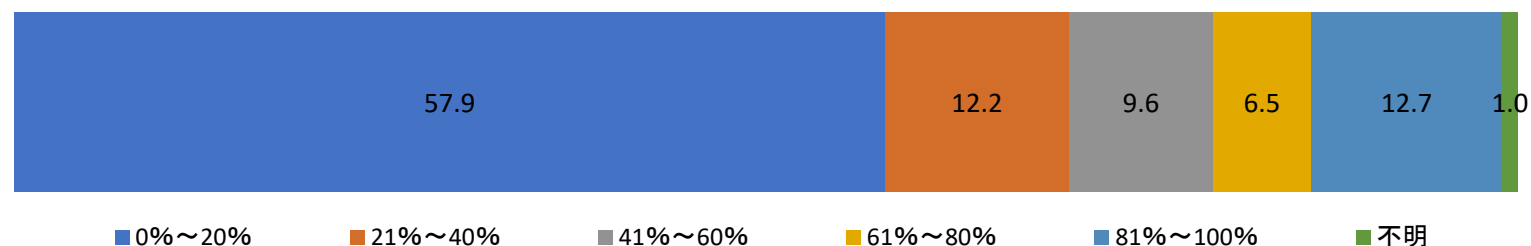
<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合 (n=385/単一回答/%)

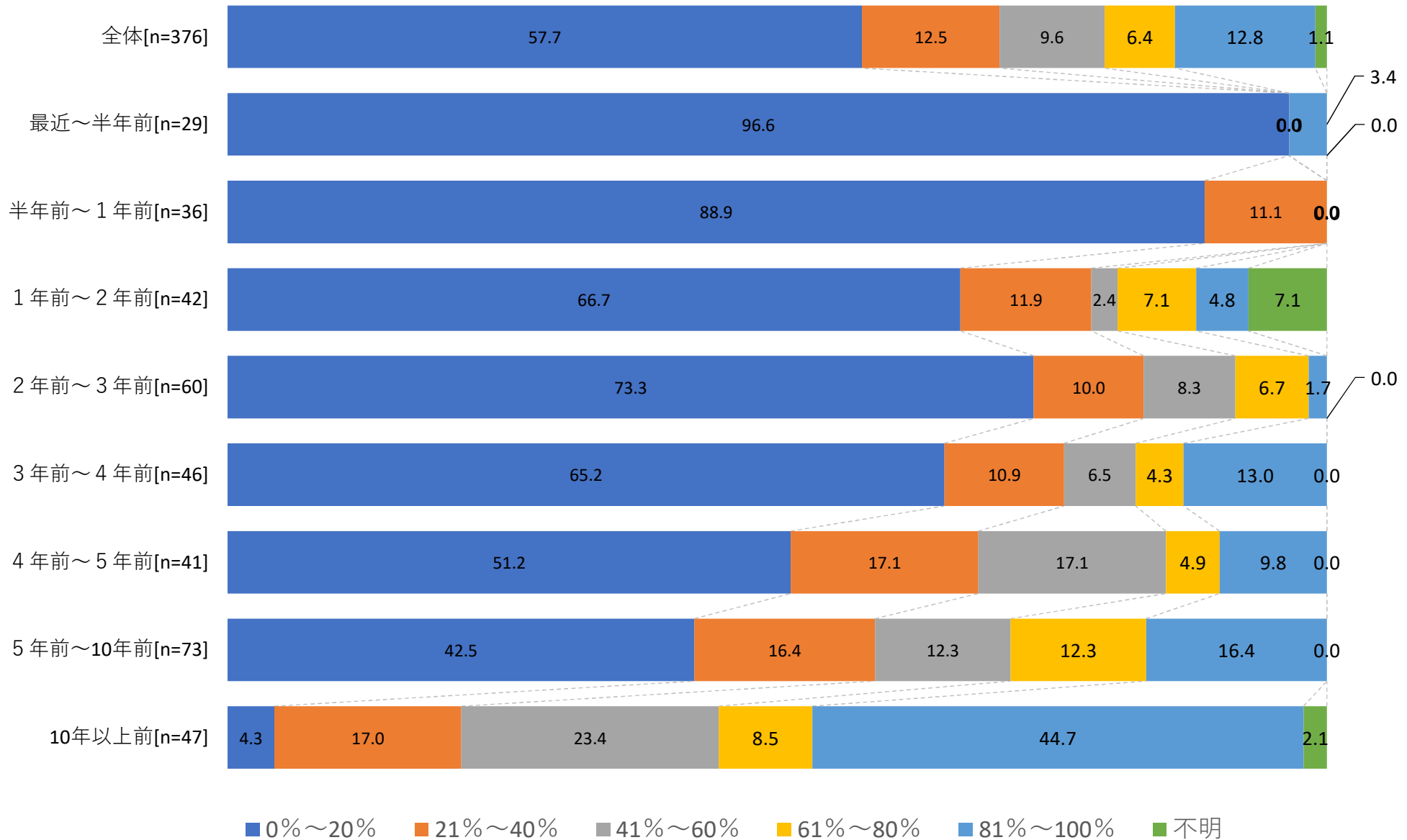


・所属部署での過去1年のBIM活用案件として、「40%以下」が約7割

集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

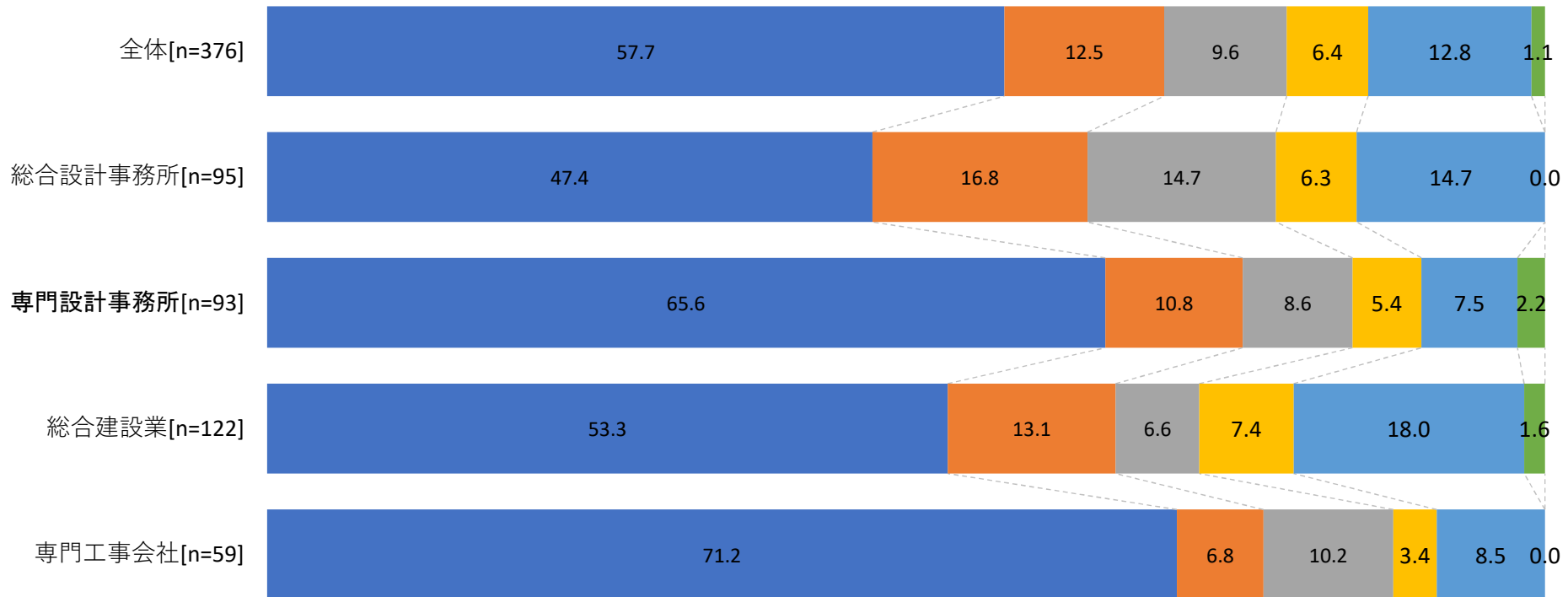
クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合



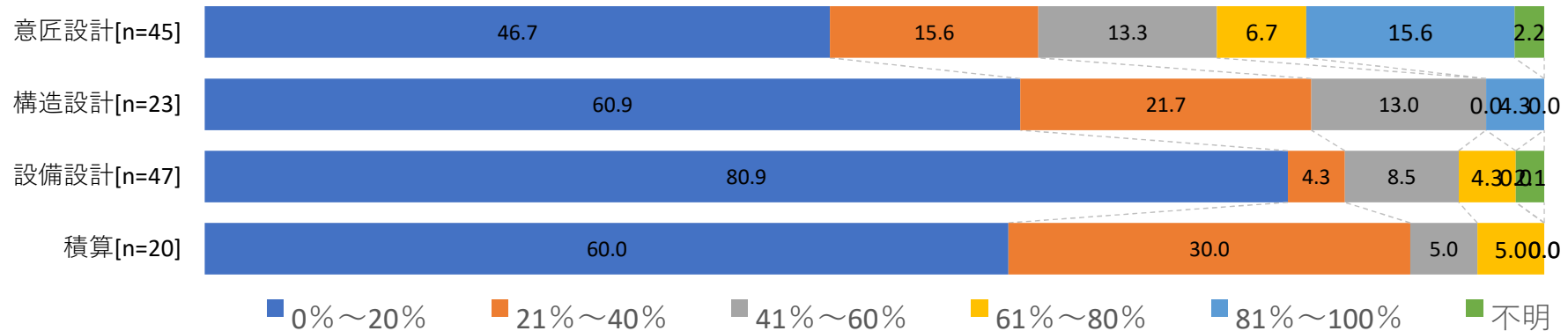
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q15 所属部署で過去1年に受託した案件のうち、BIMを活用している案件の割合（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

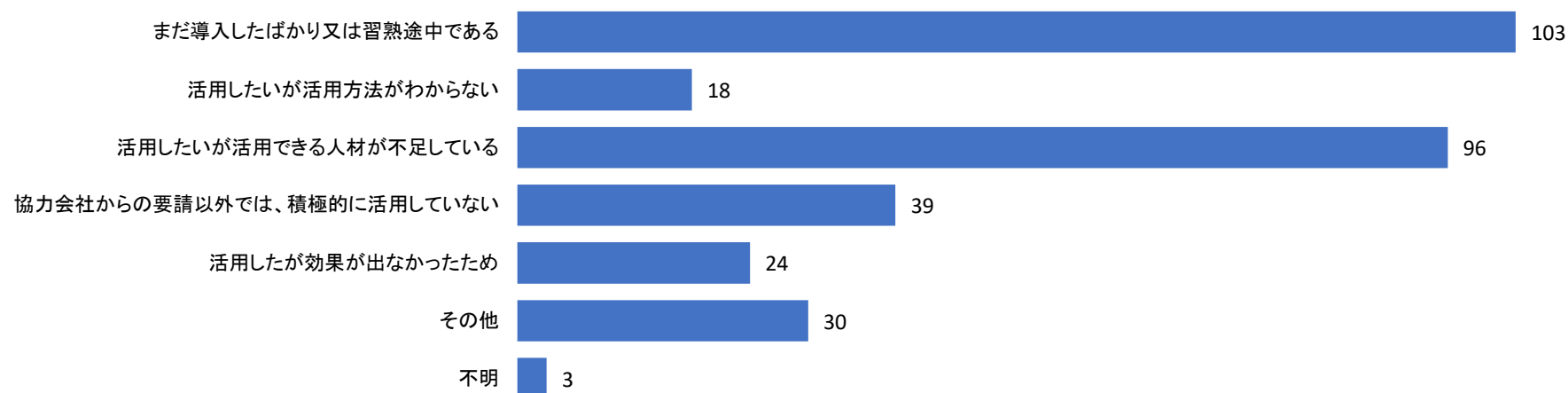
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q16 所属部署でのBIMの活用状況 (n=376/単一回答/%)



・B所属部署でのBIMの活用状況として、「積極的に活用している」方が多い

Q17 Q16で「②積極的には活用していない」を選択した理由 (n=176/複数回答/件数)



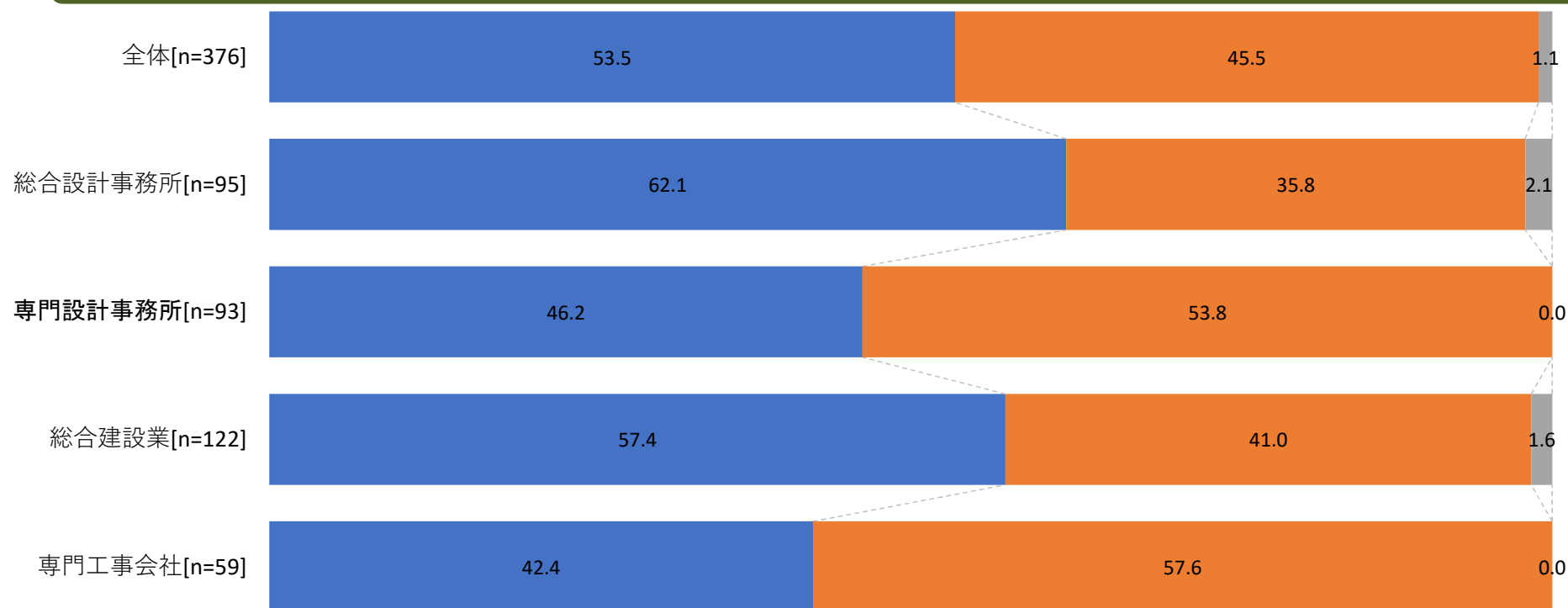
・「②積極的には活用していない」を選択した理由として、「まだ導入したばかり又は習熟途中である」や「活用したいが活用できる人材が不足している」という回答が多い

※「その他」の回答例として、作業時間や人材の不足・負担、発注者から求められない、関係事業者が導入していない、自部署で周囲が活用できていない等が挙がっている。

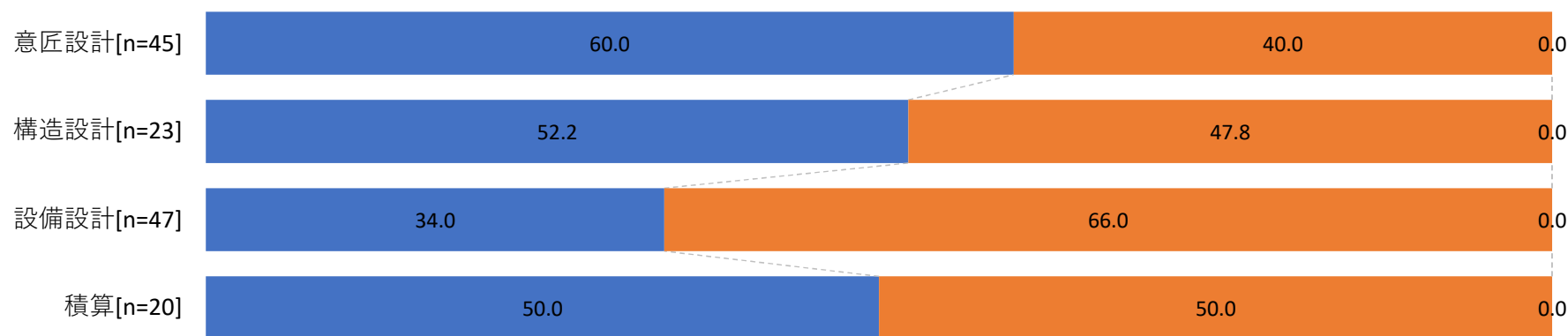
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q16 所属部署でのBIMの活用状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 積極的に活用している

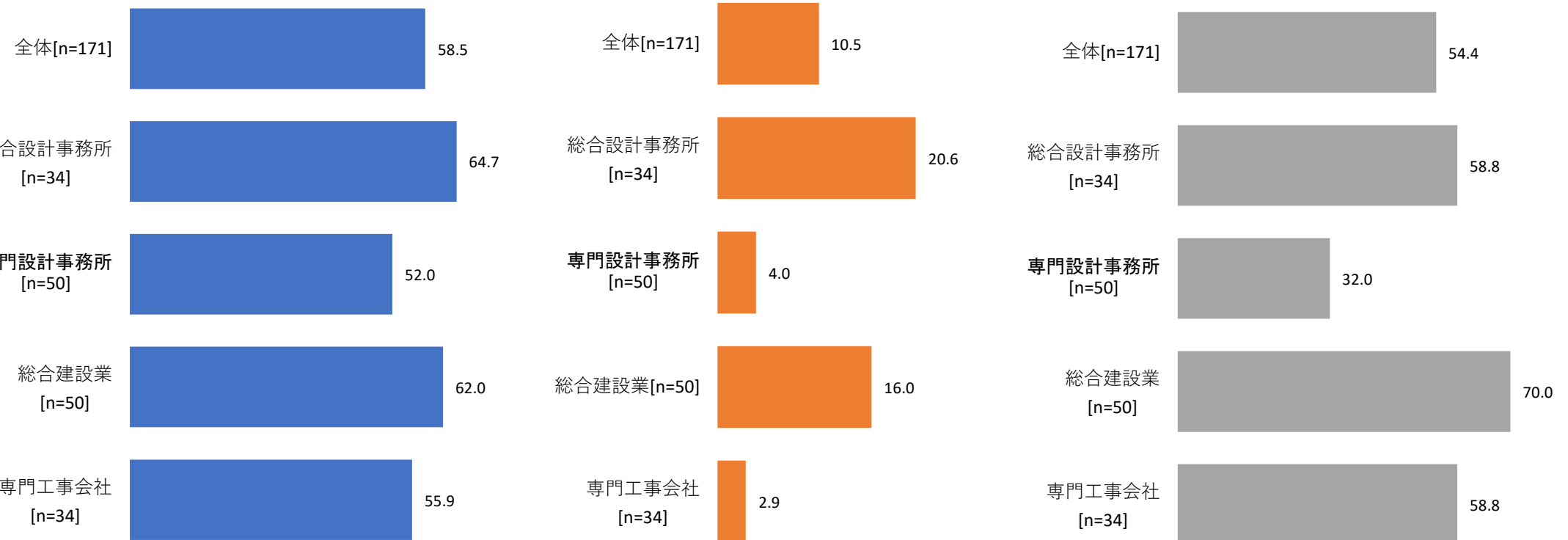
■ 積極的には活用していない

■ 不明

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

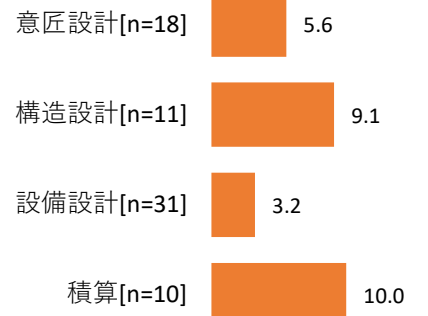
クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q17 Q16で「②積極的に活用していない」を選択した理由（%）



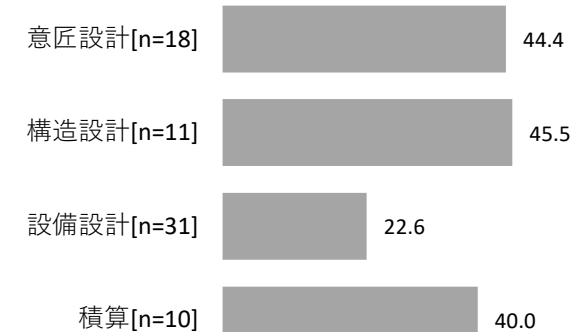
<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



<専門設計事務所の主な内訳>



■ まだ導入したばかり又は習熟途中である

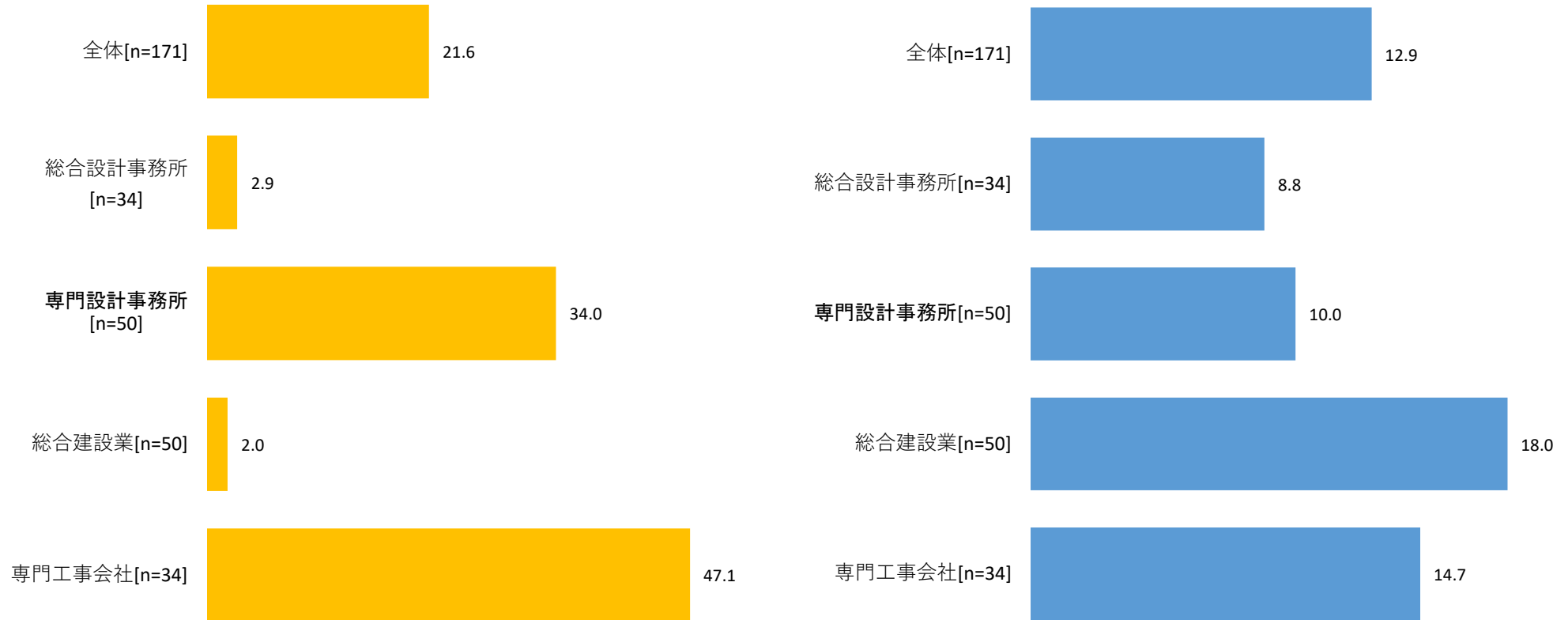
■ 活用したいが活用方法がわからない

■ 活用したいが活用できる人材が不足している 75

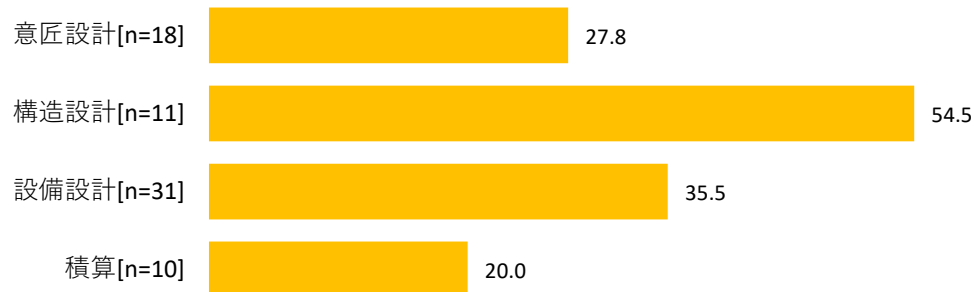
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q17 Q16で「②積極的に活用していない」を選択した理由（%）

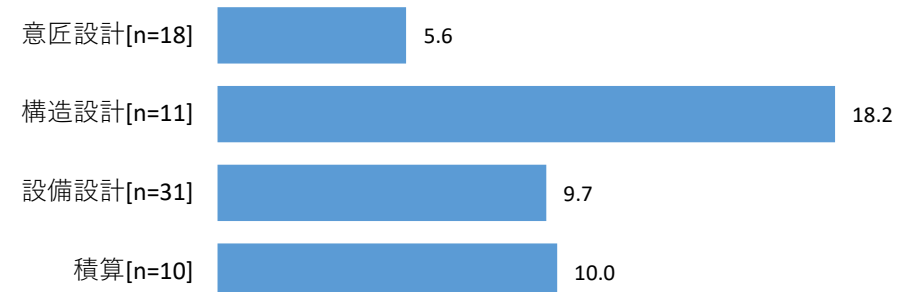


<専門設計事務所の主な内訳>



■ 協力会社からの要請以外では、積極的に活用していない

<専門設計事務所の主な内訳>



■ 活用したが効果が出なかったため

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

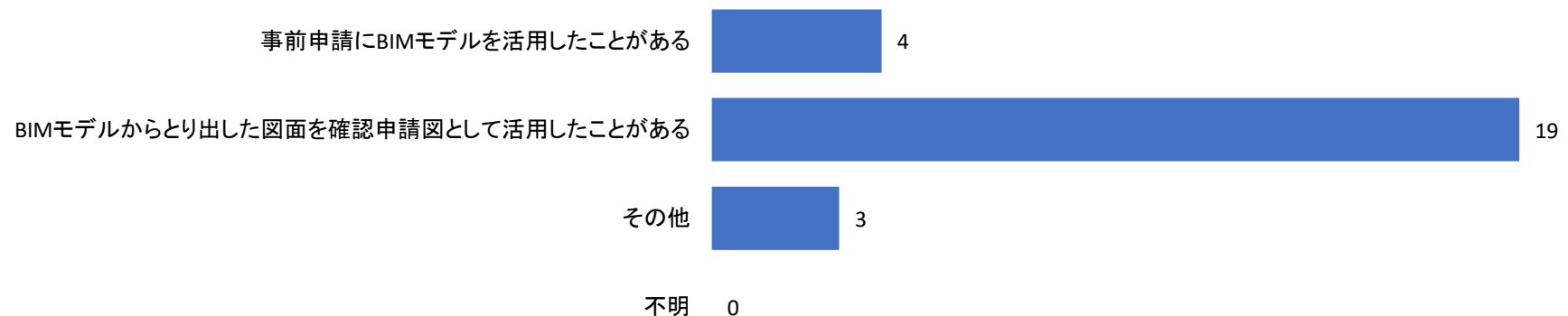
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q18 〔設計三会に所属する方のみ〕建築確認申請手続きにBIMを活用した経験はあるか (n=73/単一回答/%)



・建築確認申請手続きでのBIM活用は26%があると回答

Q19 Q18で「①ある」を選択した場合は、具体的な活用方法 (n=19/複数回答/件数)



・建築確認申請のBIMの具体的な活用方法として、そのすべてが「BIMモデルから取出し図面を確認申請図として活用」と回答

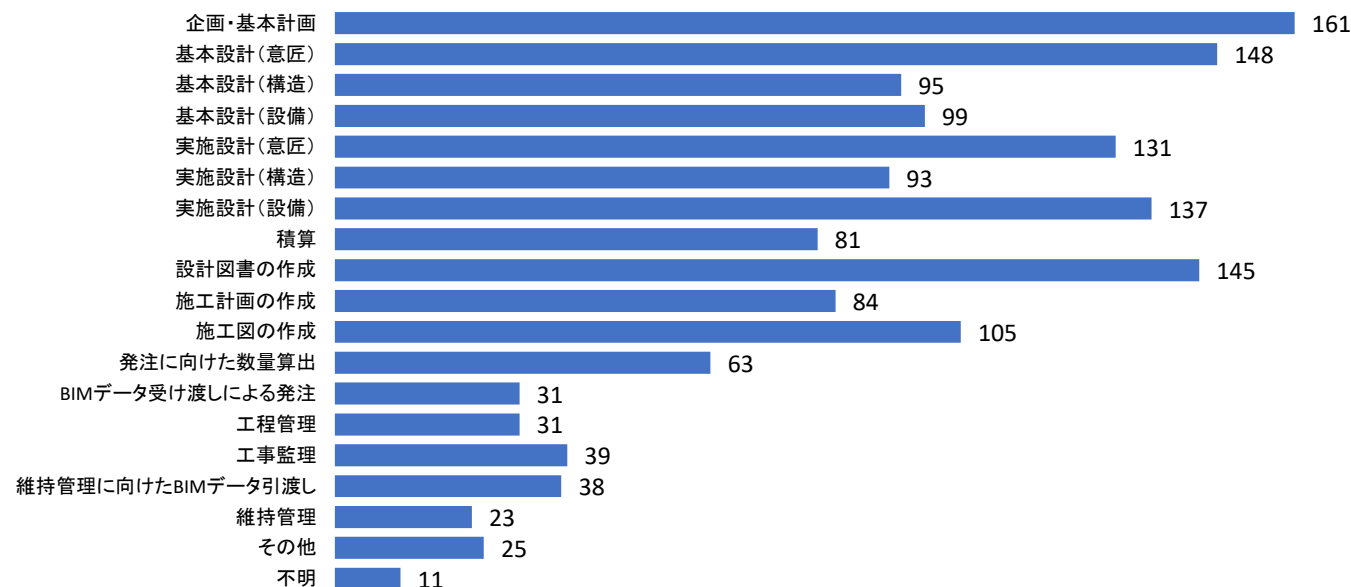
※「その他」の回答として、一部自動審査・ペーパーレス化の取り組み、本申請でのBIMモデル活用、採光排気換気の計算へのBIM活用が挙げられた。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q20 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等 (n=376/複数回答/件数)



・BIM活用のフェーズとして、「企画・基本計画」や「意匠設計」、「設備設計」が多い

※「その他」の回答例として、企画段階の顧客へのパースによる説明や近隣説明会、安全管理のフロントローディングへの活用等が挙げられている。

Q20 ② 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【②基本設計(意匠)】 (n=148/複数回答/件数)



・基本設計(意匠)では、「建築士による設計の活用」が多い

Q20 ③ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【③基本設計（構造）】 (n=95/複数回答/件数)



・基本設計（構造）でも、「建築士による設計の活用」が多い

Q20 ④ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【④基本設計（設備）】 (n=99/複数回答/件数)



・基本設計（設備）では、「建築士以外のものの設計補助の活用」が多い

Q20_⑤ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑤実施設計（意匠）】（n=131/複数回答/件数）



・実施設計（意匠）では、「建築士による設計の活用」が多い

Q20_⑥ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑥実施設計（構造）】（n=93/複数回答/件数）



・実施設計（構造）でも、「建築士による設計の活用」が多い

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

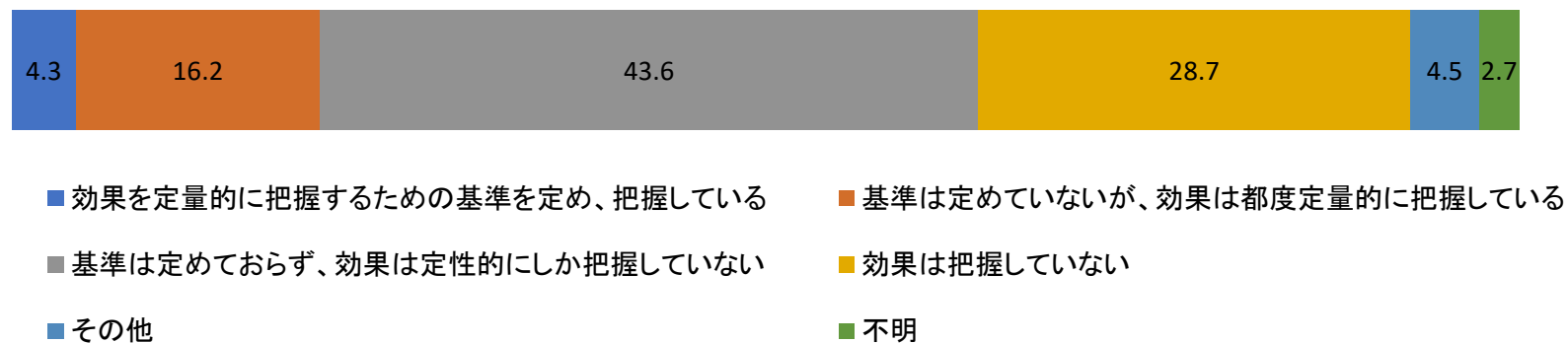
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q20 ⑦ 所属部署でBIMを活用しているフェーズ等【⑦実施設計(設備)】 (n=137/複数回答/件数)



・実施設計(設備)では、「建築士以外のものの設計補助の活用」が多い

Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。(n=376/単一回答/%)



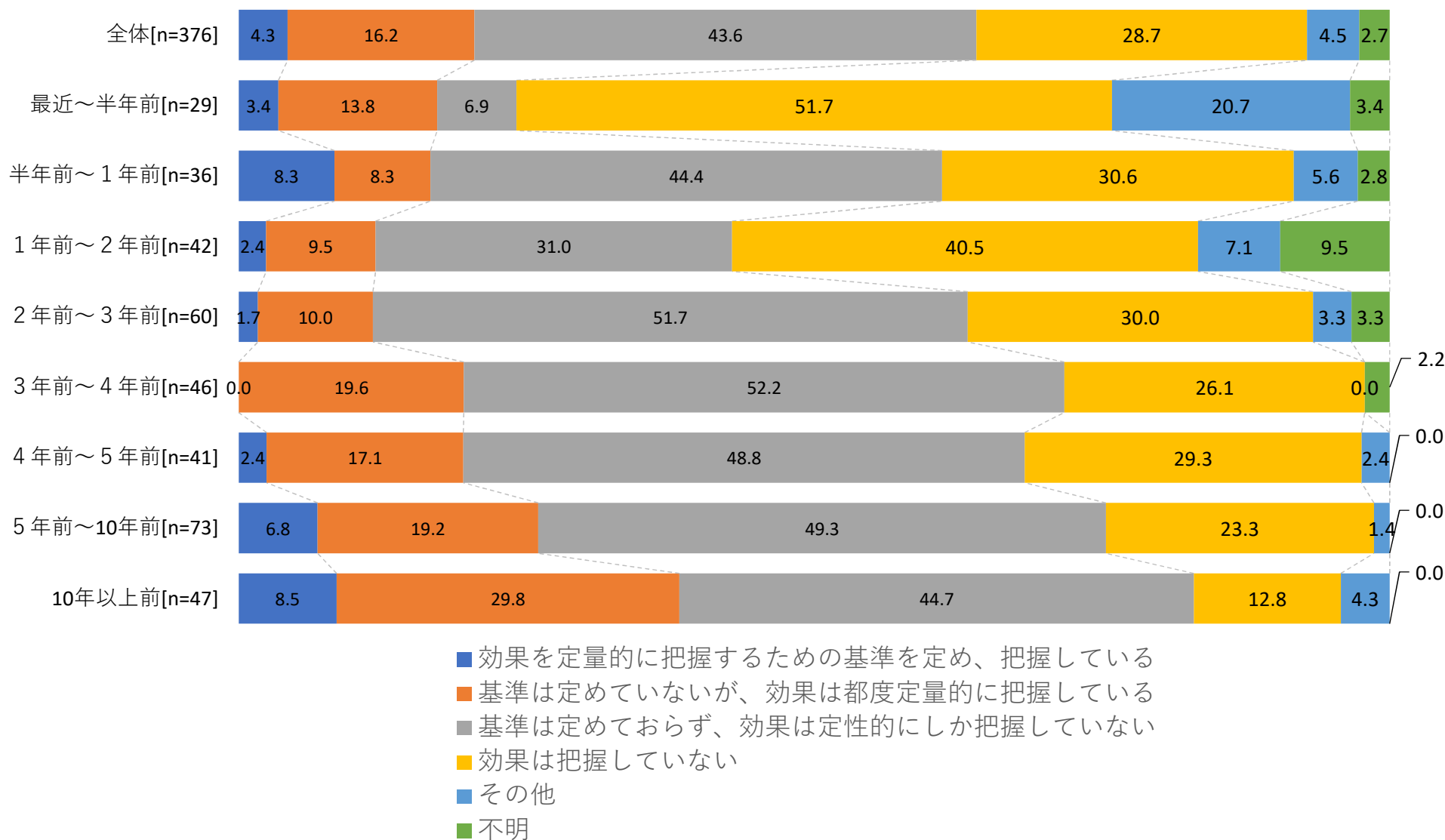
・活用効果の把握・基準として、効果を把握しているのは約20%

※「その他」の回答例として、まだ導入したばかりであるといった回答が多い。

集計結果(クロス集計・導入時期別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属部署でBIMを導入した時期×Q21 所属部署でBIMを活用した効果を定量的に把握しているか。また、定量的に把握するための基準をあらかじめ定めているか。

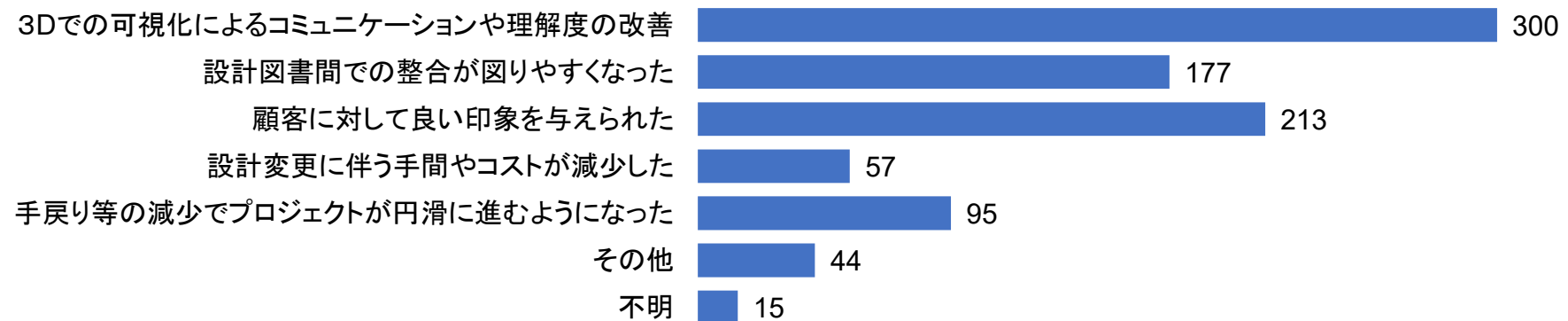


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

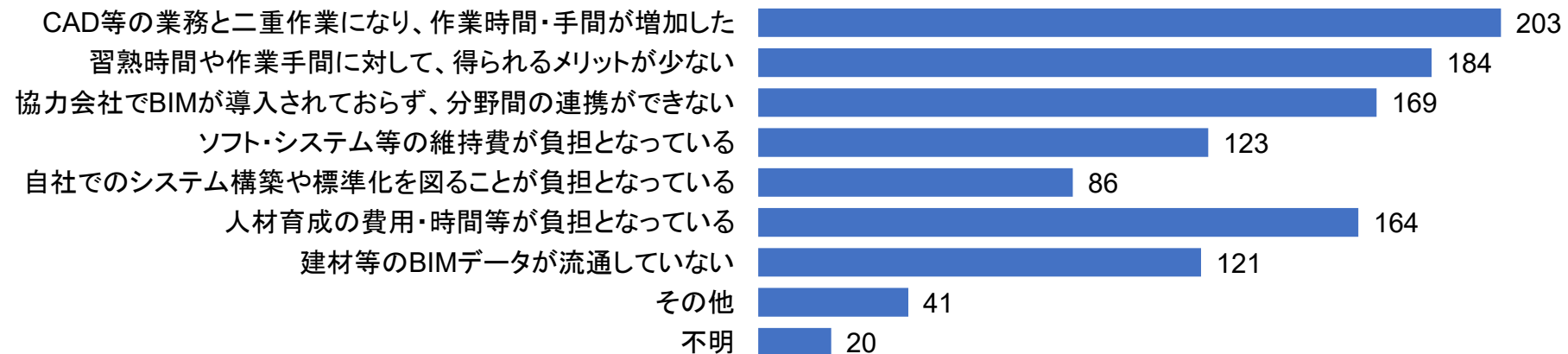
Q22 所属部署でBIMの導入によりメリット・効果が得られたと実感できる場面 (n=376/複数回答/件数)



・メリット・効果を得られる場面として、「3Dでの可視化によるコミュニケーションや理解度の改善」が最も多く(約8割)、次いで「顧客に対して良い印象を与えられた」が多い(57%)

※「その他」の回答例として、作業時間の短縮、図面間の不整合の減少、積算効率化、外注費削減、精度の高い設計等が挙げられている。

Q23 所属部署でBIMの導入によるメリット・効果が得られていないと感じる場面 (n=376/複数回答/件数)



・メリット・効果を得られていない場面として、「CAD等の業務と二重作業になり、作業時間・手間が増加した」が最も多い(約5割)

ソフト・システム等の費用負担よりも、習熟時間・作業手間やその費用対効果、人材育成の負担等が挙げられている

※「その他」の回答例として、紙やPDFのアウトプットが求められる点、CADとの二重作業、体制や人員の不足、まだまだBIMは未習熟であること等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果 (n=376/単一回答/%)

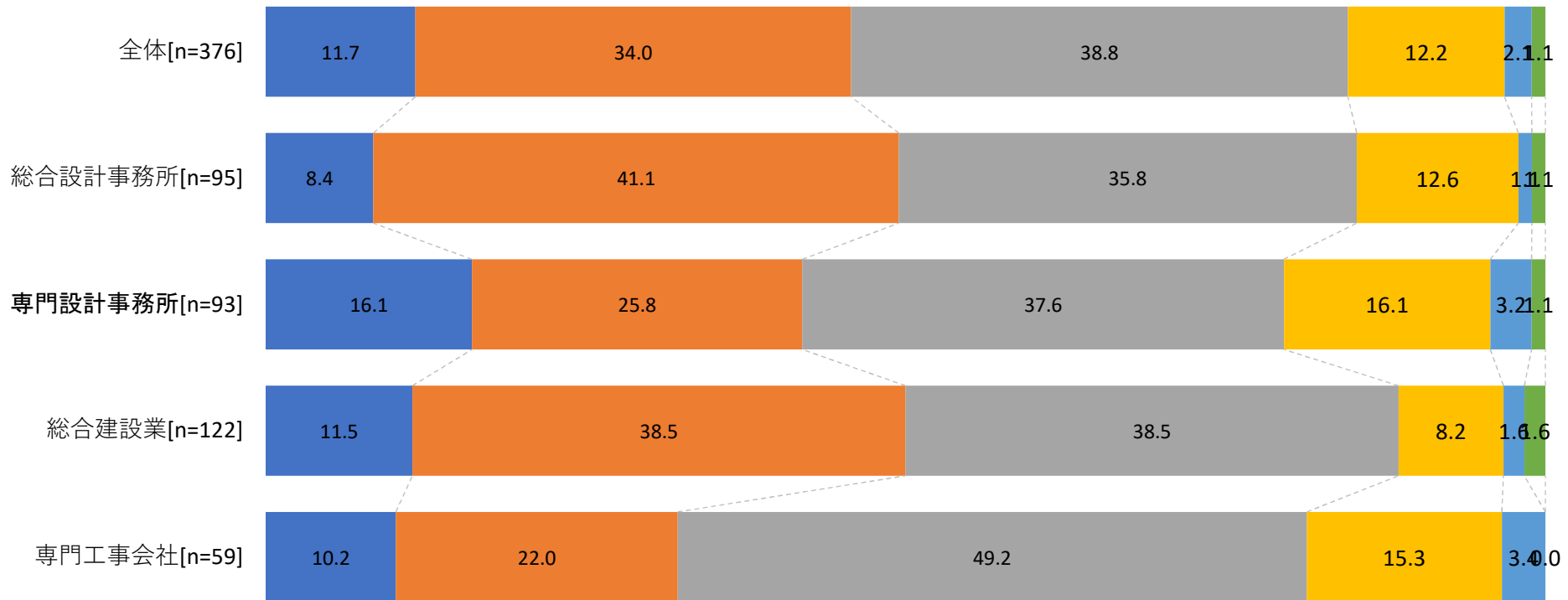


・BIMの活用によるメリット・効果を大きいと感じているのは約45%

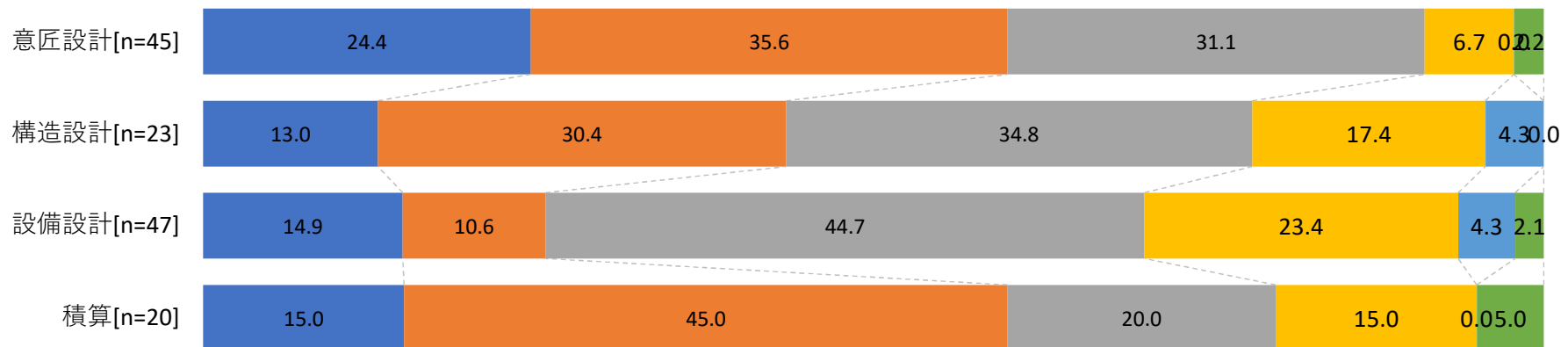
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



■ 非常に大きい ■ 大きい ■ どちらともいえない ■ 効果は小さい ■ デメリットの方が大きい ■ 不明

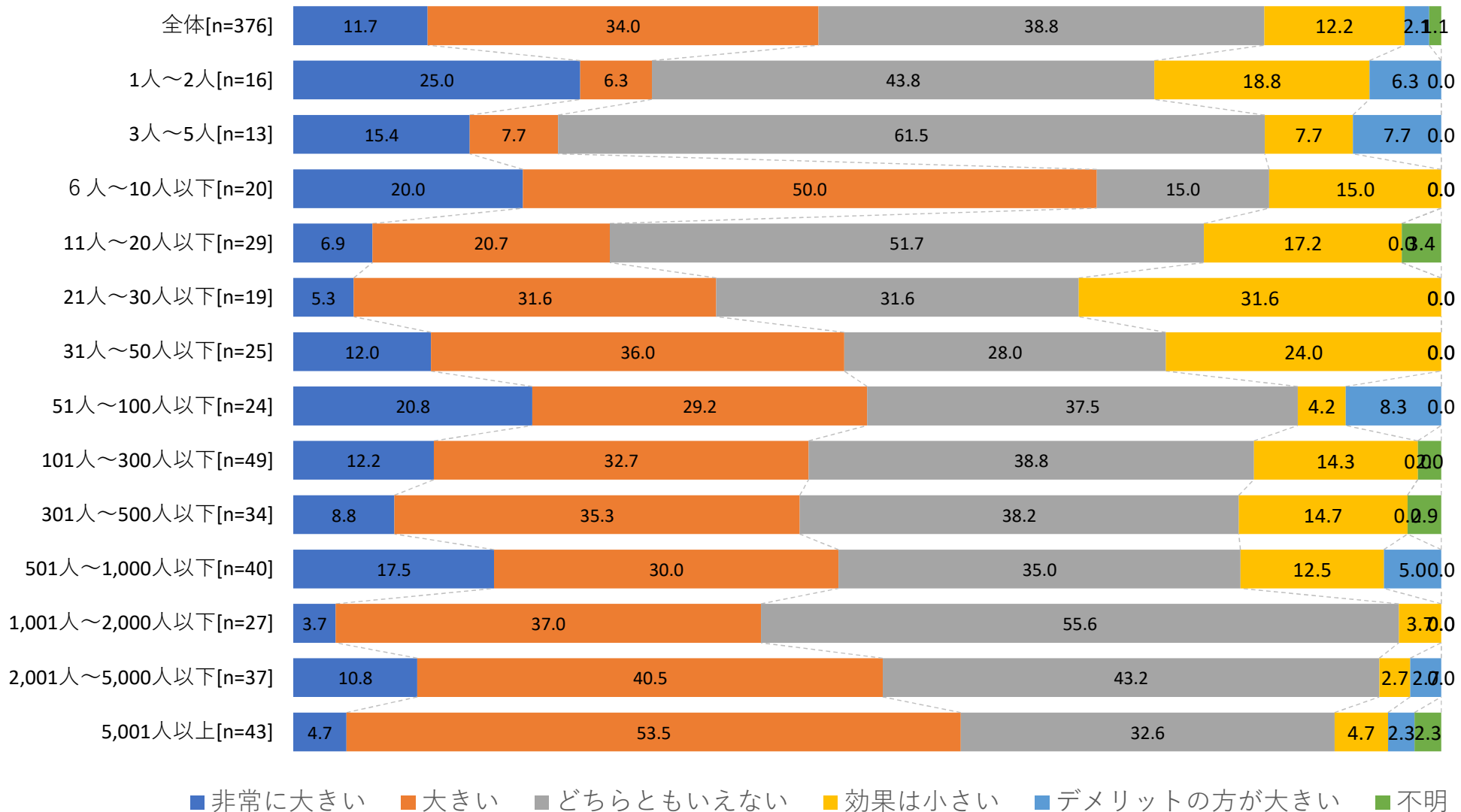
集計結果(クロス集計・企業規模別) BIMを導入している企業



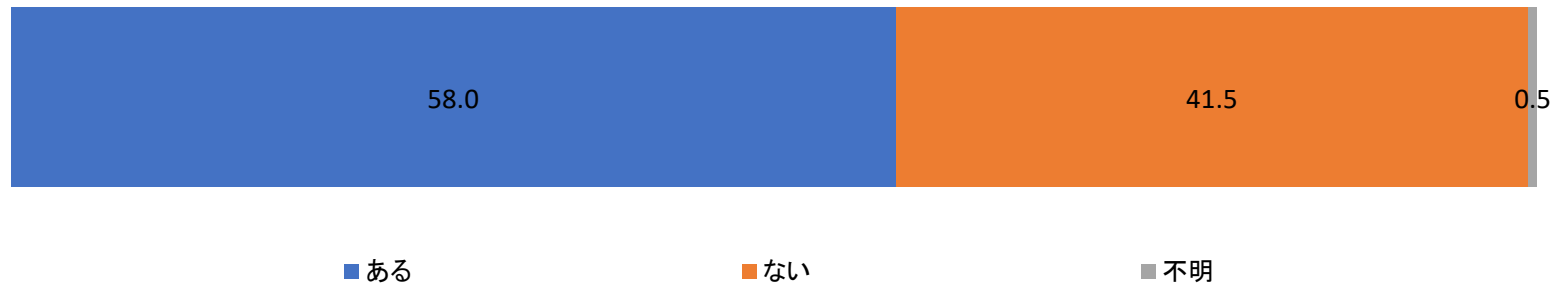
国土交通省

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模（従業員数）×Q24 BIMを活用したことによるメリット・効果



Q25 これまでに自社内の他部署又は社外とのデータ連携を行ったことはあるか (n=376/単一回答/%)



・データ連携は58%が行ったことがある

Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=218/複数回答/件数)

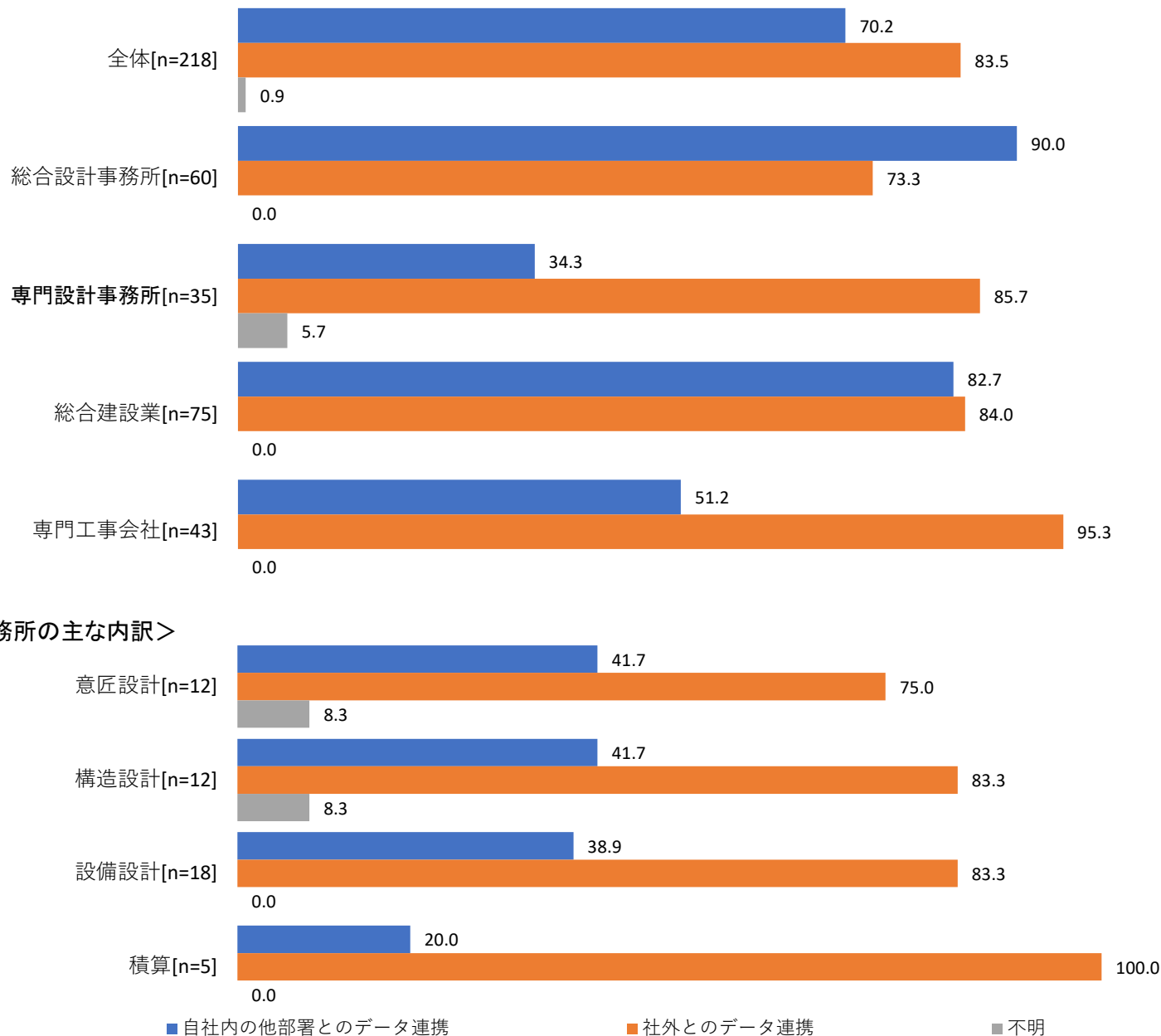


・データ連携の手法としては、「社外とのデータ連携」が約 8 割、「自社内の他部署とのデータ連携」が約 7 割

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q26 Q25で「①ある」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=218/複数回答/件数)

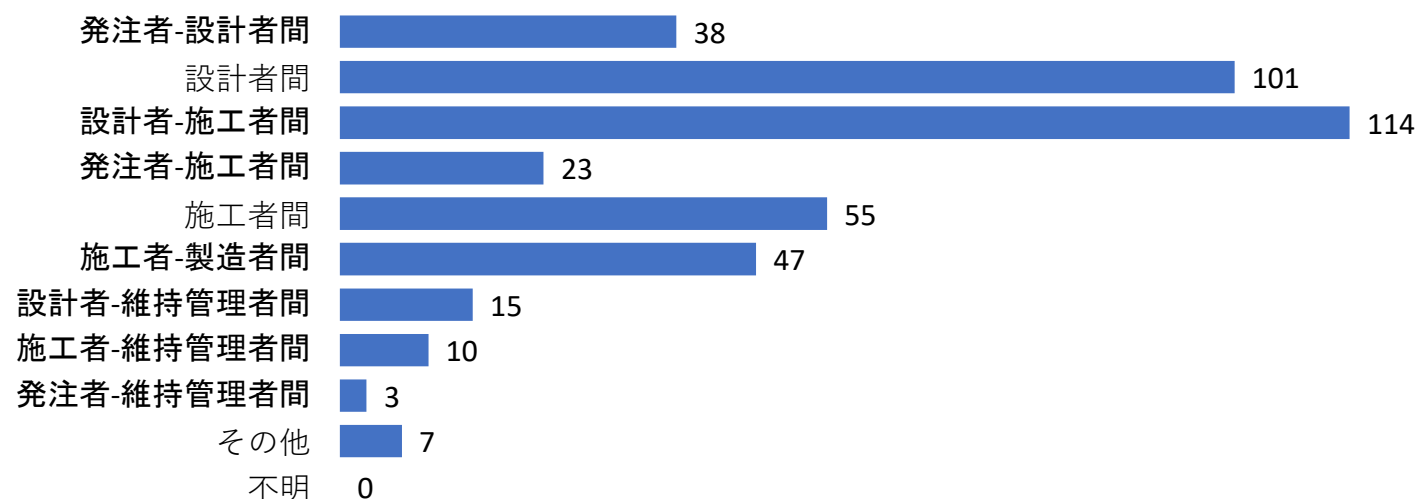


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q27 Q26で「②社外とのとのデータ連携」を選択した場合は、具体的にどのようなデータ連携か (n=182/複数回答/件数)



- ・「②社外とのとのデータ連携」を選択した場合として、「設計者-施工者間」(約6割)や「設計間」(55%)が多い
発注者や維持管理者間とのデータ連携は比較的少ない

※「その他」の回答例として、設計者-積算間、設計者-メーカー間、施工者-設備代理店間、CADオペ(海外)活用等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

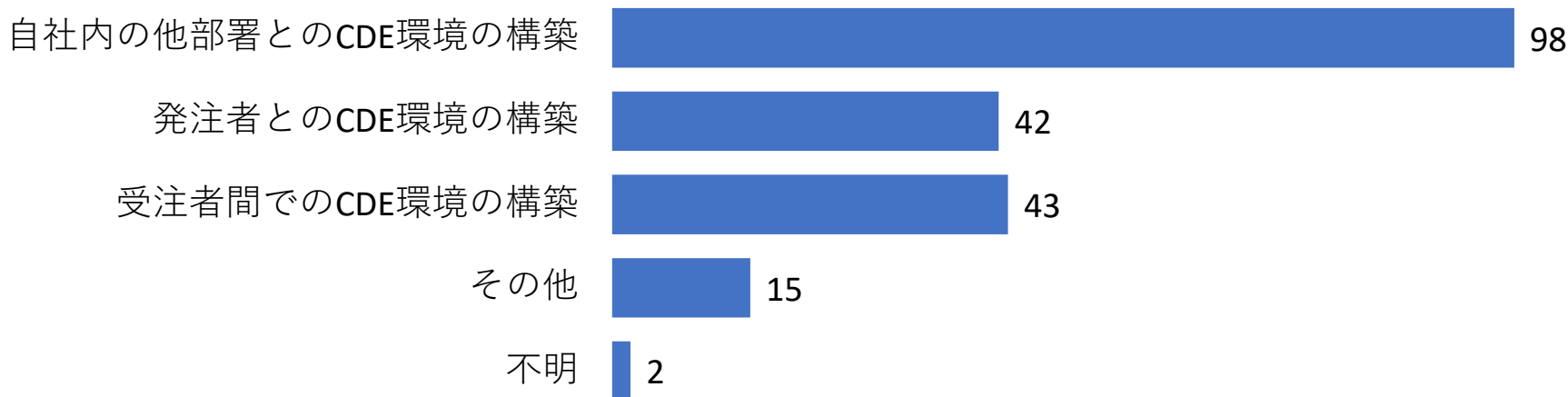
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境(CDE環境)を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか (n=376/単一回答/%)



・約3割が共通データ環境(CDE環境)の構築を行ったことがある

Q29 Q28で「①ある」を選択した場合、具体的にどのようなCDE環境の構築を行ったか (n=124/複数回答/件数)



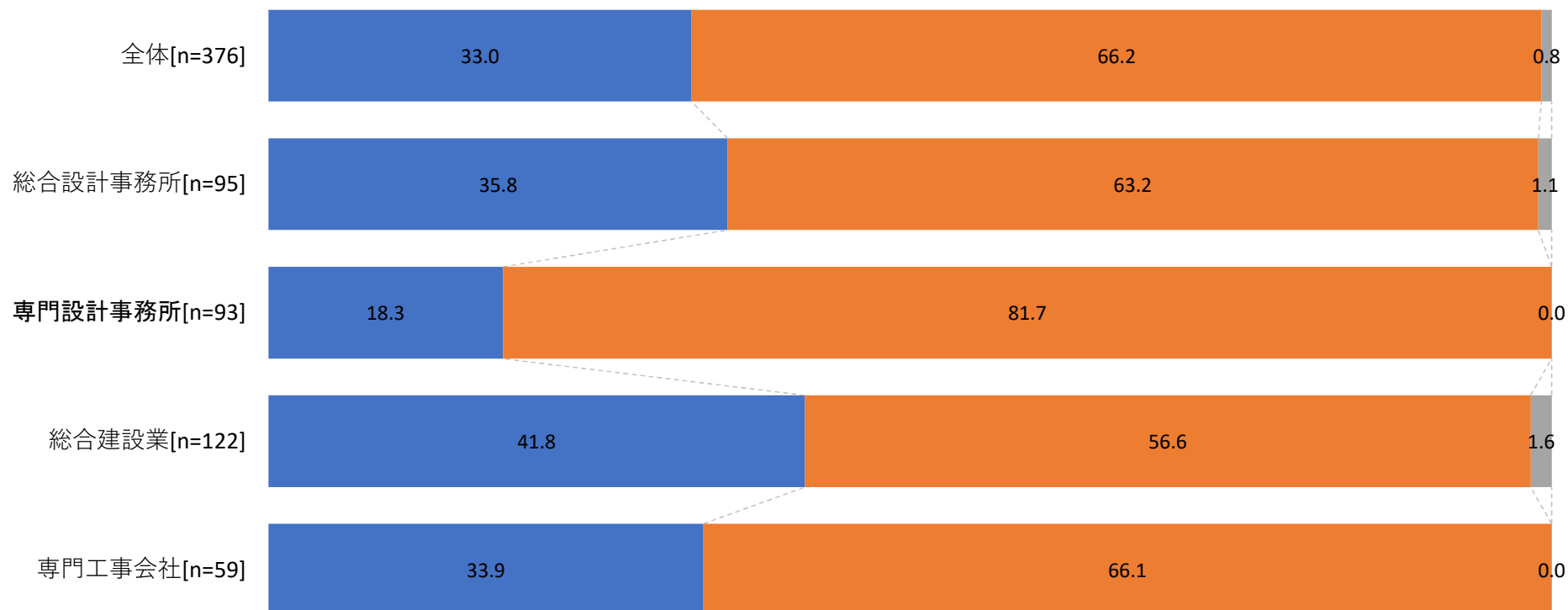
・「①ある」を選択した場合として、「自社内の他部署とCDE環境の構築」が最も多い(約8割)

※「その他」の回答例として、発注者・維持管理者と受注者とのCDE環境の構築等が挙げられている。

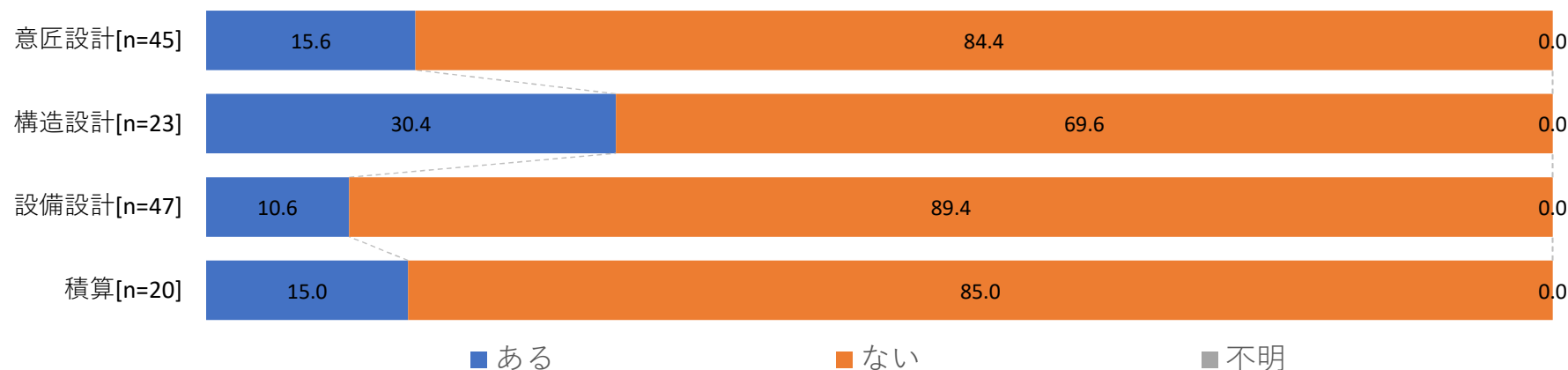
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q28 所属部署でのBIMの活用において、共通データ環境（CDE環境）を構築し、BIMプロジェクトを行ったことはあるか（％）



＜専門設計事務所の主な内訳＞



■ ある

■ ない

■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか (n=376/単一回答/%)

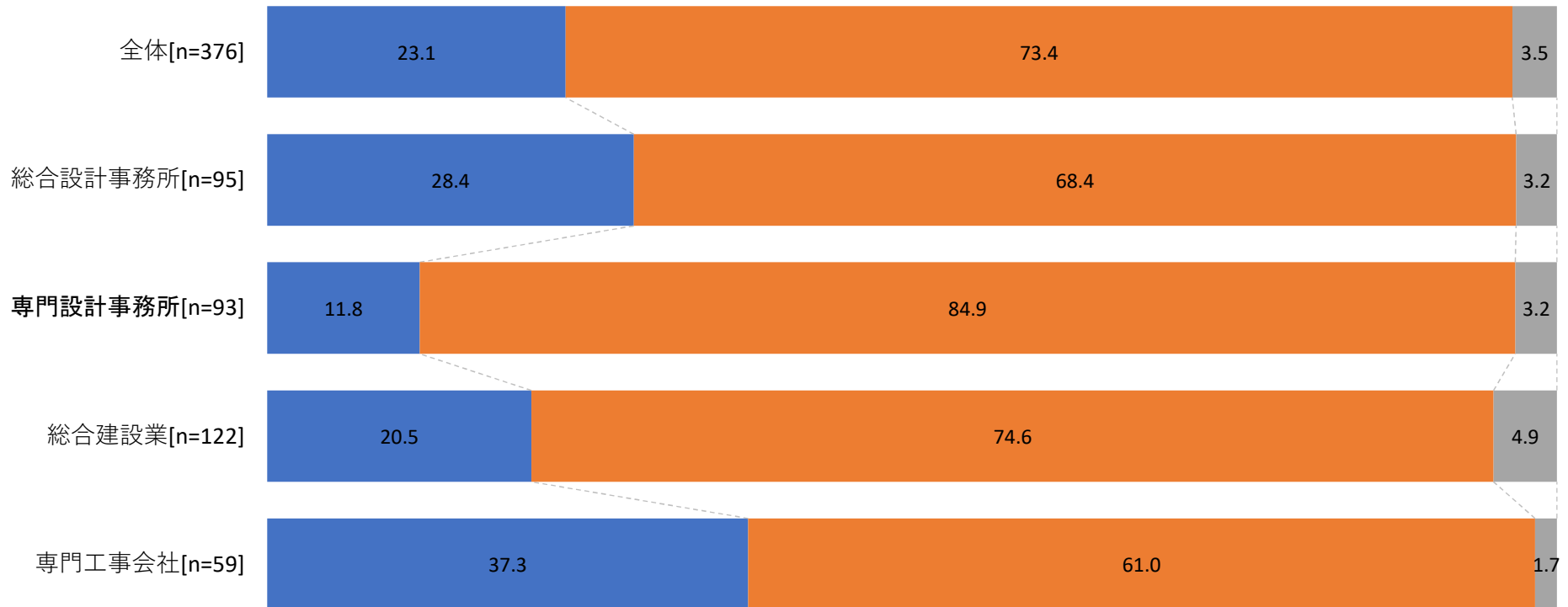


- ・BIIMデータ保管の社内ルールは約 7 割が「定めていない」
- ・定めている場合、BIMデータであるから留意点として、以下のような意見が挙げられた
 - ✓ 機密保持、アクセス権限を限定
 - ✓ データの長期見読性、ファイルのバージョン管理
 - ✓ ネイティブデータ以外にIFCも保管
 - ✓ 保存するデータの整理整頓と長期保存適したデータ形式
 - ✓ オリジナルデータの書き換え禁止
 - ✓ 外部データとリンク切れを起こさないよう保存フォルダを固定
 - ✓ 最終データのみ保存、不要データ削除 (ファイル容量が大きいため)
 - ✓ 成果品だけでなく、パーツ・過程データ・参照図面なども保存
 - ✓ 整理方式の明示 (フォルダ・ファイル名、バージョン管理、パラメータ値の設定、原点、改変履歴の明示方法等)
 - ✓ 自動バックアップデータの作成、クラウド保管
 - ✓ 作図期間や担当者、数量表等を含む全データはディスク保管。今後の作図や教育に活用できる図面データはサーバー保管 等

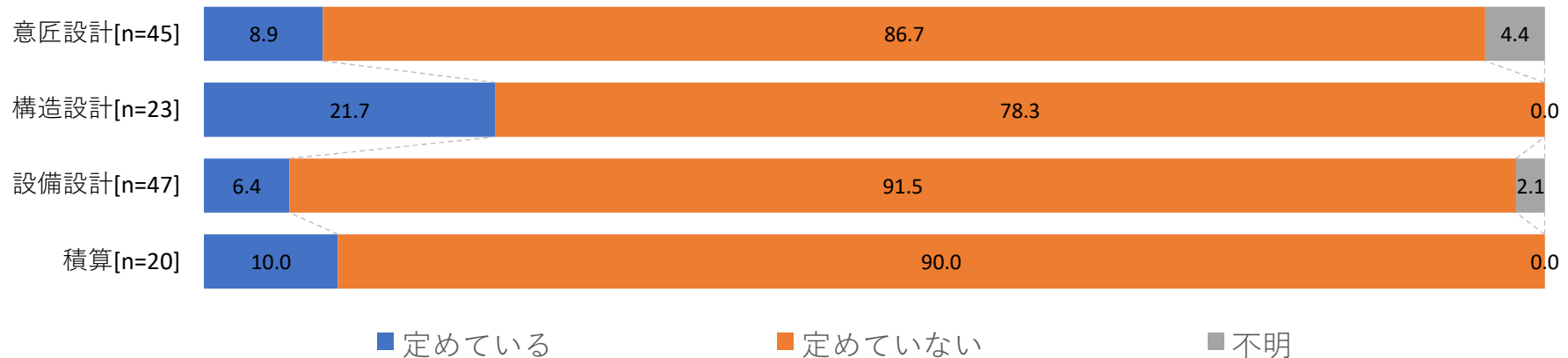
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q30 所属部署でのプロジェクト完了後のBIMデータの保管について、社内でルールを定めているか（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q3 1 BIMデータの権利(著作権や所有権)についてどのようにお考えですか? (例: 権利が推進の障害になっていると感じている。等) (自由回答)

・主に以下のような意見が挙げられた

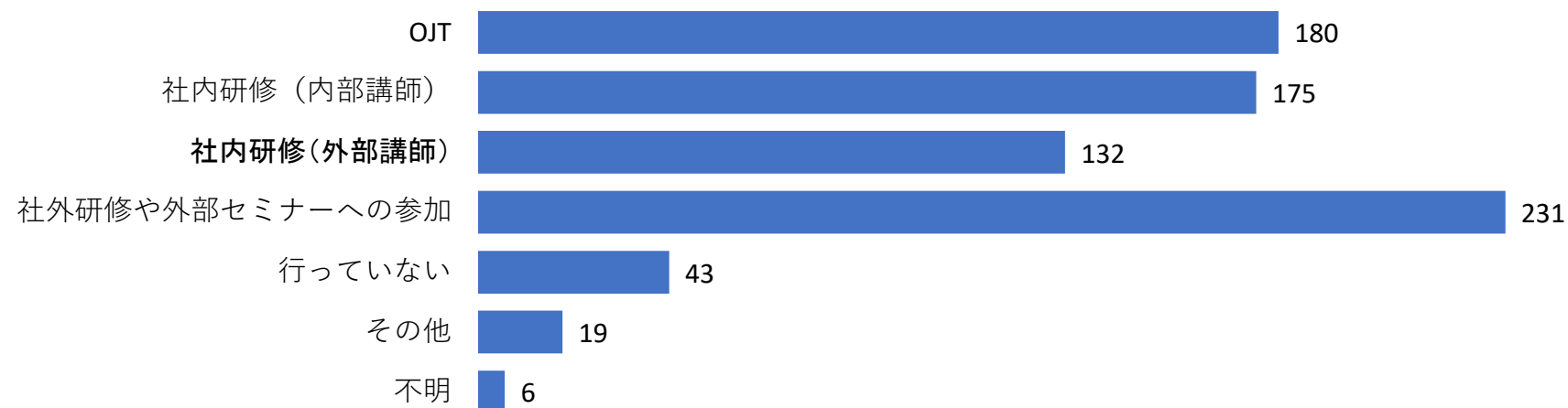
- ✓ 重要であり、各業界での早めのルール化が望まれる
- ✓ データ連携、受け渡しが推進されると問題になると考える
- ✓ 特に設計から施工へのデータ連携は権利を明確にすべき
- ✓ 細部の入力間違い等がある場合のデータの責任とその保証の観点から、他社との連携に積極的になることができない
- ✓ 権利と責任は表裏一体。契約で様々なことを整理すべき
- ✓ 現状受け渡しはノウハウ開示にもつながり不安である
- ✓ 個社ごとではなく、業界で標準のルール、オープンにする情報を整理すべき
- ✓ 二次利用(提案書・広告等)についてのルール・基準も必要
- ✓ 設計自体は設計者の著作権であり、それに付随して作成されるモデルデータは二次的著作権と考える
- ✓ データは価値があるものであるため、権利の取り決めが必要
- ✓ データは、顧客から内容の指定があり、その目的に応じて加工され、納品され、対価をいただくため、問題とは考えない
- ✓ 各社が自社の標準でライブラリを整備しているため、他社にネイティブデータを渡せない
- ✓ オブジェクトやテンプレートに各社のノウハウが詰まっていて、著作権が出て来るのだが、そこにこだわり過ぎると、進展の壁になりうる
- ✓ オブジェクトの著作権については、当事者間で決めるべきことであり、データ流出はそれぞれの立場で管理する必要がある
- ✓ これまであまり意識していない、現状支障はない
- ✓ CADと同じ感覚でいる
- ✓ データの権利を意識するまでの活用に至っていない 等

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q32 所属企業でのBIMに関する教育として、どのような取り組みを行っているか (n=376/複数回答/件数)



・社内での教育として、「社外研修や外部セミナーへの参加」が最も多い(約6割)

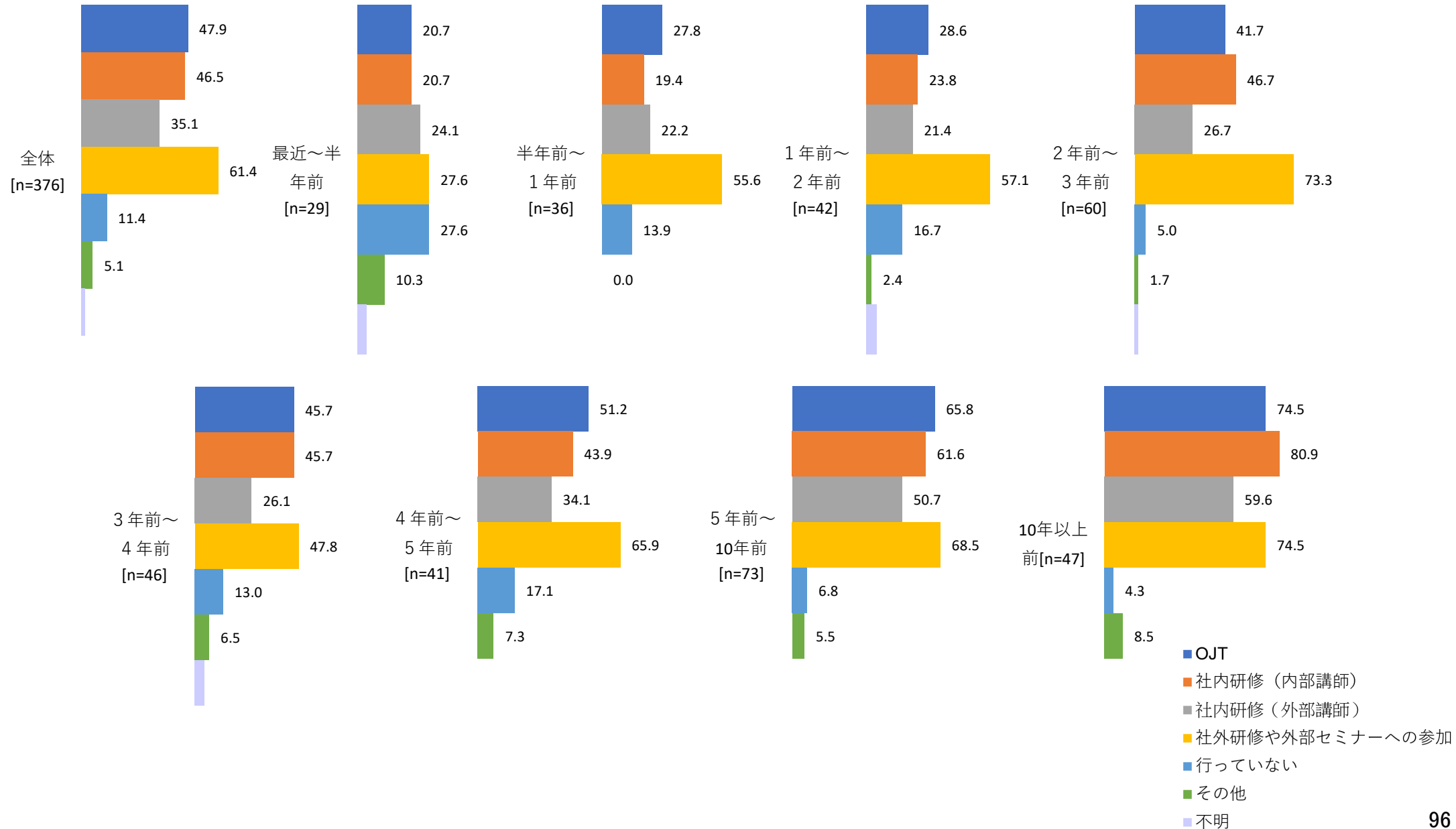
※「その他」の回答例として、技術発表会・交流会やeラーニング整備、若手社員研修、独学等が挙げられている。

集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q8 所属する企業(所属部署)におけるBIMの導入×Q32 所属企業でのBIMに関する教育への取り組み(%)

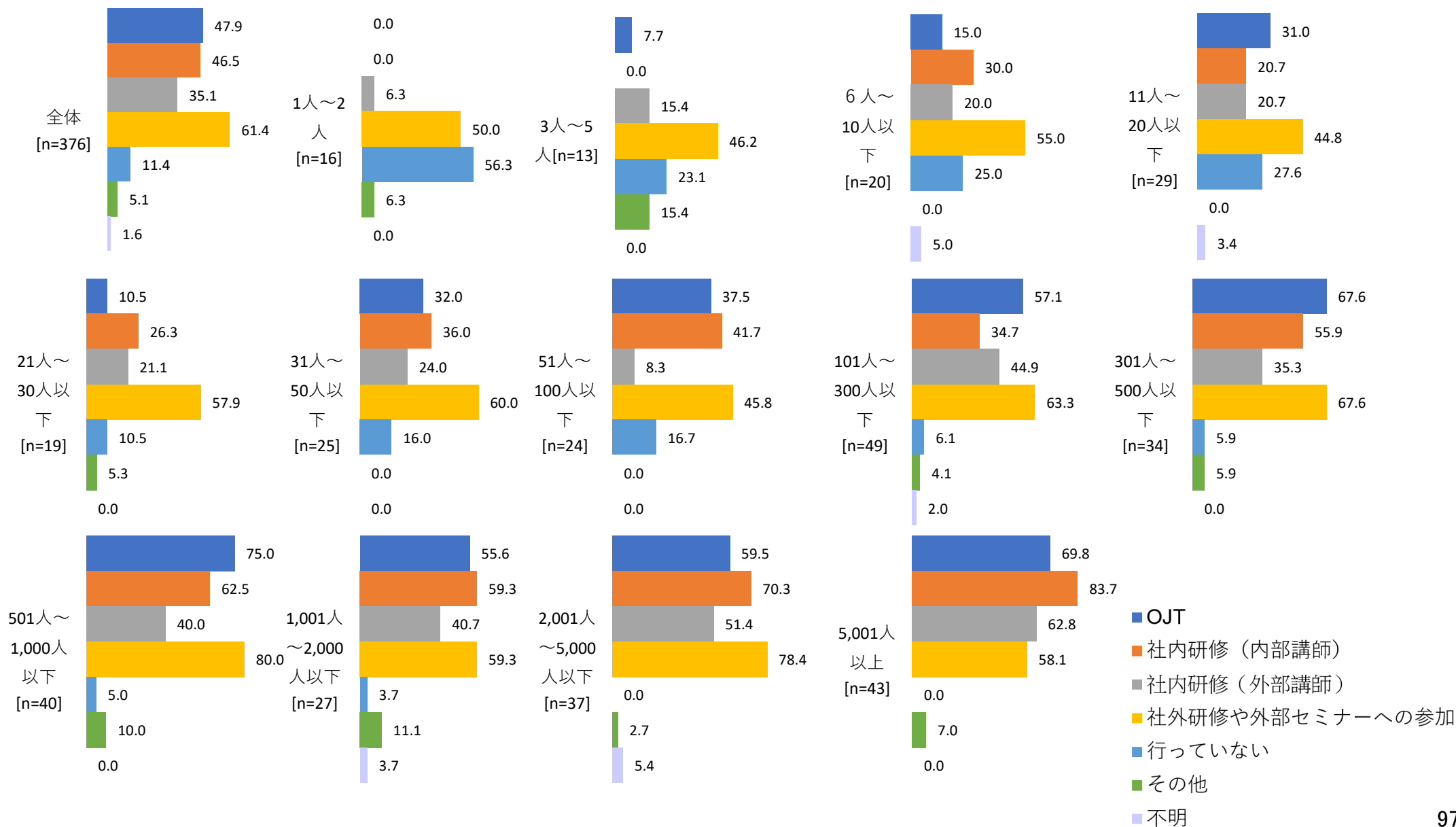


集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

※今回追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q2 所属する企業の規模(従業員数)×Q32 所属企業でのBIMに関する教育としてどのような取り組みを行っているか(%)

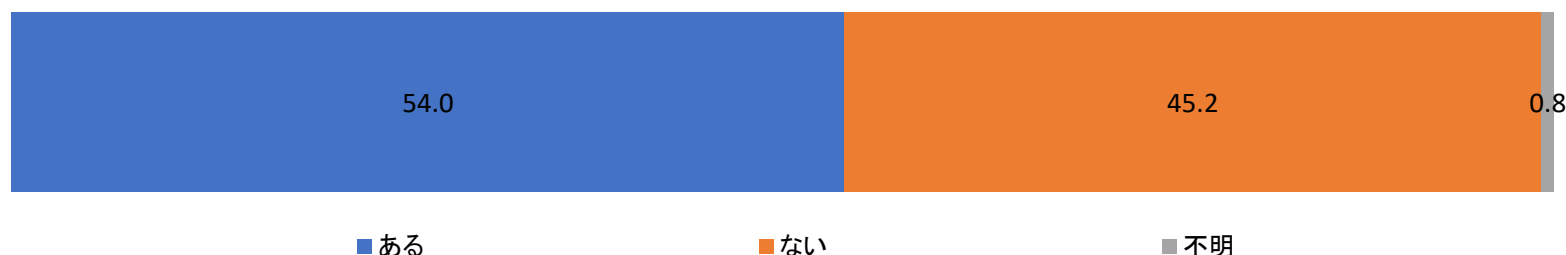


集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q33 BIMの活用を推進するにあたり、企業として取り組んでいること (n=376/単一回答/%)



・BIMを活用している企業では、約半数がBIM活用を推進する取組みを行っている

Q34 Q33で「①ある」を選択した場合は、企業としてのBIMの活用促進に向けた取組みについて記入してください。 (例：BIM推進室により、社内のプラットフォームの整備、設計業務のデジタル化に取り組んでいる。等)

・主に以下のような意見が挙げられた

- ✓ BIM推進室の設置等、専門部署・専門担当者の設置による社内のBIM推進の統括
- ✓ 社内プラットフォームの整備 (オブジェクト・テンプレートの整備、ライセンス管理、業務フロー構築、マニュアル作成、作図標準の改訂、BIMサポートルームの開設、海外作図会社の育成・組織化、他の企業や専門工事業者との連携仕様・ルールの策定、標準BEP作成、CDE環境構築 等)
- ✓ 社内研修や社内のBIM支援、相談会の開催
- ✓ 関連会社との合同勉強会の開催 等

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況 (n=376/単一回答/%)



- ・人材の充足状況として、約 8 割が不足を感じている

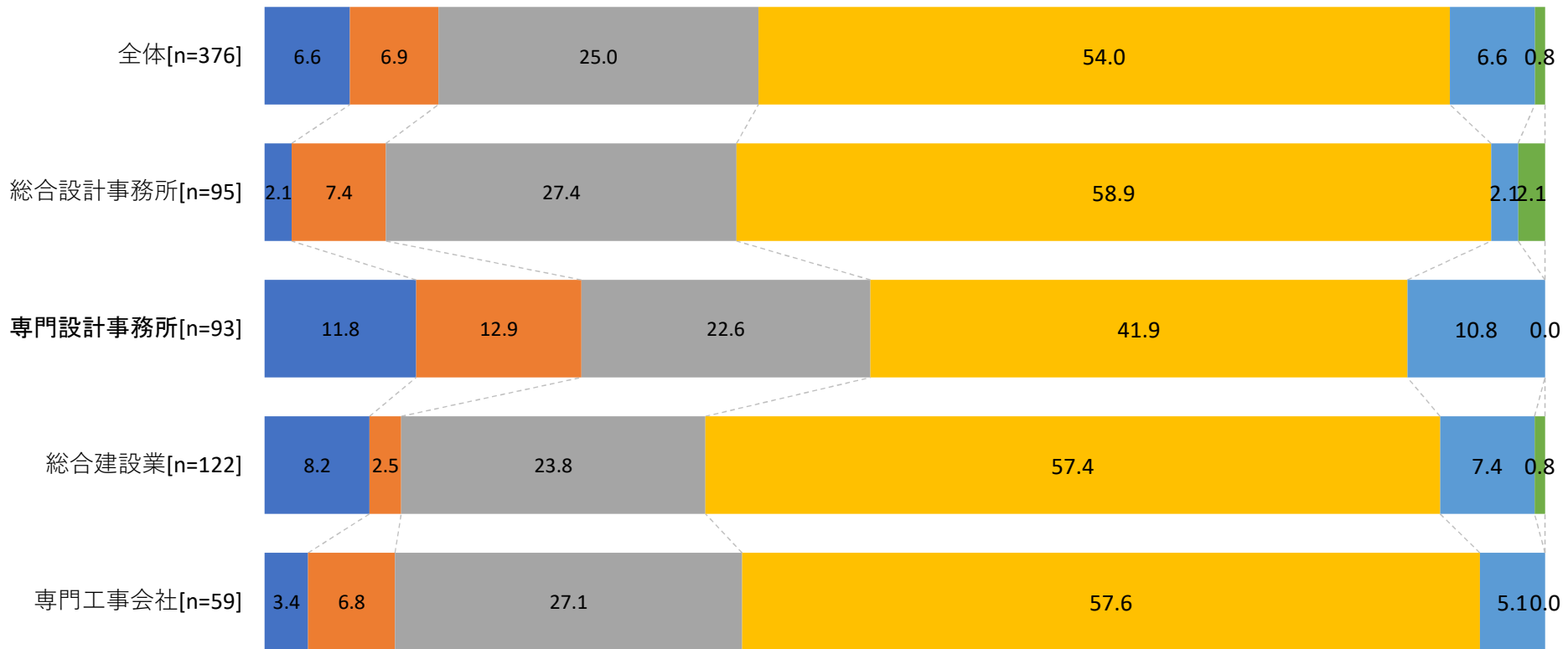
Q36 所属部署におけるBIMの活用を推進するにあたり、今後どのような人材が求められるとお考えですか？ (例：建築物の生産プロセス全般において、BIMデータを一元的に管理する能力のある人材。等)

- ・主に以下のような意見が挙げられた
 - ✓ 建築の知識はもちろん、IT知識、プログラミングの知識がある人材
 - ✓ 建築知識に長けていて、さらにBIMの長所と仕組みを理解してBIMを運用できる人材(BIMマネージャー)
 - ✓ BIM設計フローにおけるチェックを行える管理職 (BIMマネージャー)
 - ✓ 業務フローを理解し、かつある程度のBIMスキルがある人材。正しいデータ連携のフレームを理解でき、新しい業務フローを構築できる人材。
社内人材の選抜教育が重要
 - ✓ データマネジメントを行う現場工務が出来る人材、データサイエンス (統計処理、AI) 人材
 - ✓ 社内プラットフォームを構築できる人材
 - ✓ BIMを教育・統括する立場の者と、BIM操作に精通した若手人材 等

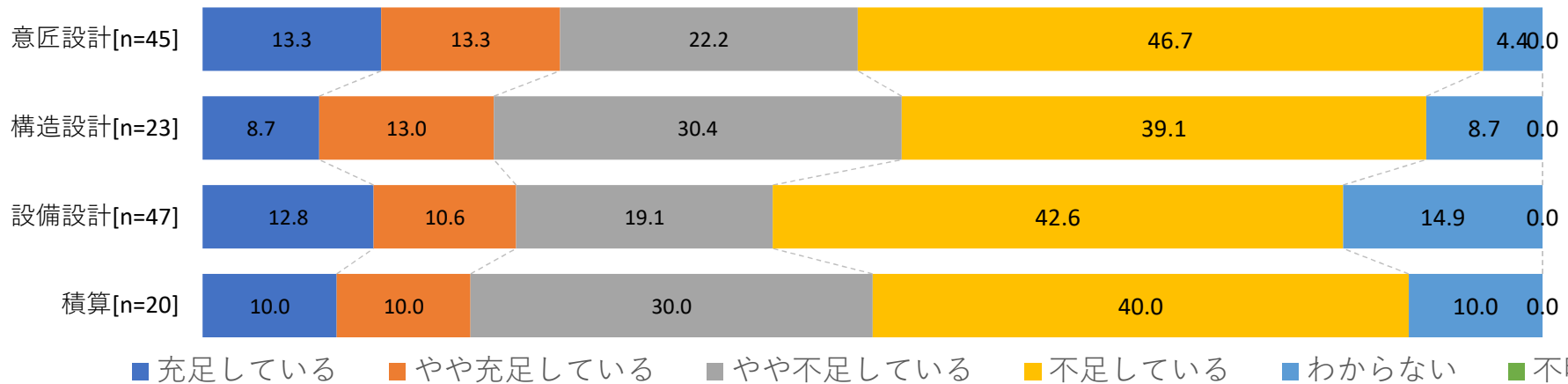
集計結果(クロス集計・分野別) BIMを導入している企業

建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

クロス集計：Q1A 企業の属性（大分類）×Q35 所属部署におけるBIMを活用する人材の充足状況（%）



<専門設計事務所の主な内訳>



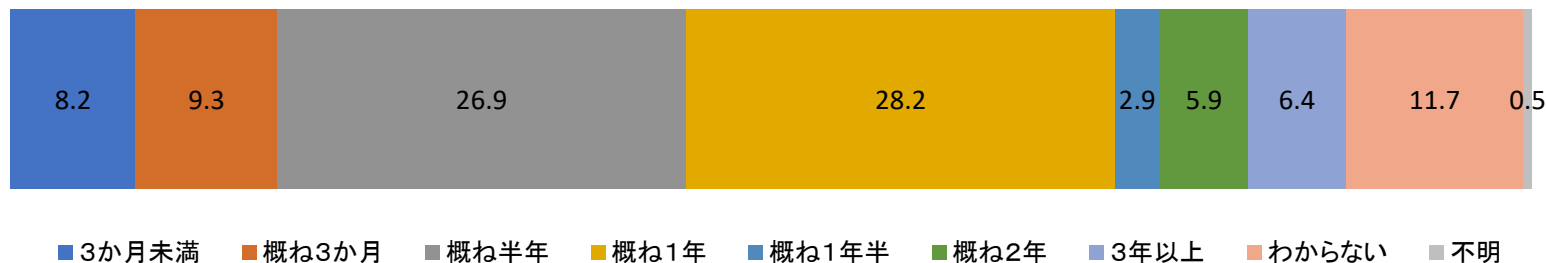
■ 充足している ■ やや充足している ■ やや不足している ■ 不足している ■ わからない ■ 不明

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

※今回自由意見を追加(速報値(R3.2月公開)では未公表)

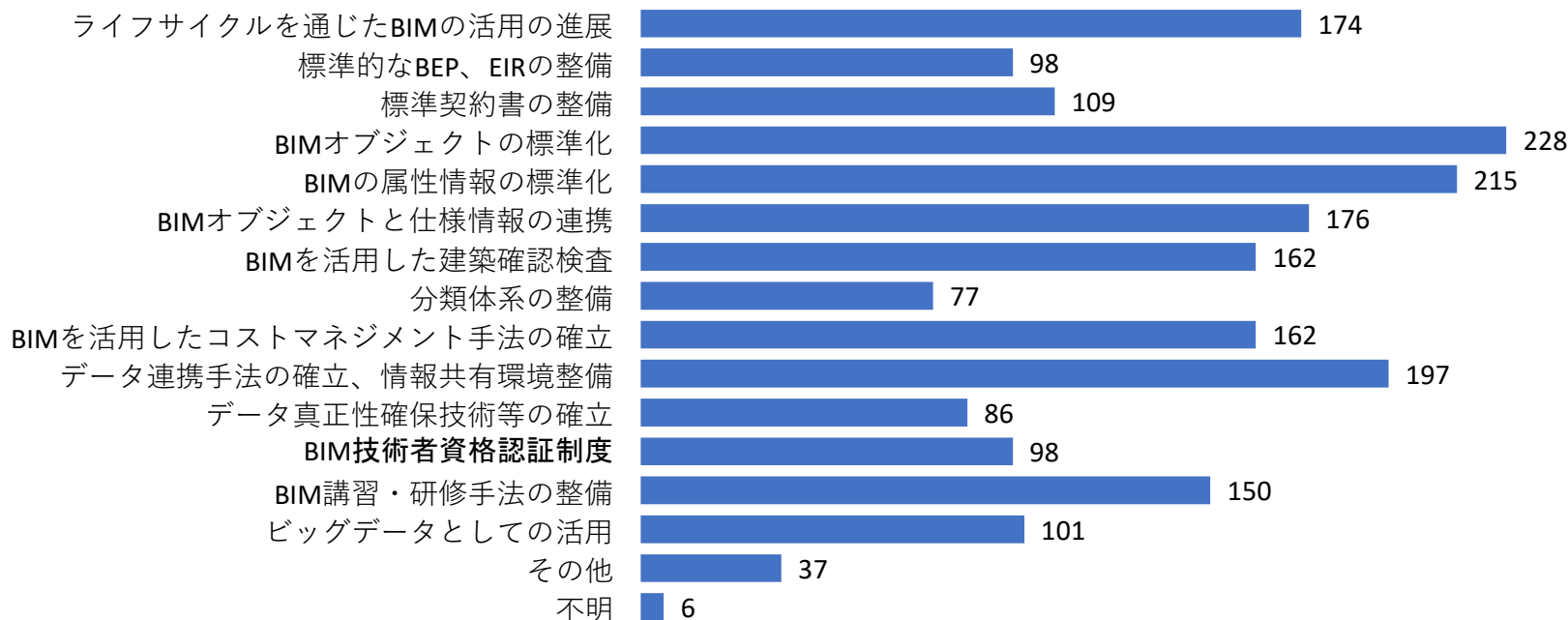
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q37 所属部署において、BIMを活用する人材を育成するための教育に必要な期間 (n=376/単一回答/%)



・人材育成に必要な期間として、「概ね1年以内」という回答が約 7 割

Q38 国内でBIMの普及を図る上で、今後の展開に特に期待すること (n=376/複数回答/件数)



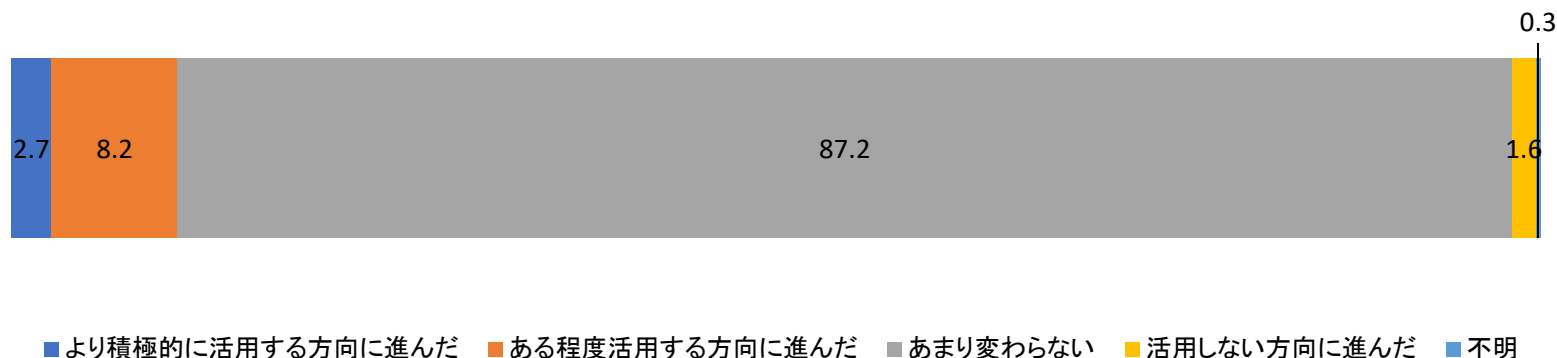
・今後の展開に特に期待することとして、特に部会 2 に係る「BIMオブジェクト・属性情報の標準化」等や部会 5 に係る「データ連携手法の確立等」の回答が多い

※「その他」の回答例として、公的な提出書類のデジタル化、設計成果物としてのBIMデータ、BIM承認等が挙げられている。

集計結果(単純集計) BIMを導入している企業

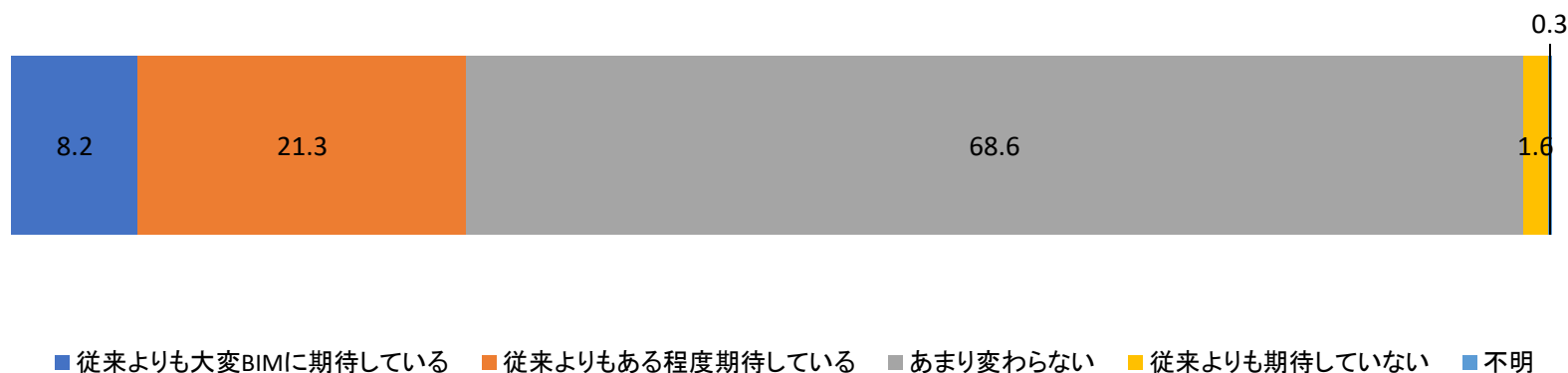
建築BIM推進会議 設計・施工等の13団体へのアンケート(R3年1月 国土交通省調べ)

Q39 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、BIMの活用実態に変化はあるか (n=376/単一回答/%)



・新型コロナウイルス感染症によるBIMの活用実態の変化は、活用する方向に進んだという回答が約 1 割

Q40 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今後のBIMへの期待に変化はあるか (n=376/単一回答/%)



・新型コロナウイルス感染症を受け、今後のBIMへの期待に変化を感じているという回答が約 3 割